

福知山公立大学2020地域活性化策コンテスト 田舎力甲子園 9入賞“策”目次

●最優秀賞

桜井をもっとメジャーに!! 2 ~地域と繋がる。今だからこそできること~
(奈良県立奈良情報商業高等学校 : 部局たまつえ 1・2年 10人) ----- 1

●優秀賞

I♥MAIZURU ~コロナ禍のジョブシャドウイングで考えた、私たちに出来る地域貢献~
(聖ヨゼフ学園 日星高等学校 : 普通科 2年 14人) ----- 2 1

●佳作

Let's enjoy with MINAKAMI ~観光で地域活性に挑む~
(利根沼田学校組合立利根商業高等学校 : 情報経済科 3年 5人) ----- 6 1

アートと農業で創る住みたい町づくり

(兵庫県立豊岡高等学校 : 普通科 2年 門脇さやか) ----- 8 3

レジ袋0のまちへ ~海のない新見市を、海の環境に配慮したまちにするための挑戦~
(岡山県立新見高等学校 : 普通科 3年 23人) ----- 8 9

伝統文化のバトンを受け継ぐ高校生の実践記録

(白石踊 800年の伝統を受け継ぐ会 : 金光学園高等学校ほか 5校 41人) ----- 9 9

心も体もリフレッシュ!高生産性ワークーションはいかがですか?

(香川県立観音寺第一高等学校 : 普通科 2年 5人) ----- 1 1 8

探究活動「Uku Labo」第2学年・第3学年の取り組み

(長崎県立宇久高等学校 : 普通科 2・3年 14人) ----- 1 4 1

おじやったもんせ!伊佐米♡石窯ピザ♡キャンプ

(大口明光学園高等学校 : 普通科 2年 11人) ----- 1 7 3

福知山公立大学 2020 地域活性化策コンテスト（冬季開催）

田舎力甲子園

i-1 Grand Prix of High School Students 2020 Winter

ニッポンの田舎を元氣にする高校生のアイデア、全国募集します！
目指せ、ローカルデザイナー !!



本学は京都府北部の福知山市にある公立大学です。ここ北近畿エリアをはじめ、ニッポン全国の地方都市・農山漁村は何処も少子高齢化や地域経済の活力低下という社会的問題に直面していますが、これら諸課題に対する解決策の一つとして「田舎の持つ内発的発展力」が注目されています。

そこで「田舎力甲子園」と題して全国の高校生から地域活性化策のアイデアを募集し、2013年から表彰を行ってきました。SNS等インターネット活用による地域情報の受発信、地域医療福祉に関する環境整備、新たな田舎料理・スイーツ等の開発、グリーン・エコ・ヘルス等の「ニューツーリズム」や自然エネルギー利用による地域再生プラン等、内容は自由です。是非ご応募ください。

●主催：福知山公立大学「田舎力甲子園」実行委員会 ●後援：内閣府地方創生推進事務局・京都府・福知山市

●対象：全国の高校生（個人・グループいずれも可）等 ※ただし同一高校からの複数応募は5策まで

●様式：論文・企画書・動画・アニメ等いずれも可、字数・枚数・分量も自由 ●言語：日本語もしくは英語

●表彰：最優秀賞 1組に賞状と副賞（旅行券または図書カード6万円分）

優秀賞 1組に賞状と副賞（旅行券または図書カード3万円分）

佳作 若干組に賞状と副賞（旅行券または図書カード1万円分）

奨励賞 若干組に賞状

●応募締切：2020年10月30日（金） ●結果発表：2020年11月16日（月） ●表彰式：2020年12月12日（土）

●実行委員：◎は委員長 ☆は副委員長 括弧内は（職名：専門分野）

井口和起◎（福知山公立大学 学長：歴史学） 塩見直紀☆（半農半X研究所 代表・本学 准教授：ローカルデザイン）

中尾誠二☆（教授：農振興） 杉岡秀紀☆（准教授：公共政策） 矢口芳生（副学長：農業経済学）

岡本悦司（地域経営学部長：地域医学） 西田豊明（情報学部長：人工知能） 倉田良樹（地域経営学科長：労働社会学）

本学全教員《要項参照》

《ご応募・お問い合わせ先》 〒620-0886 京都府福知山市堀3370 福知山公立大学「田舎力甲子園」実行委員会
Tel: 0773-24-7100 Fax: 0773-24-7170 Mail: inakaryoku@fukuchiyama.ac.jp

地域活性化策コンテスト

田舎力甲子園

田舎を元氣にする若者のアイデア大募集！



田舎力甲子園

i-1 Grand Prix of High School Students 2020 Winter

ニッポンの田舎を元氣にする若者のアイデア今年も全国から大集合！



〔審査結果〕および〔表彰式・記念シンポジウム〕のご案内

福知山公立大学「田舎力甲子園」実行委員会では、今年1月20日から10月30日まで全国の高校生を対象に地域活性化策を募集しました。その結果、個人46 + グループ96 = 計142策の応募があり、当委員会での審査を経て次の通り表彰19策を決定しました。

●最優秀賞：桜井をもっとメジャーに!! ～地域と繋がる。今だからこそできること～

奈良県立奈良情報商業高等学校：部局たまつえ1・2年10人

●優秀賞：I♥MAIZURU ～コロナ禍のジョブシャドウイングで考えた、私たちに出来る地域貢献～

聖ヨゼフ学園 日星高等学校：普通科2年14人

●佳作：Let's enjoy with MINAKAMI ～観光で地域活性に挑む～

利根沼田学校組合立利根商業高等学校：情報経済科3年5人

アートと農業で創る住みみたい町づくり

兵庫県立豊岡高等学校：普通科2年 門脇さやか

レジ袋〇のまちへ～海のない新見市を、海の環境に配慮したまちにするための挑戦～

岡山県立新見高等学校：普通科3年23人

伝統文化のバトンを受け継ぐ高校生の実践記録

白石踊800年の伝統を受け継ぐ会（金光学園高等学校ほか5校） 41人

心も体もリフレッシュ！高生産性ワーケーションはいかがですか？

香川県立観音寺第一高等学校：普通科2年5人

探究活動「Uku Labo」第2学年・第3学年の取り組み

長崎県立宇久高等学校：普通科2・3年14人

おじやったもんせ！伊佐米♡石窯ピザ♡キャンプ

大口明光学園高等学校：普通科2年11人

●奨励賞：標茶町の魅力を高校生視点で！～町をどんどん活性化・発信！標茶町～

北海道標茶高等学校：総合学科3年6人

TANADA! - Restoration of "YUI community"

山梨県立甲府第一高等学校：探究科2年5人

飛騨桃のニューフェイス「飛騨おとめ」で地域を元気に！

岐阜県立飛騨高山高等学校：園芸科学科3年3人

コロナ禍における高校生の避難所運営による地域活性化策

静岡県立川根高等学校：普通科3年4人

銀杏をもっと愛される名産に～銀杏を活用した地域活性化～

愛知県立杏和高等学校：総合学科3年 中川達也

めざせ！有馬温泉水で育てた野菜の地域ブランド化

兵庫県立宝塚北高等学校：グローバルサイエンス科3年3人

星取県でHappy Wedding ～アフターコロナの時代を見据えたこれからの観光戦略～

鳥取県立米子東高等学校：普通科3年八原真由

日御碕の観光価値を見直し、出雲市の観光客を増やす

島根県立出雲高等学校：普通科3年5人

地域資源を活用した地域活性化に向けた取組～放置竹林問題解決と竹の有効活用について～

愛媛県立丹原高等学校：普通科2年26人

チルドレン☆スペース～室内で遊べる施設を提供しよう～

長崎県立中五島高等学校：普通科3年3人

●表彰式・記念シンポジウム 開催日時：2020年12月12日（土）13時30分～

●会場：zoom上（URLは申込者へ個別に伝えます） ●参加費：無料 ●申込方法：所属・氏名をメール連絡

●パネリスト：井口和起（実行委員長 本学学長）、杉岡秀紀（副実行委員長 本学准教授）

福知山公立大学 2020 地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」

桜井をもっとメジャーに！！2

～地域と繋がる。今だからこそできること～



学校名：奈良県立奈良情報商業高等学校

部局 たまつえ

生徒名：久保井理緒・中山優実花・乾飛揚・東川七菜

大澤 奏人・坂田 優翔・杉山羽杏

平井 溫人・山口陽菜乃・谷本 集

指導教員名：足立友美・岡田優太



桜井をもっとメジャーに！！ 2

～地域と繋がる。今だからこそできること～

目次

第1章 はじめに.....	1
1. 新元号『令和』と桜井市	1
2. これまでの活動.....	1
第2章 現状分析.....	2
1. 現地調査.....	2
2. SDGsについて考える.....	2
第3章 研究目標と仮説の設定.....	3
第4章 企画と計画	3
1. 販売場所を探す	3
2. STP分析.....	4
3. 販売実習の計画.....	5
第5章 実 践 I	6
1. 実践 I	6
2. 分析	7
3. 考察(仮説の検証)	8

第6章 仮説の再構築と新たな取り組み	11
1. 現状分析.....	11
2. 仮説の再構築	12
第7章 実践と検証	12
1. 実践Ⅱ	12
2. 改善	14
3. 実践Ⅲ	14
4. 検証	15
第8章 成果と課題	15
1. 成果	15
2. 課題	16
3. おわりに	16
【御協力いただいた企業・団体（順不同）】	16



奈良情報商業高校キャラクター
しゃく(左)、さくちゃん(右)

第Ⅰ章 はじめに

はじめに

現状分析

仮説の設定 研究目標と

企画と計画

実践I・分析・考察

新たな取り組み 仮説の再構築と

実践と検証

1. 新元号『令和』と桜井市

2019年5月1日。30年あまり続いた平成が終わり『令和』という新時代が幕を開けた。

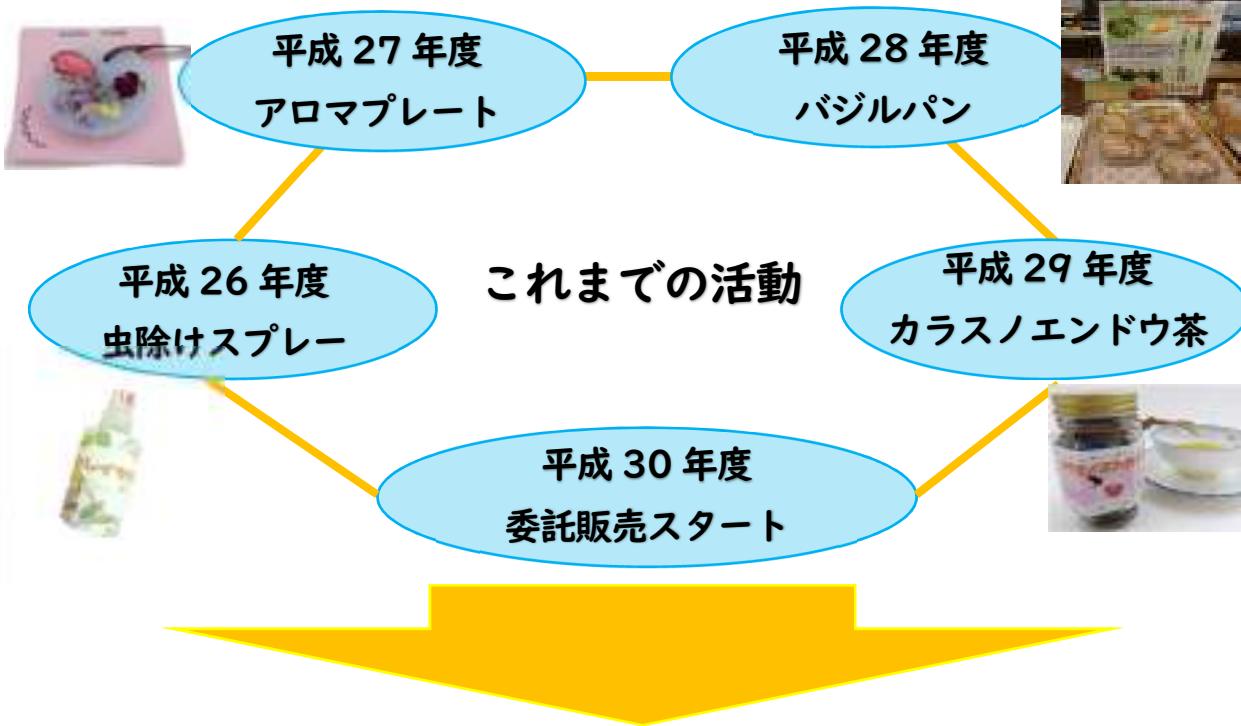
奈良県桜井市には、国道165号線が走っており、国道165号線沿いの桜井市黒崎に白山神社が鎮座し、そこは、万葉集発祥の地とされている歴史的な場所である。白山神社境内には、万葉集がこの地から始まったことを讃える万葉集発耀讚仰碑（図1）が建てられている。このあたりは、雄略天皇の泊瀬朝倉宮があったとされており、碑のそばには天皇が歌った歌碑が建てられている。

新元号『令和』の典拠として注目を集める万葉集。その万葉集が詠み始められたのは、この桜井市。本報告書は、「今こそ桜井をもっとメジャーに！」を合言葉に地域活性化に向けて取り組んだ内容をまとめたものである。



図1 万葉集発耀讚仰碑

2. これまでの活動



メリット	販売機会を増やし、定期的な収入を得ることに成功！
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> お客様の生の声を、直接聞く機会がない。 お客様と触れ合う機会がない。

第2章 現状分析

委託販売をすることで、定期的に収入はあるものの、お客様の生の声を直接聞く機会がないことに課題を感じていた。また、お客様と触れ合う機会がないことに物足りなさを感じた私たちは、この状況を打破するために何か出来ることはないかを話し合った。話し合いの中で、「お客様と直接触れ合いながら、地域に貢献したい！」という意見が多かったため、さっそく、駅前商店街の現地調査を行った。

I. 現地調査

駅南側の商店街はシャッター街（図2-1）。また、高齢者が多く、車がないと買い物も不便。大神神社のある北側に人が流れる傾向がある。ということが分かった。

また、本町通り商店街にある『都市再生推進法人 桜井まちづくり株式会社』を訪問し（図2-2）、桜井駅周辺の現状について取材活動を行った。現在の古くは初期大和王権の中心地として栄えたとともに、伊勢街道をはじめとする旧街道が交差する交通の要衝、宿場町として栄え、なかでも本町通りは、奈良県の三大商店街の一つと呼ばれてきた経緯があるものの、都市の中で空き地や空き家などの小規模な低利用・未利用の土地があちこちにランダムにできてしまう『ポンジ化』が駅周辺地区に顕在化し、地域活力が徐々に低下していることが課題となっていることが分かった。



図2-1 駅前商店街



図2-2 桜井まちづくり株式会社

2. SDGsについて考える

「SDGs」とは、2015年9月の国連サミットにおいて、日本を含む193の加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略称である。目標達成のゴールは2030年。今現在、国内外で国や企業、NPO、個人による取り組みが広がりつつあるが、日本での認知度は低いのが現状だ。私たちは、まず「SDGs」を「知ること」で「興味・関心」を持ち、「自分たちにもできること」を考えることが、「次の行動につながる」と考えた。



SDGsについて考え中

はじめに

現状分析

仮説の設定
研究目標と

企画と計画

実践I・分析・
考察

仮説の再構築と
新たな取り組み

実践と検証

成果と課題

第3章 研究目標と仮説の設定

はじめに

現状分析

研究目標と
仮説の設定

企画と計画

実践I・分析・
考察新たな取り組み
仮説の再構築と

実践と検証

成果と課題

地域の現状を知り、地域の人たちの声に耳を傾け、より深く関わる中で、地域に貢献したい。駅前から桜井市を活性化したいと考えた。また、「SDGs の取り組みを地域の方たちに知ってもらい、地元商店街や地域と連携しながら地域活性化につなげよう！」と意見がまとまったため、これらを踏まえて、次の研究目標と仮説を設定した。



研究目標と仮説を検討中

研究目標：地域活性化のため、駅前に人を集めよう！

仮説1 桜井駅前のイベント開催が、地域の活性化につながる。

仮説2 SDGs を知ってもらうことで、日々の生活の意識改革につながる。

第4章 企画と計画

I. 販売場所を探す

「販売機会を増やしたい。駅前を賑やかにしたい。そして、地元商店街を含め、地域連携につなげたい」という私たちの思いを、商業科長の先生に伝えると、すぐに、市役所に出向き、まちづくり部 商工振興課に話をしてくださいり、桜井駅南口駅前広場で販売ができることとなった。行政財産使用許可申請書を提出し、翌日には許可が下り、駅前でイベントが開催できることになった。



販売場所の決定!



桜井市役所に書類を提出

2. STP 分析

販売場所が決まったので、「誰に」「何を」「どのように」届けるかを決めるため、STP 分析を行った。セグメンテーションでは、適当な切り口で市場を細分化し、様々な意見を出し合った。セグメントごとに分類するための切り口としては、消費者セグメンテーションを使い、消費者を分類した。ターゲティングでは、狙うべき消費者は誰かを考えるために、3C 分析を行った。ポジショニングでは、購入動機は何かを考え、4C 分析で具体的な施策を検討した。

はじめに

現状分析

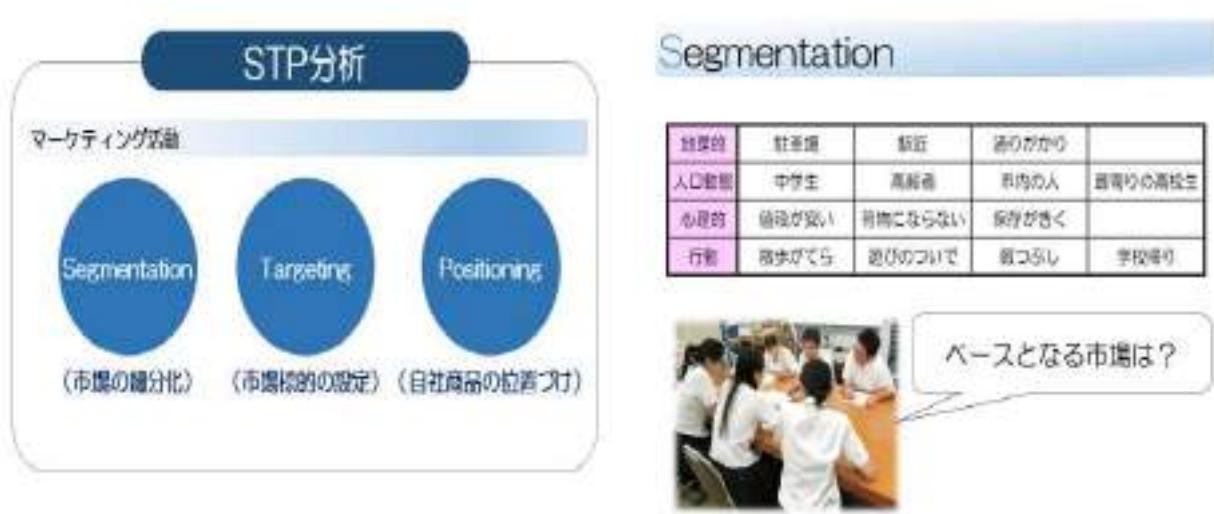
仮説の設定
研究目標と

企画と計画

実践 I・分析・
考察仮説の再構築と
新たな取り組み

実践と検証

成果と課題



はじめに
現状分析
仮説の設定 研究目標と
企画と計画
実践 I・分析・考察
新たな取り組み 仮説の再構築と
実践と検証
成果と課題

3. 販売実習の計画

これらの分析をもとに、いよいよ駅前での販売実習の計画を立てることになった。ここで意識したのがSDGsの17の目標だ。

イベント名：たまつえマルシェ	実施する頻度：月1回
 <p>2 飢餓をゼロに 売れ残ったとき、次の回にまわせるように、保存の効くもの</p>	 <p>11 住み続けられるまちづくりを 高齢者の方が多いので、なるべく割安で</p>
 <p>12 つくる責任つかう責任 私たちの開発商品も販売最後まで無駄なく使えることをアピール</p>	 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう 中学生もターゲットにおくなら、文房具などかわいいものも安く取り揃える</p>

次に、商品を提供していただける、卸売業者を探した。インターネットなどで調べたところ、取引の流れが一番わかりやすかった、京都にある『株式会社丸正高木商店』(図4-1)。「少量の仕入れでも大丈夫です」と言っていただき、取引を始める前に、実際に店舗に出向き、取材をさせていただいた。

「昭和4年の創業以来、日本人の生活環境や暮らししぶりが大きく変動してきた中で、一貫して“信用第一”を信条に、日々取引先やお客様の繁栄を願って仕事に邁進している。また、常にどんな変化にも対応できるよう、柔軟な発想を持ち、流通革新など、大きな目標をもって、挑戦し続けている。品揃えのよさとローコスト流通で、地域社会に貢献していきたいと考えている」というお話を伺った(図4-2)。また、「SDGsを意識してできることを少しずつ取り入れていきたい」という話をしたところ、「当社では、コンビニや小売店から消費期限がせまっている商品を買い取り、期限切れ前のものは廃棄せずに、原価割れしてもいいから、流通させています。私共としても、ぜひ、同じ理念を持った高校生のお手伝いを少しでもさせていただきたい。御校が、初の奈良県内の取引相手となります。」と言っていただき、お世話になることになった。



図4-1 株式会社 丸正高木商店



図4-2 特販部部長
細井 則幸 様



図4-3 各種書類

毎回、マルシェ前になると、京都にある店舗に出向き、仕入れたい商品をピックアップし、見積もりをいただき（図4-3）、その後、学校で予算を考えながら注文し、販売前日に納品していただいている。また、商品を注文した後は、POPやチラシを作成し、学校周辺から駅周辺にポスティングに行くことにした（図4-4）。また、駅前の商店や交番にチラシを置いていただき、それぞれの店舗に来られたお客様に持って帰っていただくようにした。



図4-4 ポスティングをしている様子

はじめに

現状分析

仮説の設定 研究目標と

企画と計画

実践I・分析・ 考察

仮説の再構築と 新たな取り組み

実践と検証

成果と課題

第5章 実践I・分析・考察

I. 実践I

「たまつえマルシェ」は、2018年10月からスタート。それぞれの終了後、結果と反省について話し合い、次回の改善につなげている。

毎回の反省点と改善点を挙げる中で、次の2点が印象に残っている。1点目は、在庫管理もただ数を数えて終わっていたが残数比較（図5-1）をして売れ筋商品を探し出し、お客様が今、どのようなことを望まれているのかというところにも目を向けるようになったことである。具体的には、在庫チェックで動きのなかった商品をくじ引きの景品として提供したところ、非常に好評であったり、以前から要望の多かった野菜を提供してもらえる農家を探したりしたことである。

2点目は、チラシの工夫である。どうしても情報を詰め込みがちになり、目立つようにカラフルで凝ったデザインにしていたが（図5-2）、アンケート調査から不評であることが分かった。そこで、委託販売でお世話になっているパソコン教室「ホエール」の社長に現在のチラシを見てもらい、どのようなチラシが集客に効果的かをご教授いただいた（図5-3）。このように、地域の方のご協力をいただく中で、地域とのつながりを肌で実感することができた。

	10月	11月	12月	比較
飴	4.3%	30.0%	0.0%	↓
イベント関連	0.0%	45.9%	40.0%	↓
衣類	49.1%	75.5%	0.0%	↓
インスタント	—	0.0%	74.0%	↑
開発商品	60.8%	46.3%	60.0%	↑
加工食品	59.0%	0.0%	—	—
缶詰	73.1%	63.7%	87.2%	↑
乾物	—	54.0%	0.0%	↓
季節商品	—	—	80.6%	↓
雑貨	72.0%	0.0%	—	—
スナック菓子	17.8%	0.0%	58.7%	↑
地域連携	—	56.5%	32.3%	↓
調味料	78.1%	30.4%	0.0%	↓
ドリンク	0.0%	24.4%	24.4%	↓
日用品	62.5%	71.8%	89.7%	↑
文房具	80.4%	45.8%	50.0%	↑
麺類	55.0%	14.8%	26.9%	↑
レトルト	20.0%	0.0%	—	—
総計	55.2%	50.9%	54.4%	↑

図5-1 在庫残数比較



図5-2 これまでのチラシ(左)と図5-3 アドバイス後のチラシ

はじめに	
現状分析	
仮説の設定 研究目標と	
企画と計画	
実践I・分析・ 考察	
新たな取り組み 仮説の再構築と	
実践と検証	
成果と課題	

2. 分析

(1) 売上金額と来場者数より

初回、100人以上の来客があったものの、売上は少なく、客単価が平均545円。事前のPRにもっと力を入れる必要があると考え、11月は以前お世話になった、パープル編集者の宮田さんに連絡し、Web版で広告を出していただいた(図1)。また、10月・12月は奈良新聞で露天市の様子を記事にしていただいた(図2)。そのおかげか、翌月は来客者数が増加している。

そして、2月は奈良テレビの『ゆうドキッ!』に出演することになり、露天市の様子や商品開発の様子など、私たちの取組をとりあげていただき、大きな反響があった(図3)。

これらのことから、パブリシティ効果が有効であることが分かった。



図1
Web版広告に掲載



図2
奈良新聞に掲載

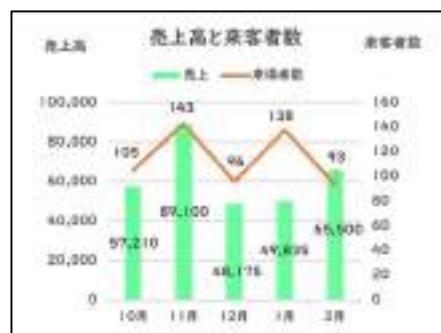


図3
奈良テレビ『ゆうドキッ!』に出演

(2) 財務分析

次に、財務分析をしてみた。その時々の売上高に注目していても実際の状況は分からないので、売上高と売上総利益率を見てみることにした。10月は中止になった前月分の在庫も抱えていたため、マイナスのスタートとなったが、徐々に上がってきている。12月と1月は売上高が低い割に、総利益率が高くなっている。ここから、利益率が高いものが売れていることが分かる。よって、**お客様に対して必要な商品を提供できるようになってきている**ことが分かる。この時の新たな取組として、それぞれの商品を単品でただ並べるだけでなく、セット商品を買ってしまう顧客心理を使った販売戦略『バンドル効果』を取り入れたこと。お得感を出しつつ、購買意欲を刺激したことが分かる。



露天市の営業推移 (10月～2月)

さらに、直接原価計算を行い、昨年度の実績で、損益分岐点を計算してみた。貢献利益率が12.5%、営業利益率は9.4%と、標準的な利益水準であることがわかる。もともと、学習の一環でもあり、地域連携の一つと考えていたため、利益を出すことはあまり考えていなかったが、来年度は目標利益額を5万円に設定してみることにした。それを達成するために必要な売上高は、49万6千円。目に見える新たな目標ができた。

項目名称	実績金額	構成比
売上高	389,800	100.0%
変動費	341,072	87.5%
貢献利益	48,728	12.5% (貢献利益率)
固定費	12,000	3.1%
営業利益	36,728	9.4% (営業利益率)
損益分岐点	95,994	固定費 ÷ { (売上高 - 变動費) ÷ 売上 }

直接原価計算による損益分岐点分析

3. 考察（仮説の検証）



研究目標：地域活性化のため、駅前に人を集めよう！

仮説Ⅰ 桜井駅前のイベント開催が、地域の活性化につながる。

こうして、駅前でのイベントの様子を知ってくださった様々な団体から、イベントに参加（出店）して欲しいとの依頼を受け、販売実習やボランティアのお手伝いをさせていただくこともでき、新しい方々との地域連携にもつながっている。



デイサービスおたがいさん秋祭り
H30.10.13(土)



シェフェスタ 2018
H30.10.13(土)・14(日)



うさみみ音楽祭・うさみみ茶屋
H30.11.3(土)



高齢者福祉施設訪問
H30.12.12(水)・18(火)



High school meeting
H31.1.26(土)・27(日)



近畿養護教諭研究協議会
R1.8.1(木)

はじめに

現状分析

仮説の設定
研究目標と

企画と計画

実践Ⅰ・分析・
考察

新たな取り組み
仮説の再構築と

実践と検証

成果と課題



さらに、こうしたイベントに参加させていただく中で、また新たな出会いがあった。

- High school meeting で出会った「かしはらナビプラザ」今西さん

毎年3月から4月の桜の季節に、
桜に関連した商品を販売してい
る。ぜひ、この桜の香りのアロマ
雑貨を置かせて欲しい。



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



非常に売上も好調で、
ぜひ来年度もお願いしたい！！

商品名	販売数	売上金額
アロマプレート	138	¥16,480
ディアーネ良	52	¥5,440
Aromatic	95	¥7,888
合 計	285	¥29,808

かしはらナビプラザの売上
(3/6~4/26まで)

- 2年目となる高齢者福祉施設訪問（昨年度と違う施設にも訪問）

デイサービスおたがいさんは様々な行事で連携



10月秋祭り



12月 餅つき大会



12月 クリスマス訪問

- コラボ商品の開発 … 2018年7月18日の奈良新聞を見た奈良交通株式会社の方から連絡をいただき、アロマプレートをコラボレーションすることに。

打合せ

何を作るのか、私たちができるもの、要望

奈良交通（株）の部内会議でアロマプレートに決定

戦略検討

奈良交通のブランド『ずっとなら』は万葉集に出てくる贈り物を意味する言葉「づと」から出来ている

本校との運命的なものを感じる

試作と生産

万葉集に出てくる、かつ奈良にゆかりのある香り
『橘』をイメージ

アロマオイルをブレンドし、何種類もの香りを作成
飾りの花を統一。微調整ののち、3月末に完成

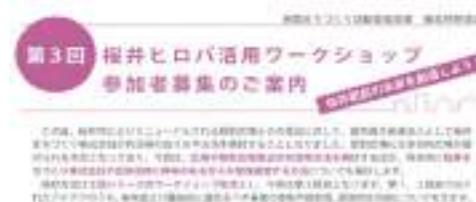
販 売

『道の駅レスティ唐子・鍵』で限定販売
季節ごとに飾りの花を替え、季節感を出している。

売れ行きは好調!!

さらに今、市をあげて桜井駅前ヒロバから桜井を活性化させようという取組が始まっている。こうして駅前で、マルシェを開催していた私たちに、「ぜひ、桜井ヒロバ活用ワークショップに参加しませんか?」とのお話をいただき、参加させていただいた。課題を解決するためのビジョンを考えたり、ヒロバ活用の取組や、アイデアを実現させるために必要となることを考えたり、立場の違う方々の意見を聞く中で、改めて見えてくることも多くあった。産学官によるワークショップを重ね『桜井駅前ヒロバ整備・活性化構想』が策定され、この5月、桜井市長に提言された。また、桜井駅の駅前広場がリニューアル整備され、新たに賑わいを創出するための多目的広場も設置される予定となっている。

こうして地域の方も巻き込み、数年後の桜井市を考えることができ、まだまだ改善の余地はあるが、活性化に向けての一歩を踏み出すことができた。

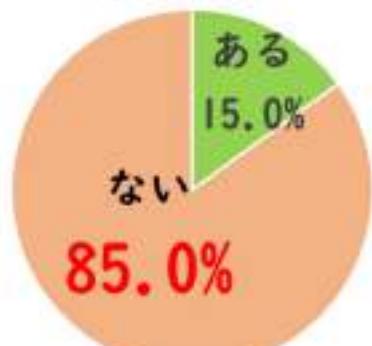


仮説2 SDGs を知ってもらうことで、日々の生活の意識改革につながる。

仮説2を検証するために、アンケート調査を分析した。

下記グラフから、最初（2018年10月8日：第1回たまつえマルシェアンケート）はSDGsという言葉を知らなかった人が85%いたことが分かる。その後、露天市や地域貢献につながる活動を通して、SDGsの取組を知ってもらうようにした。

SDGsという言葉を聞いたことがありますか？



SDGsについて興味・関心を持ちましたか？



はじめに



奈良交通(株)との
コラボ商品
アロマプレート
「yamatotachiban」

現状分析

仮説の設定
研究目標と

企画と計画

実践I・分析・
考察

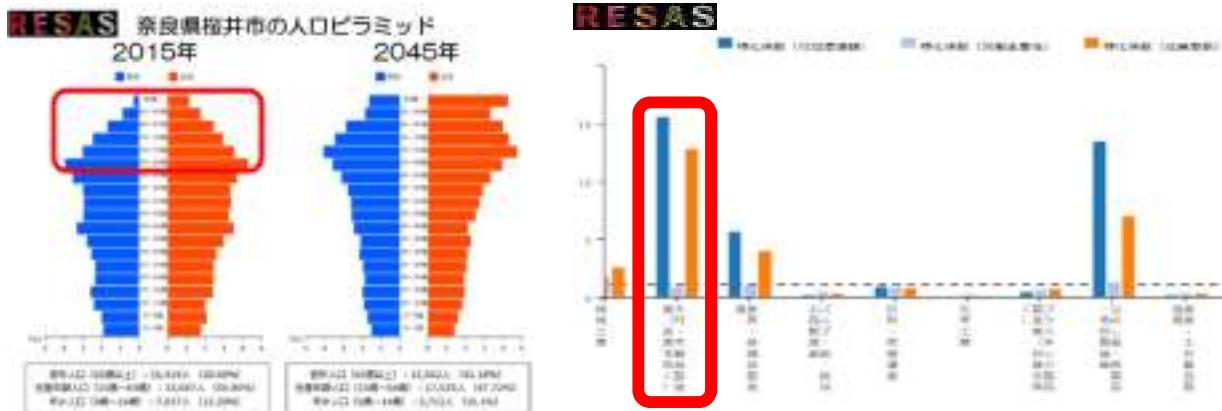
仮説の再構築と
新たな取り組み

実践と検証

成果と課題

はじめに	<p>その結果（2019年5月12日：第6回たまつえマルシェアンケート）、SDGsに興味・関心を持ってくれた人が82.5%いることが分かった。この要因について分析すると、エコバックの導入により環境に配慮した販売実習を展開したこと（SDGs7）、露天市で地域の実情を踏まえ（高齢者の方が多い）なるべく割安で販売したこと（SDGs11）、売れ残ったとき次の回に回せるよう保存の利くものを販売したこと（SDGs2）、最後まで無駄にすることなく使える商品をアピールすること（SDGs12）など、私たちのSDGsを意識して取り組んできた活動に地域の方たちが一定の理解を示してくださったことが考えられる。</p>												
現状分析	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>行動内容</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゴミの削減</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>リサイクル・リデュース・リユース</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>エコバック持参</td> <td>22.5%</td> </tr> <tr> <td>食品ロス</td> <td>27.5%</td> </tr> <tr> <td>節水・節電</td> <td>17.5%</td> </tr> </tbody> </table>	行動内容	割合	ゴミの削減	40.0%	リサイクル・リデュース・リユース	30.0%	エコバック持参	22.5%	食品ロス	27.5%	節水・節電	17.5%
行動内容	割合												
ゴミの削減	40.0%												
リサイクル・リデュース・リユース	30.0%												
エコバック持参	22.5%												
食品ロス	27.5%												
節水・節電	17.5%												
仮説の設定 研究目標と	<p>また右図は、17の目標のうち関心があるものをより具体的に確認し、そこから日常生活の中で、取り組もうと思うことをあげてもらった結果である。</p> <p>これらのことから、SDGsに興味・関心を持ち、日々の意識改革につながったということが言えるのではないかと考える。今後さらに、国・企業・地域・学校・家庭など、身近なところから協力の輪を広げて、だれもが幸せになれる未来を考え、行動していきたいと思う。</p>												
企画と計画													
実践I・分析・	<h2>第6章 仮説の再構築と新たな取り組み</h2> <p>これまで地域活性化のため、閑散としている桜井駅南口駅前広場でマルシェを月1回開催してきた。駅前マルシェは、来場者数、売上ともに先に述べたように徐々に伸び、地域にある程度浸透してきたことが分かる。しかし、課題として、地元の狭い範囲での地域連携、またイベント開催日だけの賑わいは創出できているものの、桜井市や奈良県という広い範囲で考えたとき、まだまだ認知度は低いと感じた。</p> <p>ただイベントを開催するだけでは、継続的な地域の活性化につながらない。私たちの昨年度の仮説は間違っていたのではないかと考え、新たに仮説を再構築して検証することにした。</p>												
新たな取り組み 仮説の再構築と	<h3>I. 現状分析</h3> <p>もう一度原点に戻り、桜井市の現状分析を行った。経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）が提供するRESAS（地域経済分析システム）を活用し、地域課題の分析を始めた。人口推移を見てみると、2000年を最後に、人口減少が急激に進行し、生産年齢人口、年少人口の減少が進み、逆に高齢者人口が増加している。また、桜井市の小売業における事業所数の減少が顕著にみられる。桜井市の目的地分析では、長谷寺や大神神社など魅力あふれる観光地がたくさんあり、桜井市の産業として「木材のまち」として知られていることが分かった。普段意識していなかったが、実際に市内を散策してみると、木を積んだトラックが行き交い、国道165号線沿いを中心に木材工場が数多く並んでいることに気が付く。香しい木の香りに包まれて、この木材を使</p>												
実践と検証													
成果と課題													

って、地域活性化につなげられないかと考えた。



2. 仮説の再構築

みんなで意見を出し合い考えたのが「マイ箸」を作ること。市内にある木材工場から端材をもらって箸を作る。環境問題について考えることができ、昨年度から意識している SDGs にも関連するのではないかと考えた。早速、マインドマップでそれぞれのビジョンを出し合い、意見交換した。木のまち桜井を、まずはここで暮らす幼稚園児や小学生にアピールするため、マイ箸運動を展開する。方法は、マルシェ等でマイ箸つくりのワークショップを行い、食育・木育の推進も同時にを行う。その中で、環境について考え、また地元木材を知ってもらい、使用することで郷土愛も深まればと考えた。また昨年度から継続する地域連携では、それぞれの店舗の「広告付き箸」を作成し、ノベルティとして配布する。受け取ったお客様は、木のまち桜井を意識することができる。せっかくなので、先行研究報告にあった行動経済学を活用し、おまけをつけたら売り上げは伸びるのかを検証することにした。

以上のことから、次の目標と仮説を再構築した。

研究目標：地元産業で、地域を活性化しよう！

仮説 地元産業を地域に根差すことができれば、次のビジネスチャンスにつながる

第7章 実践と検証

I. 実践II

早速、学校のそばにある木材商「株式会社 山口裕康商店」を訪問し、私たちが考えているプランを説明し、端材をいただけないか交渉したところ、快諾していただき、木材を無料でしかも【桜井の木】で



山口裕康商店

はじめに	
現状分析	<p>ある杉を提供していただくことができた。明治時代に奈良県の下市町で割り箸づくりが始まり、現在も、国内の割り箸の生産量は奈良県が最も多く、全体の約7割を占めていることも教えていただいた。割り箸は一度使ったら捨ててしまうことから環境問題につながっているという意見と、間伐材を有効活用することは、資源を山に還元し、森林整備を促進することにつながるという2つの意見があることも教えていただき、これからの私たちの活動の中で一つのテーマとして取り上げることにした。</p>
仮説の設定 研究目標と	<p>簡単に箸を作ると言っても知識がないため、まずはインターネットで調べた。すると『箸製作治具』というのがあることを知り、早速購入。もらってきた杉板をまずは丸鋸でカットし、この治具を使ってかんなで削って作る。角をとり、やすりをかけ、色を付け、最後に食品衛生適合品の漆を塗って商品が完成した。</p>
企画と計画	<p>出来上がった商品をもって、山口裕康商店を訪問し、社長に見ていただいたところ、想像を超える出来栄えに感動してくださり「こんなに素晴らしい商品に生まれ変わって大満足です。」というお言葉をいただいた。また「みなさんと同様に、桜井を盛り上げたいというは日々考えており、今後も全力でお手伝いします。」と心強いお言葉もいただいた。</p>
実践 I・分析・考察	<p>こうして箸づくりもできることが分かり、いよいよマルシェで小学生対象に箸づくりをしよう！と思った矢先に…。</p>
新たな取り組み 仮説の再構築と	 <p>【桜井の木】杉板</p>
実践と検証	<p>箸製作治具</p>
成果と課題	<p>山口裕康商店にて</p>



完成した箸

2. 改善

新型コロナウイルス感染症が拡がり、非常事態宣言が発令され学校も休校になり、私たちの活動も中止せざるを得なくなった。6月から分散登校が始まったが、イベントは自粛。本年度の著づくりプランは来年度以降に持ち越すことになった。しかし、このまま1年を終えるわけにもいかないと、木材を使って「今だからできること」をもう一度話し合った。コロナ禍の生活の中で「人が触るところが気になる」という普段の何気ない会話を機に『非接触グッズ』を発案。横向きのクマがモチーフで、足の部分をドアや扉に引っ掛けて開閉できるほか、耳やしっぽの部分でドアやエレベーターのボタンなどを直接手で触れることなく操作できる。糸のこでクマの形に一つ一つカットし、やすりをかけ、カラフルに色をつけた。また、木材そのままの感触や香りを楽しんでいただけるよう、色を付けないものも準備。



小さなお子様は、自分の好きな色に塗ることもでき楽しんでいただけるのではないかと考えた。

商品名は、山口裕康商店の古材事業部の屋号「woodyan」を使わせていただけないか交渉したところ、許可をいただき、『Touch bear・wood-yan』とした。

3. 実践Ⅲ

9月ようやく本年度初めてのマルシェを開催することができ、そこで商品を並べた。木目を生かしたままの物もあれば、カラフルに色を塗りデザインすることで、並べて置くとインテリアとしても使える。また、いくつか組み合わせると積木として遊べるように形も工夫している。

1個70円で販売し、売り上げの半額は7月豪雨などの被災地支援に送ることを決め、POPを作成。直前に新聞に掲載して頂いたこともあり、開始1時間も経たないうちに完売し、その後も商品を求めて来店してくださるお客様がいた。

今の時代に必要とされるものを考え提供することの大切さと、パブリシティ効果の大きさを改めて実感することができた。



はじめに
現状分析
仮説の設定 研究目標と
企画と計画
実践I・分析・ 考察
仮説の再構築と 新たな取り組み
実践と検証
成果と課題

はじめに	
現状分析	
仮説の設定 研究目標と	
企画と計画	
実践 考察 I・分析・	
新たな取り組み 仮説の再構築と	
実践と検証	
成果と課題	

4. 検証

本年度これまでの活動を振り返ると、対外的な取り組みがこれまでのようにはできなかった。そんな中、4月はマスクの供給が追い付かない話題になり、キッチンペーパーを使って手作りマスクを作り、非常用備蓄食とセットにして駅前の喫茶店に置いていただき、来店された高齢者にプレゼントした。また、桜井の子ども食堂「とまり木」さんから「本来うちを必要してくれる人がなかなか来てくれない。場所が奥まったところにあるので周知されていない。ぜひ、みんなに知ってもらって利用してほしい。そのために力を貸していただけないか」と依頼を受け、夏祭りイベントを企画・運営させていただき、多くの子どもたちに来てもらいたとまり木さんの存在を知ってもらうことができた。



「地元産業を地域に根差すこと」はスタートしたばかりで、残念ながら今年はまだまだ不十分だったが『今だからこそできること』があった。今必要とされていること、今求められていることを社会の流れから感じ取り、繋げていくことが大切だと感じた。



私たちは、これからも立ち止まることなく、みんなでアイデアを出し合い、形にしていきたい。

第8章 成果と課題

I. 成果

以下に、これまで記せなかったものを含めた昨年度の活動実績と受賞歴を記す。

(1) 活動実績

- ・桜井駅南口駅前広場にてたまつえマルシェを開催
- ・近畿養護教諭研究協議会にて販売実習
- ・シェフェスタ 2019 奈良にて「かふえレストランさらい」さんと出店
- ・ソラほんまちフェスタ 2019 にて出店
- ・奈良県産業教育フェアにて地元物産と生徒開発商品の販売
- ・桜井市プチ文化祭にて販売実習
- ・『桜井駅前ヒロバ整備・活性化構想』ワークショップ参加
- ・奈良情報商業高校LINEスタンプ開発
- ・奈良県防犯協会公式キャラクター考案
- ・クリスマスに高齢者福祉施設を訪問し、生徒開発商品『アロマプレート』をプレゼント

(2) 受賞歴

- ・ 奈良県生徒商業研究発表大会で最優秀賞を受賞し、
2年連続近畿地区大会に出場
- ・ 地方創生☆政策アイデアコンテスト 近畿経済産業局長賞受賞
- ・ 第23回ボランティア・スピリット・アワード 関西ブロック賞受賞



(3) メディア関連

- ・毎日新聞（7/25・12/21・1/24・2/8・9/17）掲載
- ・奈良新聞（12/1）掲載

2. 課題

新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで通りにいかないことがたくさんある。ニュースや社会情勢を意識し、今必要とされていることや自分たちができるを考え行動していくことが必要である。だからこそ、いろいろな場所で必要としていただけるよう、積極的に時間がある限りお声がけいただいたイベントに参加し、常に感謝の気持ちを忘れず『ありがとう』と言っていただされることを目標に、これからも地域密着で頑張っていきたい。

3. おわりに

たまつえマルシェでは本年度から新しい取り組みとして『フードドライブ』を同時開催している。新しい生活様式を浸透させながら、食品ロスの削減に地域で取り組み「もったいない」を「ありがとうへ」繋げられたらと考えている。『今だからこそできること』を常に頭の片隅に置きながら、地域のいろいろな方に助けていただきながら、これからも活動を続けていきたいと考えている。

【御協力いただいた企業・団体（順不同）】



桜井市役所 様



株式会社 丸正高木商店
販賣部長 細井 様



株式会社 サクホエール 様



喫茶 絵都蘭世 様



奈良交通株式会社 様



カフェレストラン
さらい 様



ミートショップやまぐち 様



都市再生推進法人
桜井まちづくり株式会社

はじめに

現状分析

仮説の設定
研究目標と

企画と計画

実践I・分析・
考察

仮説の再構築と
新たな取り組み

実践と検証

成果と課題



これまでの実践にご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。今、世の中では、新型コロナウイルス感染症がなおも拡大しています。今年度に入り、思うような活動ができていませんが、それでも無理なお願いを聞いていただき、ご協力いただきました方々に心からお礼申し上げます。

一日も早い終息を願うとともに、関係される方々の健康をお祈りいたします。

田舎力甲子園 2020 年地域活性化策

「I ❤ MAIZURU」

～コロナ禍のジョブシャドウイングで考えた、私たちに出来る地域貢献～



聖ヨゼフ学園 日星高等学校 特進コース二年
浅沼陽乃、東優衣、網谷灯航、石塚舞優、大西淳司、菊田こころ、近藤夕愛、
坂田菜々香、内藤早希、西村萌瑠、橋田陽和里、堀ももは、三宅悠希、村上結

はじめに

～日星高校の取り組み「ジョブシャドウイング」について～

ジョブシャドウイングとはインターンシップによるキャリア教育の一形態です。生徒が事業所を訪れ、そこで働く大人に影のように寄り添い、その仕事や仕事に取り組む姿勢、職場での様子を観察する取り組みです。この取り組みは、生徒が社会の仕組みへの理解を深め、将来の夢やこれからの進路について少しづつ考える機会を設けることを目的としています。

日星高校の特進コースでは毎年二年生の夏に、舞鶴市役所で二日間のジョブシャドウイングを行っています。特進コースはほとんどが舞鶴の生徒で構成されていますが、これまでずっと地元で育ってきた生徒ですら舞鶴のことをよく知りません。舞鶴にはどんな産業があるか、どんな特産品があるか、どんな観光名所があるか、漠然としたイメージしかありません。そんな私達が市役所の中で実際に業務を見せていただいたり、現地調査に随行させていただいたりすることは、地元を体感する良い機会です。また高校生にはあまり馴染みのない市役所の中で、職員さん達が地元のために一生懸命尽力されている姿を見ることは、地元のために働く仕事の魅力を発見し、地域への愛着を育むきっかけになります。

特進コースは大学進学を目指す生徒が集まっており、卒業後はほとんどの生徒が地元を離れます。就職後も多くの生徒は地元に戻ってきません。私達のクラスでも、地元にあまり魅力を感じず、都会志向の生徒が多いように感じます。しかし、そんな私達も実際は舞鶴のことをよく知らずに都会に憧れているのです。舞鶴の若者の多くが都市部に流出してしまう背景には、この「地元をよく知らない」という原因があると思います。そのような状況で、将来のことを考える時期にある高校生が市役所でジョブシャドウイングに取り組むということは、地元に戻ってきたいと思える若者を育てるに繋がるのではないかでしょうか。

これまでジョブシャドウイングを行ってきた先輩達からは、舞鶴の歴史が分かる資料館の見学、観光振興の会議への参加を通して、地元への理解がより深まるとともに、職業観が明確になったという感想が挙がっていました。私達も今年の夏のジョブシャドウイングから色々なことを学ぼうと、張り切って一年生の冬から準備を始めました。この時はまだ、新型コロナウィルスが世界中で猛威を振るい、まさか私達にもその影響が及ぶなどとは思いもしていませんでした。



(過去の先輩達の
ジョブシャドウイ
ングの様子)



目次

はじめに ~日星高校の取り組み「ジョブシャドウイング」について~	2
1、舞鶴市の紹介	4
2、コロナでジョブシャドウイング存続の危機！？	5
3、活動の見直し	5
4、新たなスタート ~4つの課とそれぞれの取り組み~	
①観光課	8
②子ども支援課	16
③教育課	25
④農林課	31
5、活動を終えて	40

1. 舞鶴市の紹介

舞鶴市は 2019 年に内閣府の「SDGs 未来都市」に、そして全国のモデルとなる 10 自治体に与えられる「SDGs モデル事業」に選定されました。「SDGs 未来都市」とは、内閣府が SDGs の達成に取り組んでいる都市を選定する制度です。

舞鶴市の「SDGs 未来都市計画」が掲げる目標は以下のよう�습니다。

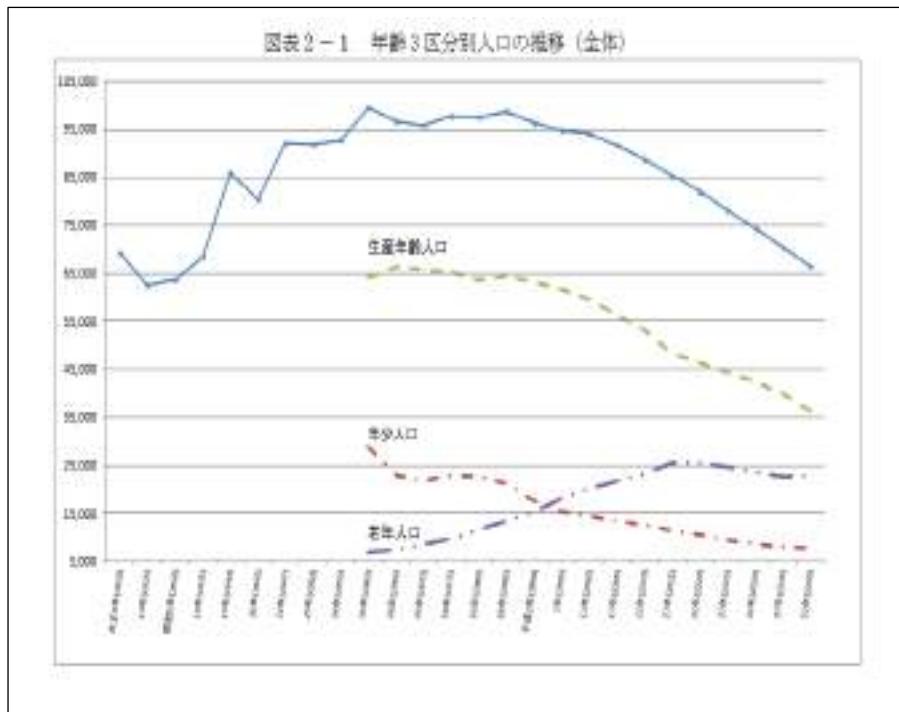
- コンパクトシティの推進
- ICT を活用した「便利な田舎暮らし」の推進



「ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる“未来の舞鶴”」

(参照：舞鶴市「SDGs 未来都市計画」
https://www.city.maizuru.kyoto.jp/cmsfiles/contents/0000005/5338/SDGs_miraitoshikeikaku.pdf)

この「SDGs 未来都市計画」の中で、舞鶴市が今後取り組む課題として挙げている項目の一つが「人口減少・少子高齢化に対応したまちづくりへのシフト」です。



舞鶴市は現在少子高齢化が問題となっています。舞鶴市の「人口ビジョン」によると、2004 年に自然減少に移行した後、近年では年間 300 人を超える減少が続いているそうです。特に 20~30 代の人口減少が高く、これは地元に大学がなく進学に伴う転出が多いこと、海上自衛隊が所在しているため、それに伴う転出入が多いことが挙げられます。一方高齢化率は 2010 年まで上昇を続け、2015 年以降 65 歳以上の比率は横ばいになる推計です。

(参照：舞鶴市人口ビジョン

<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000000/148/jinkoubijon.pdf>)



(←東舞鶴にある大門通り)

かつて東舞鶴地区発展の中心となつた大通りですが、今は休日の昼間でもほとんど人通りがありません。街の活力が減退しているのを肌で感じます。このような商業の衰退がさらに若者の地元離れを加速させていと考えられます。

2、コロナでジョブシャドウイング存続の危機！？

新型コロナウイルスが世界中に拡大し、日星高校は4月後半からゴールデンウイーク明けまで休校になりました。やっと学校が再開され、ジョブシャドウイングの活動が本格始動できると思った矢先、舞鶴市役所から連絡が来ました。要旨は以下のとおりです。

- 1、コロナウイルスの影響で今年のジョブシャドウイングの受け入れを中止にしたい。
- 2、昨今舞鶴市役所にジョブシャドウイングの希望をする団体が増えており、受け入れが困難になってきているため、大学生など地元に就職希望の団体を優先的に受け入れたい。

これは実質的に来年度以降のジョブシャドウイングの続行が難しいということです。確かにこれまでの日星高校のジョブシャドウイングは社会勉強の側面が強く、Uターンのための職場体験ではありませんでした。受け入れて下さる市役所への負担も大きかったと思います。

しかし、一年生の時から準備を進めてきた私達は諦めきれず、目標を明確にし、これまでの活動内容を見直し、これまでとは違う形式で何とかジョブシャドウイングをやろうと決めました。舞鶴市役所にも、出前講座のような形式で、それぞれの課の担当者から話を聞かせていただく許可が下りました。市役所に出来るだけ負担の少ない形で、尚且つこれまで以上に私達生徒が主体になって地元について学べる活動を模索し始めました。

3、活動の見直し

まず、これまでのジョブシャドウイングは自分達の職場体験で終始していましたが、舞鶴の発展のために具体的に貢献できる活動をするという方針を定めました。

従来のジョブシャドウイング→市役所での体験に重点を置いていた

反省点・・活動内容が市役所へ任せきりになり、市役所への負担が大きかった。

活動後の提言が少し押しつけがましくなってしまっていた。



今年の変更点→自分達で実践したものを市役所に発表する

利点・・市役所に負担をかけない。

地域へ活動を展開することで、活動の幅が広がる。

自分達で活動内容を考えることで、主体的に活動できる。

そして私達が取り組む課題を、舞鶴市の「人口減少・少子高齢化」に絞り、次のような目標を立てました。

目標

「舞鶴のことを大勢の人にアピールして、舞鶴に魅力を感じてもらい、舞鶴を訪れる人を増やす」

- ・若者が地元に魅力を感じるようなアピールをして、都市部への人口流出を防ぐとともに、IターンやUターンを促進する。
- ・子育て世代の人達に住みやすい街としての舞鶴をアピールして、舞鶴への移住を促進する。
- ・舞鶴の特産物をもっとアピールして知名度を上げ、産業の発展を目指す。

方法の検討

私達は舞鶴のアピール方法について考えることにしました。現在、舞鶴市が行っている広報は以下のようなものがあります。



広報まいづる



Facebook



Instagram

さらに今回のコロナ禍をきっかけに、舞鶴市はYouTubeチャンネルを作ったり、LINE公

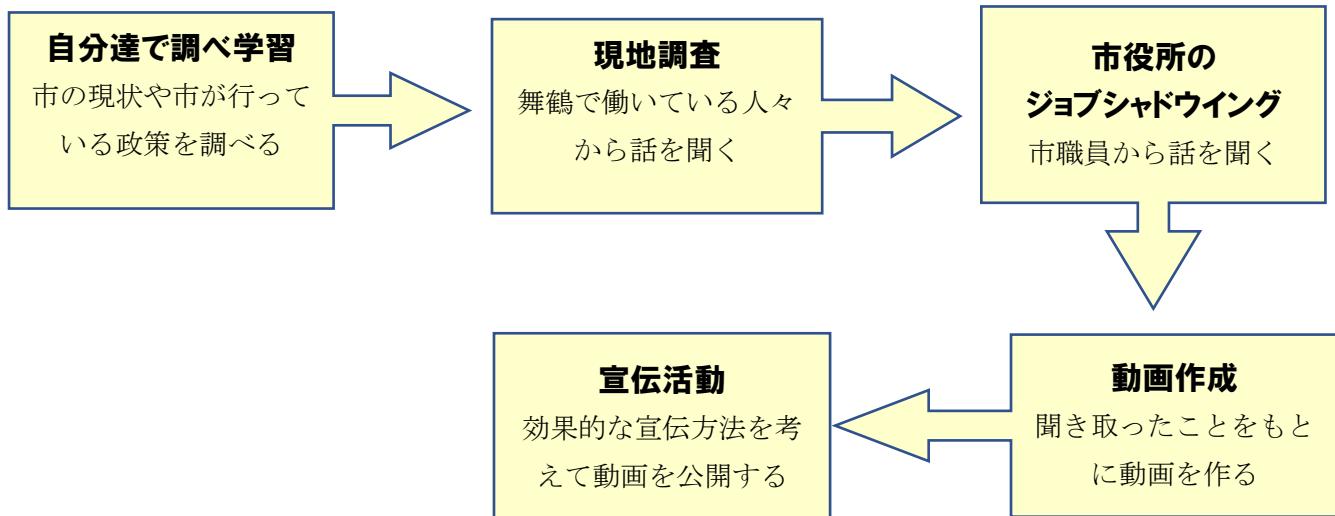
式アカウントを作ったりして、インターネットを通じた情報発信を強化しています。しかし、クラスで実際に見たことがあるものを聞き取り調査したところ、「広報まいづる」は家に配られるため、見たことがある人が何人かいましたが、他の媒体は関心があつてわざわざ検索しない限り見ないことが分かりました。

不特定多数の人に見てもらうには、受動的に手に入る情報の方が、宣伝効果があるのではないかと考えました。さらに、「広報まいづる」のようなタウン誌は特に若者にとってはとつつきにくい印象があるため、若い世代がよく利用する媒体を使ったアピールのほうが効果的だと思いました。そこで私達は舞鶴を PR する動画を作り、YouTube で公開することを目指して活動を始めることにしました。

- YouTube で PR 動画を公開する**
- ターゲットはネットをよく利用する若い世代**
- 若い世代の人に興味を持ってもらえそうなお洒落でポップな動画にする**

活動の流れ

私達はそれぞれの興味のある分野ごとに、「観光課」「子ども支援課」「教育課」「農林課」の四つのグループに分かれて活動を始めました。



4. 新たなスタート

～4つの課とそれぞれの取り組み～

①観光課

西村萌瑠 滝沼陽乃 三宅悠希 近藤夕愛 東優衣

1. 目標

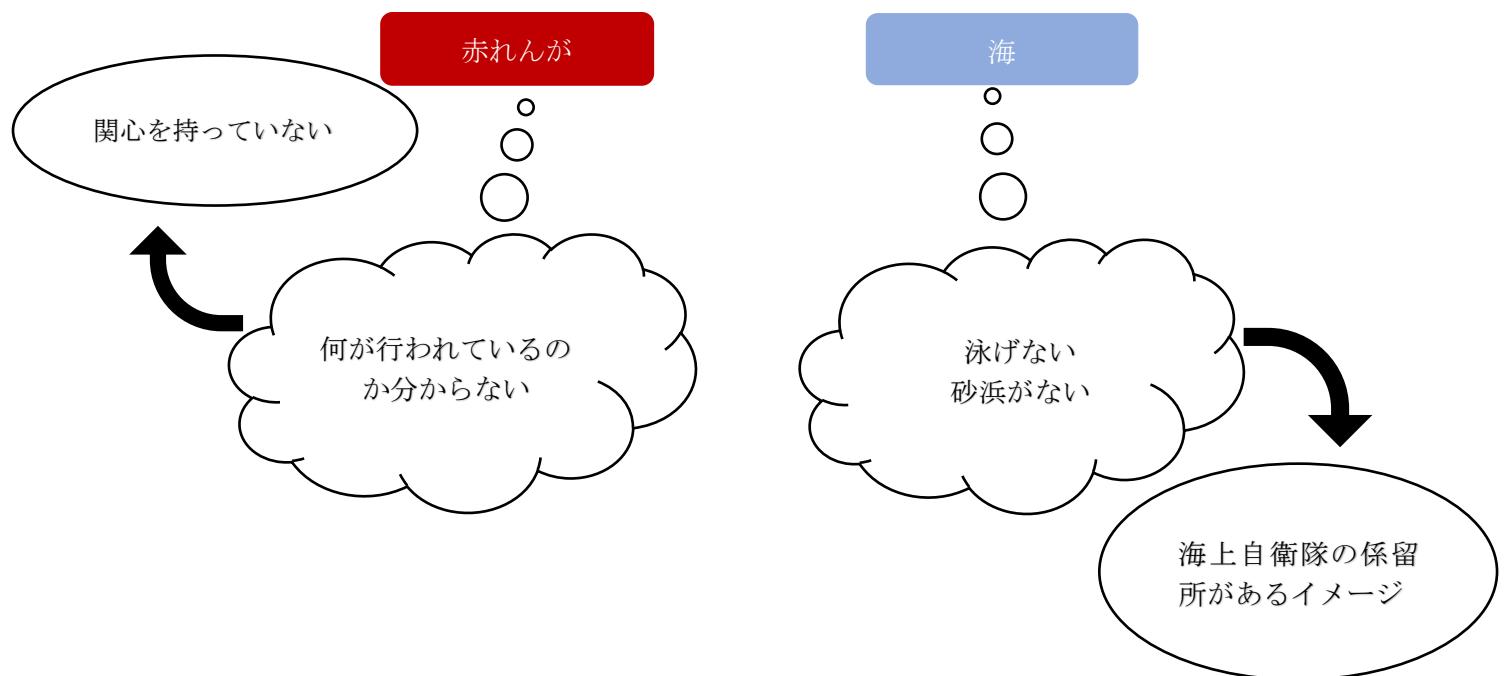
舞鶴の知られていない魅力を発見し、それを発信する。

2. 動機

舞鶴といえば海や赤れんがが有名です。ところが、私たちのクラスで聞き取り調査をしたところ、舞鶴=海、赤れんがというイメージを抱いている人が少ない事が分かりました。地元に住んでいる私達にとって、あまりに身近にありすぎて、その価値に気づいている人はあまり多くないようです。確かに赤れんがでは様々なイベントが開催され、若者向けのコンサート等も催されていますが級友に尋ねてみても、赤れんがに行ったことのある人はいませんでした。海に関しても、神崎や滝宮浜など海水浴場はあるのですが、私達にとって身近な舞鶴の海は「泳げない」「砂浜がない」といったイメージが大きいです。以上のことから海や赤れんがは若い世代にはあまり身近なものとして捉えられていないのではないかと思いました。



※1 舞鶴市ホームページ引用



そこで私達はクラスで意見を出し合い、新たな観点から舞鶴をアピールできないかと考えました。

現在、学生や若者の中ではカフェに関心が集まっています。インスタ映えするオシャレなカフェや、その土地にちなんだメニューが展開されているカフェなどユニークなお店が増えています。舞鶴でも海辺にあったり、若者が関心を持ちそうなお洒落なものも増えているので、是非それらを発信したいと思っています。発信する方法として、youtube を使ったPR方法を考え、二軒の店舗にご協力頂き、その店舗の外観・内観を撮影し、代表の方へオススメメニューなどをインタビューして、それを短い動画にまとめて発信することで魅力を伝えたいと思いました。また、カフェへ行く道中の舞鶴の景観も動画に組み込み、アピールしたいと思います。

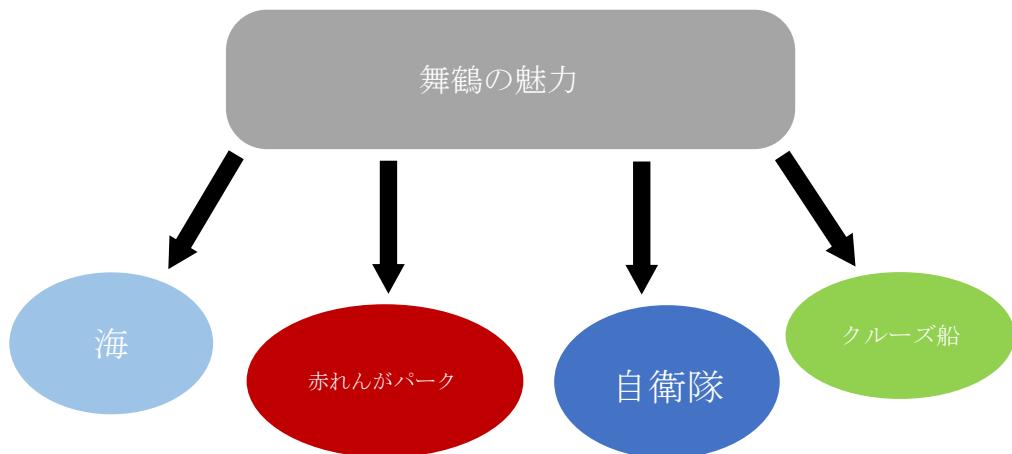


※2 舞鶴市観光ネット引用

若者からの注目を集めることで、赤れんが、海、自衛隊等という歴史的な美しい街舞鶴にさらに関心を持つ舞鶴市民、市外の観光客を増やすことが狙いです。

3. 経緯

〈舞鶴市がアピールしているポイント〉



〈私達の思い〉

舞鶴の何を伝えたいか…



[ターゲット]

10代から40代までの女性

都会に出て行く人が多くなってきており、中で舞鶴にとどまる人を増やしたい、呼び寄せたい、主婦層の団欒の場にしたいという思いからターゲットを10代から40代までの女性に絞りこみ、私達の目線で舞鶴を活性化させることにしました。

4. 内容、方法

YouTube テーマ

〈 日常・憩いの場 〉

〈日常・憩いの場〉にはカフェにいても家にいるようなゆったりとした落ち着いた感覚、心穏やかになれるという思いを込めています。そして動画完成までの活動を始めました。

【STEP1】撮影場所決め



どのカフェを撮影するかをリストアップし、協力していただくお店にアポイントメントを取りました。カンマダイニング様とラボラトワール様に撮影の協力を依頼しました。

【STEP2】絵コンテ作り



【質問】

- ・どのような舞鶴の食材を使っているか
- ・どのようなことをモットーにしているか
- ・なぜ舞鶴にお店を作ったのか
- ・オススメ料理のポイントはどこか
- ・女性、学生にオススメ・人気のメニューは何か

絵コンテで動画の構成を作成し BGM やテロップ、どのような角度から何を撮るのかまで計画を立てました。動画作成は初めてなので、構成を考えるのは大変でした。

【STEP3】撮影



実際にカンマダイニング様とラボラトワール様へ伺い、撮影をさせていただきました。動画撮影、写真撮影、インタビューなどを全員で役割分担しました。どちらのカフェの方も優しく対応してくださいってとても撮影しやすかったです。絵コンテ通りに順調に撮影すること

ができました。

STEP4 市役所の方との交流



舞鶴市役所へ行き、実際に観光課で働いていらっしゃる職員の方々と、私達の理想と舞鶴の現実についての意見交流、舞鶴のクルーズ船の状況について話し合いました。「こうしたら良いのではないか」という理想を掲げても、実際に実行するには様々な条件があり、実現させるには沢山の人の手がかかると思いました。

STEP5 編集

編集は取材したお店の外見などがより良く見えるように色味を補正し、見やすくなるようにスローにしました。YouTube を見てくれる人が飽きないように動画をテンポ良く進め、映像を引き立たせるように字幕もコンセプトに合わせてシンプルにつけました。場面の移り変わりが分かりやすくなるように場面転換で曲を変えるなど、BGM の工夫もしました。



STEP6 報告会

各班がそれぞれ作った動画を全員で鑑賞し、改善点などの意見をお互いに出し合いました。

他の班がどのような動画を作っているのか参考になるだけでなく、互いに視聴者目線だからこそ気づけること也有ったのでとても有意義な時間でした。



STEP7

YouTube 投稿

5. 感想

ジョブシャドウイングに行って、私が一番強く印象に残った事は、様々な制限の中、需要と供給を成立させる為には想像以上に緻密な製作過程を要するということです。私達は舞鶴のために行なっていたつもりだったけれど、目標を定めて実現していく過程をしっかりと考えないと、一方的な押し付けになりかねないことを実感しました。市役所での企画と違い、私たちの活動には制限が比較的少ないのでそれを強みにしつつ、これからより良い舞鶴のPRができるようになりたいです。

浅沼陽乃

私は市役所へジョブシャドウイングに行って社会の難しさを学びました。私達がこうあってほしいと願う理想を現実にするのは私達が勝手に作りたいと思うだけでは難しく、本当に実現させたいのならいろいろな人の力が必要になってくるということがよく分かりました。一つの大きなものを作るには、細かく具体的に計画を立てていかないといけない事を学びました。また、取材の許可取りから撮影まで全て自分達でやるのは初めての体験で、どのように工夫すれば良い物になるのかいろいろな視点から見つめる事で気づけた部分が沢山あり、一つのことに集中するのも大切だけど視点を大きく変えてみる事も重要だと思いました。

西村萌瑠

このジョブシャドウイングをするまでは、舞鶴の事を全く知らず、オシャレなカフェがあ

る事すら知りませんでした。これからもまだ私が知らない舞鶴の魅力を見つけていきたいです。また、田舎には田舎の良いところがあるということを、今回発見しました。田舎ならではの魅力をもっと見つけていきたいです。

近藤夕愛

私は市役所へ行った時、地元の魅力を世間に発信して、観光客を呼び寄せるこの難しさを知りました。多くの観光客を呼び寄せるには、まず私たちが舞鶴の魅力に気づくように生活していくかなければならないと思いました。私はもともと田舎があまり好きではなかったけれど、仲間と協力し合って一から舞鶴を発信する活動を通して、舞鶴の魅力に気がつくことが出来たし、良い経験になったと実感しています。このような活動を積極的に取り組むことは、街の少子高齢化を防ぐことが出来るから、もっと増えてほしいと思いました。

東優衣

私は今回の動画作成を通して貴重な体験ができたと同時に舞鶴の新たな魅力に気づくことができて良かったです。ターゲット層を決めてから絵コンテ、アポイントメント取りまでやったことのないことばかりで大変だったけれど慣れないながらもみんなで協力してきました。また市役所の観光課の方との交流でも舞鶴の観光の現状や施策の立て方など、普通は関わることのできない観光課の裏側を知ることができてとても参考になりました。初めは例年のジョブシャドウイングとは違う形での取り組みになり不安でしたが、市役所の方との交流や取材先のお店の方へのインタビューなどを通して、社会に触れることができたのでとても勉強になりました。

三宅悠希

7. 今後の課題

現在、新型コロナウィルス感染拡大のため各地の観光地は大きなダメージを受けています。舞鶴も同じく、「Go To Travel キャンペーン」という政府の取り組みはありますが、なかなか厳しい状況です。そこでこれからは新しい生活様式に合わせた観光地の対策や取り組みが必要になってきます。そんな中、今回のような動画の発信は遠く離れた場所へも舞鶴の良さをアピールできるという点でとても有効的だと思います。

舞鶴市の YouTube チャンネルを拝見しましたが、それぞれの動画の題材は、若者が興味を惹かれるようなものではなく地味な感じが否めませんでした。そのため舞鶴市の YouTube チャンネルの中に若者が見たくなるような動画があるとは思えませんでした。私はそもそも舞鶴市がインスタグラムなどの SNS をされていることすら知りませんでした。コロナ禍で人々の在宅期間が長くなっている今、ネットの利用率は上がっています。そこで、若者の意見を取り入れるなどして YouTube や SNS を利用した広報活動の充実が必要だと思います。またそれと同時に、今観光客の方が聞きたいこと、求めていることを動画にして

アピールしていく必要があると思いました。例えば観光施設で、どのようなコロナ対策をとっているか、という情報を分かりやすく HP に載せれば、観光客は安心して施設を訪れることができます。

市役所の方にお話を伺った際に、市役所は公平な立場でなければならないため、今回私たちが作ったような、1つのお店を取り上げる動画は作ることができないとおっしゃっていました。それならば、せめて作ることはできなくても YouTube チャンネルなどで紹介することはできないのでしょうか。申請し審査を通過すれば誰でも舞鶴市の YouTube チャンネルに動画を投稿することができるというシステムを作れば、様々な方面からの動画も増え、市役所が紹介することのできないところも紹介することができ、舞鶴市の新たな魅力をアピールすることができると思います。

コロナ禍で観光客の数が激減し「with コロナ」という新たな生活様式に変わりつつあります。そんな中でネットは、ますます観光地の魅力発信のために重要なツールになっていくでしょう。世界中の人々がどこでも利用できるというネットの特性を活かして、コロナ禍での各観光地のアピールの方法を考えていく必要があると思いました。

〈引用〉

※1

<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/cmsfiles/contents/0000004/4022/jissikeikak.pdf>

※2

<http://www.maizuru-kanko.net>

②子ども支援課

坂田菜々香・橋田陽和里・村上結

1、目標

子育て世代に情報を提供して舞鶴の子育て世代を増やす

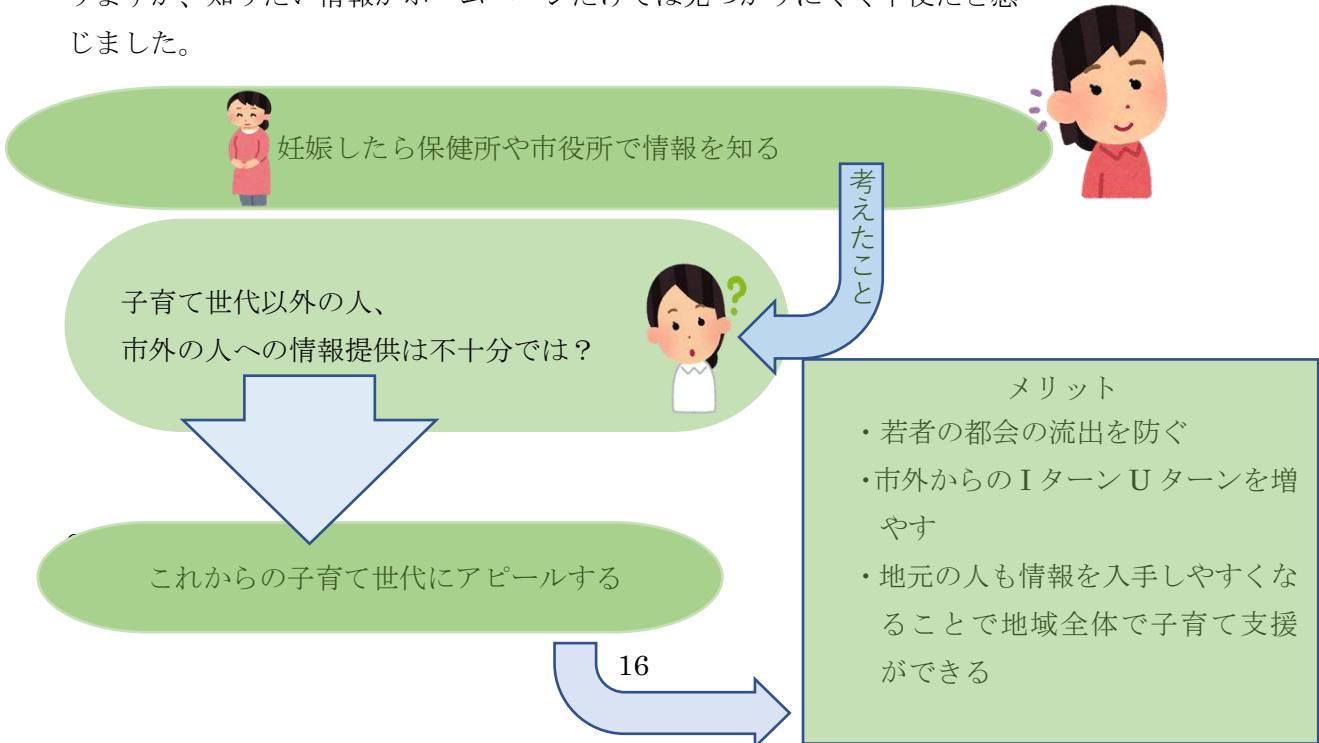
2、活動動機、目的

私たちはこの取り組みを始めるにあたって、一番の問題になっている少子高齢化に注目

しました。左のグラフにも示されているように、舞鶴市の年少人口割合は減少傾向にあります。高校卒業後、多くの学生は進学や就職を機に市外へ流出します。彼らのほとんどは地元に戻ってきません。その理由はたくさんありますが多くの人が交通の便や就職先の選択などの点で不便を感じているからだと思います。都会に慣れて

舞鶴市の自然や人々との関わりの記憶が都会の便利さに消されてしまうのです。これでは子育て世代が減り、ますます人口減少が進んでしまいます。そこで私たちは、これから家族を持ち、子育てをする層へ向けて、「子育てしやすい街、舞鶴」というアピールを行うことで子育て世代を増やすことを目標にしました。

まず、実際に舞鶴市にはどのような子育て支援があるのか調べてみることにしました。市のホームページを検索してみたところ、イベントがたくさん開催されていることはわかりますが、知りたい情報がホームページだけでは見つかりにくく不便だと感じました。



3、活動内容

STEP 1

取材場所決め

私たちは、どの施設へ取材に行くかを話し合い、次の観点から「子育て支援基幹センター」と「あそびあむ」に取材に行くことに決めました。

子育て支援基幹センター



コンセプト

お母さん同士の交流を重視した施設で、子どもはのびのびと触れ合え、その間お母さんは楽しくおしゃべりできる

あそびあむ



“あそび”をテーマに大人と子どもが一緒に遊べる

施設の特徴



- 子育てのサークル作りの支援
- 子どもの健康診断場所
- 「子どもなんでも相談窓口」の開設



- プログラム対象者に合わせ、イベント内容が変わる
- 多世代交流ができる
- 子育て支援施設の中で一番利用者が多い
- 遊ぶスペースが広い

STEP 2

アンケート作成

現在子育て中の方から生の声を聞くことで舞鶴の子育て支援の現状を知りたいと思い、2つの施設にアンケートを設置することにしました。



↑あそびあむ



↑子育て支援基幹センター

→アンケート

アンケートでは、

- ・子育てについての情報の入手手段
 - ・職場の子育て制度の充実感
 - ・子育てで大変なこと、楽しいこと
- などを質問しました。

情報の入手手段について調べたのは、私たちがこの活動の中で子育てにつ

↑アンケートボックス

いての情報を調べた時に、インターネット上で情報が見つかりにくいと

感じ、利用者の方は、どのようにして情報を得ているのかを知りたかったからです。職場の子育て制度の充実感を調べた理由は、最近子供を預けて働ける職場や、産休や育休を多めに取れるといった子育て世代に優しい職場が増えてきているというのをニュースなどでよく聞くので、舞鶴市にもそのような職場はあるのか、働いている方がいるのかということ



を知りたかったからです。子育てで大変なこと、楽しいことについて聞いたのは、当事者の方達にしかわからない悩みを少しでも多くの人に知ってもらいたいと思ったからです。



私たちのように子育てをしたことがない立場からは、子育てをしている方達が思っていることは、想像でしか考えることができません。なので、子育ての現状を発信することで、少しでも多くの人が子育て世代の方々の大変さを理解し、手助けしあえる環境を作ることができれば良いと思いました。

STEP 3

取材

「子育て支援基幹センター」と、「あそびあむ」に取材に行きました。施設の職員の方に、施設の説明やイベント情報などを教えていただきました。

取材を終えての感想

● 子育て支援基幹センター

やはりお母さんに向けての活動が多いと感じました。「ひよこひろば」などのイベントでも、「お母さんたちの心と体のリラックス体操」や、「お母さん同士の交流」などお母さんがリラックス出来る環境が整っていると感じました。実際、利用者の方にお話を聞いたところ、「このコロナ禍で中々外に出られず、子どももストレスがたまっていると思う。でも、ここに来れば、子どもは遊べるし、私たちは話し相手ができる。」とおっしゃっていました。



コロナ禍で、子どもをどこにも預けられず、仕事をしながら子供の面倒を見たり、食事の準備をしなくてはならず、今まで以上に親への負担が増えていると聞きます。このような中、親のストレスケアができる場は、とても貴重だと思います。

● あそびあむ

多世代交流のことについて詳しくお話を聞きました。中でもお父さんと子どもの交流に力を入れられていて、「パパと赤ちゃんあそびの体験」は、すぐに予約が一杯になってしまいほど人気だそうです。子育てというと主にお母さんがするものという認識がありますが、このような機会があれば、家庭でもお父さんが育児に関わるきっかけを作れると思いました。また、あそびあむでは、母子手帳発行前から子育て支援を行なっていると聞き、支援が充実しているのがわかりました。

STEP 4

子ども支援課の方にインタビュー

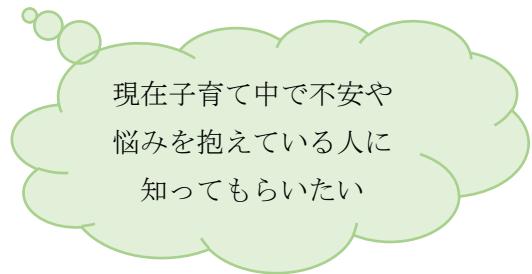
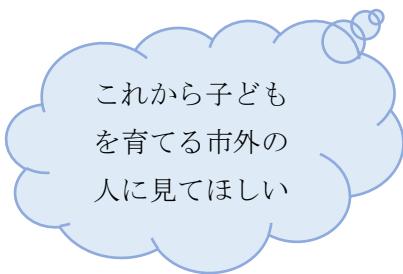


子ども支援課の方に、舞鶴の子育て支援制度、各施設の利用者などについて事前に考えた質問に答えていただきました。その回答の中から、新たに出てきた質問をしたり、情報提供についての改善策を話し合ったりしました。



① コンセプト決め
<動画の目的>

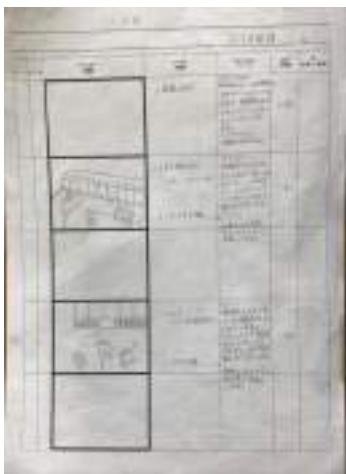
子育て世代にわかりやすく伝えて、子育て世代を増やす



<動画のコンセプト>

大人が安心できて、子どもが「行きたい！」と思える楽しさ、あたたかさが伝わる動画

② 動画の構成



↑ 絵コンテ

↓ 舞鶴に関するものでキャラクターをデザイン



絵コンテを書き、動画の内容を具体的に決めました。また、BGMは明るく、楽しそうだと思うものを選んだり、キャラクターをデザインしたりして、より子どもが親しみやすいように工夫しました。

③撮影



オリジナルキャラクターを使って、「あそびあむ」と「子育て支援基幹センター」の紹介動画を撮影しました。新型コロナウイルス感染予防や利用者のプライバシー保護のため、施設内で撮影はできませんでしたが、あたたかさや楽しさが伝わるように、ゆったりとした明るい声で話すことを心がけました。

④発信

YouTube に投稿

4、結果

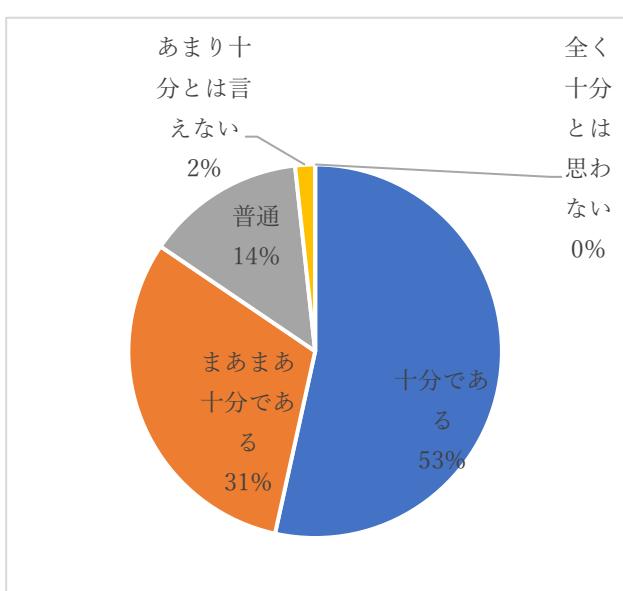
次のグラフは私たちが実施したアンケートの結果です。

対象… 「あそびあむ」「子育て支援基幹センター」の利用者

回答者数…58人（各施設29人ずつ）

※施設利用者対象のアンケートの為、結果には偏りがあります。

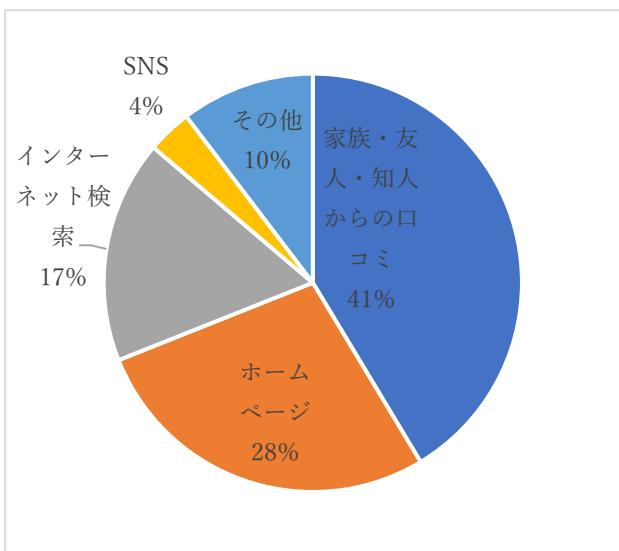
A) 子育てに関する情報提供は十分であると思いますか？



<わかったこと>

- 施設に行っている人は十分に情報が伝わっていると感じている人が多い
- 張り紙だけだと不十分、情報メールを登録していないとわからないという意見もあった
- 2つの施設を比較した結果、「子育て支援基幹センター」より「あそびあむ」の方が情報提供が不十分であることもわかった

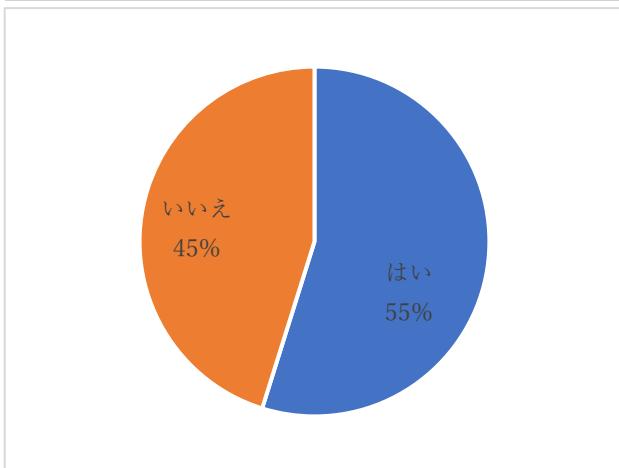
B) どのようにして、子育て支援施設について知りましたか？



<わかったこと>

- 利用者の多くが口コミで情報を得ていることがわかった
- 一番多い情報を得る手段は「あそびあむ」では口コミ、「子育て支援基幹センター」ではホームページと、2つの施設の間でも大きな差が見られた
- 広報から子育て情報を得ている人は少なかった

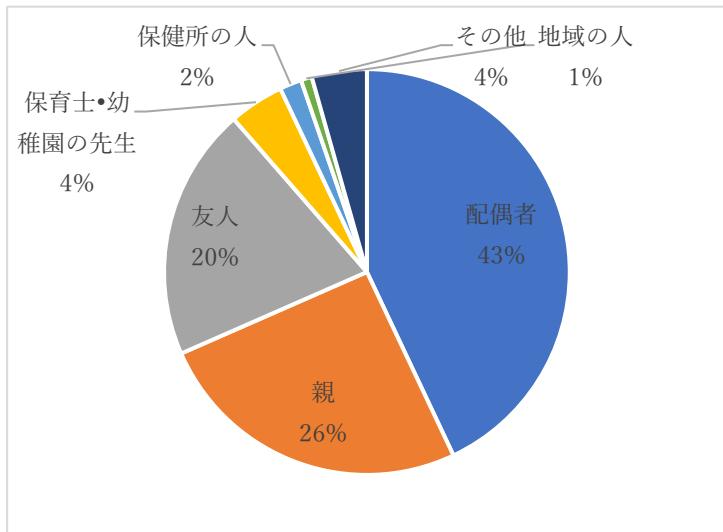
C) あなたが勤めている職場において子育てに関する制度は整っていると感じますか



<わかったこと>

- 制度が整っていても、人手が足りなかったり、肩身が狭かつたりして休みを取りづらい人が多いことが分かった
- 父親の育休制度を求める声もあった
- 仕事を続けられず今は仕事をしていない人も多かった

D) 子育てで大変なときに支えってくれる人は誰ですか



＜わかったこと＞

- 全体の約9割が家族や友人による支えだった
- 地域の人や、保健所の人による支えられている人は少ない

5、感想

私たちは全くと言っていいほど、施設やイベントについて知りませんでしたが、子育て世代の利用者が意外と多くて少し驚きました。また、悩みの相談の半数ほどが虐待に関してだということも知りませんでした。虐待の相談が多いのは、家族や地域の人など、困った時に頼れる人とのつながりが少ないと感じます。子育て支援情報を得た方法では口コミが最も多く、市によるチラシ、HP、ネットなどの情報提供が不十分なのではないかと感じました。そのため情報提供のより良い方法を考える必要があるなと思いました。

坂田 菜々香

実際に市役所に行ってお話しを聞いて、自分達で調べたよりも多くのことが分かりました。資料も頂き、子育て制度全般を知ることができました。また、最近はLINEや「まいなん」という情報サイトで子育て制度や、イベント情報などを発信されていることを知りました。しかし、このことがまだ一部の人にしか伝わっていないのではないかと、お話しを聞いていて思いました。私自身、そのようなサービスがあることを知りませんでした。動画では、今回学んだことはもちろん、このサービスについても紹介したいと思います。

橋田 陽和里

市役所の子ども支援課の方の話を聞いて舞鶴にはたくさん子育てを応援したり、手伝ってくれる施設があることを知りました。もちろん私たちも施設についてたくさん調べたのですが、施設それぞれに役割があって、思い切り子供と遊びたい時には「あそびあむ」を、相談事がある時には「子育て支援基幹センター」を利用するなど目的によって使い分けられることがわかりました。また、お母さんにくっつきがちになっている子供がお父さんと遊べ

るような企画や、高齢の方々と交流する機会もあり、子供だけでなくお父さんや高齢の方々にも刺激を与えられる素敵な企画だなと思いました。これをHPや広報を通じてもっとたくさんの人たちに知ってもらえたならなと思いました。また、ここから改めて情報提供の難しさを学びました。若い人たちはネットを見るけれど高齢の方々はなかなか見る機会がありません。双方に情報を十分に伝えるにはどうしたらいいのか考えなくてはいけないと思いました。

村上 結

(参照)

- ・舞鶴市公式ホームページ

<https://www.city.maizuru.kyoto.jp/kenkou/0000000151.html>

- ・第二期 夢・未来・希望輝く「舞鶴っ子」育成プラン

https://www.city.maizuru.kyoto.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000006/6495/ikuseiplan2_2020052810024146.pdf

③教育課

堀ももは、網谷灯航、内藤早希

1. 目標

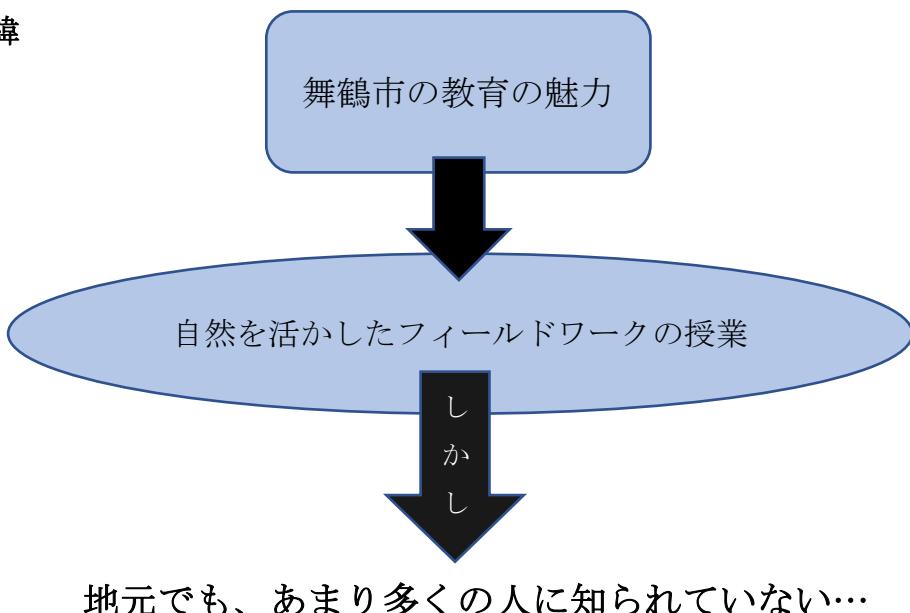
舞鶴市の教育について知ってもらう

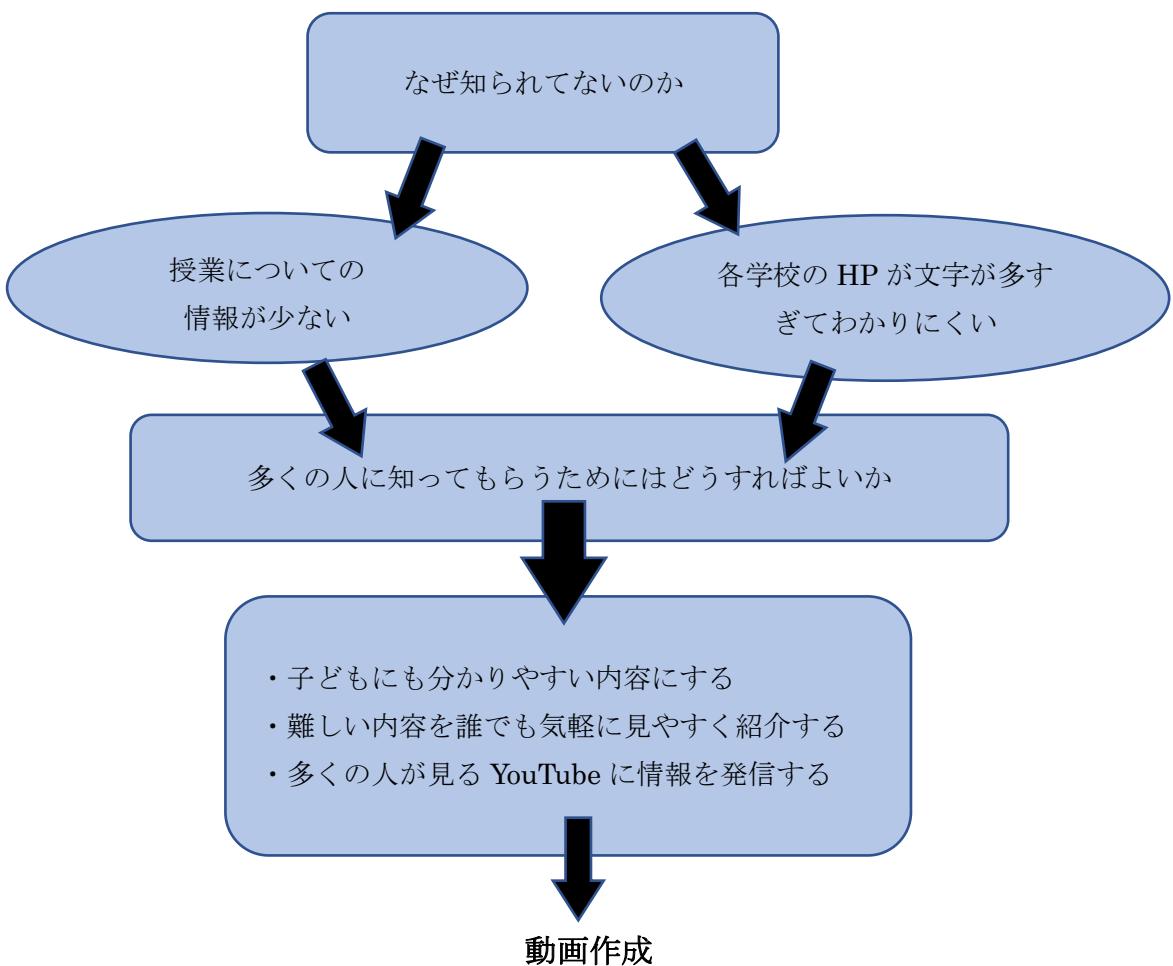
2. 動機

私達は教育という観点から舞鶴の魅力を探ろうと考えました。地域の活性化を図る上で、これからの中の未来を担う若い世代に働きかけるためには、教育の充実が大切だと思ったからです。これからAIと共に存する社会に移り変わっていく中で舞鶴市は、AIに負けない「生きる力」をどう育んでいるのか疑問に感じました。私たちが考える生きる力とは「考え、議論する力」です。議論することにより新しい考え方を手に入れられ、そこから考えることで別の考えに派生し、よりベストな考えにたどり着くことができます。

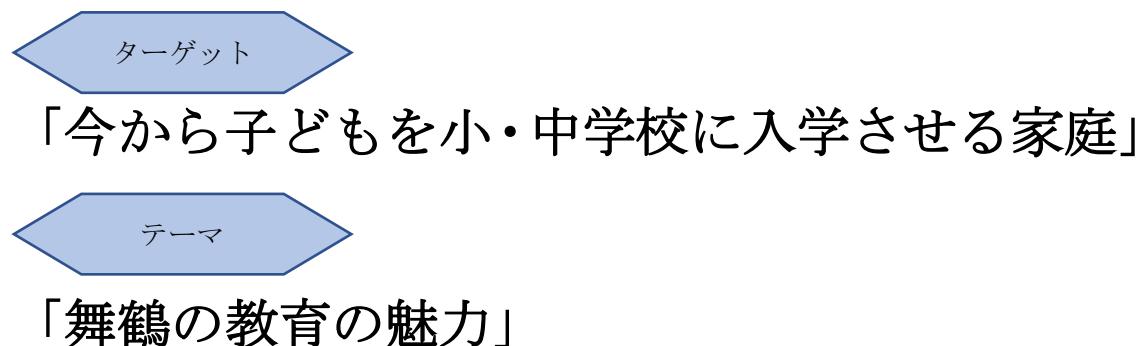
舞鶴市は「SDGs 未来都市」にも選ばれており、何か教育分野で特色ある取り組みを行なっているのではないかと考えました。そこで私達は、歴史ある明倫小学校にインタビューを行ったり、舞鶴市役所の学校教育課の職員さんに教育現場の現状を詳しく伺ったり、「舞鶴市教育振興大綱」を読んだりして舞鶴市がを目指す子ども像、教育方針について調べました。そこでわかったことを動画にまとめ、多くの人に知ってもらうことを目標にしました。地域の教育に魅力を感じてもらうことは、地元のさらなる教育の発展や地域活性化に繋がると思ったからです。

3. 経緯





4. 内容



5、動画作成

過程 1. 話し合い



どのように舞鶴の教育について説明する動画を作るか話し合いました。「子どもでも見やすい動画」を目指し、キャラクターを動かし、物語風に伝えるという方法に決定しました。

過程 2. 学校決め

「総合的な学習の時間」の授業を通して、自然を活かしたフィールドワークの授業に力を入れている明倫小学校に取材を依頼しました。

過程 3. 絵コンテづくり



絵コンテを作成し、ストーリーを決めていきました。子ども達にも見てもらえる動画を目指し、子どもでも理解しやすい言葉を選び、イラストや写真を入れる工夫をしました。

過程 4. 明倫小学校に取材



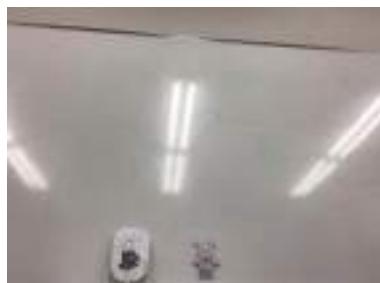
明倫小学校に行き、取材を行いました。ホームページだけでは分からぬ学校での生徒達の様子や、「総合的な学習の時間」を通して子ども達に何を伝えたいと思つておられるかが分かりました。

過程 5. ジョブシャドウイング



市役所の教育課の職員さんから話を伺いました。舞鶴市では「生きる力」を育む方法として、ICT や少人数制の導入をしておられることがわかりました。

過程 6. 撮影



伝わりやすいようにハキハキと大きな声で話すことを気をつけました。言い間違いやセリフが飛んでしまった時には、何度も取り直しをし、舞鶴の教育の魅力がしっかりと伝わるような動画を撮ることができました。

過程 7. 編集



キャラクターごとに字幕の色を変え、どのキャラクターが話しているのかを分かりやすくしました。BGMは可愛く明るいものを使い、「子どもも見やすい可愛い動画」を目指しました。

過程 8. 報告会



各グループで動画を見せ合い、改善案を出し合いました。自分では気づかない改善点が分かり、動画をより良いものにすることができました。

過程 9. YouTube 投稿

6. 感想

今回の取り組みを通して、舞鶴で 17 年間教育を受けてきたけれど、知らないことがたくさんあったことが分かりました。なぜ知らなかったのか。それは知ろうとする気持ちがなかったからです。多くの人は私と同じように興味を抱いたことがない人が大半でしょう。しかし、現在舞鶴市ではどんどん少子高齢化が進んでいます。これは地元の大きな問題です。だから他人事として放っておらずに、まず自分から知り、発信していくことの大切さを学びました。

今回の動画作成やインタビューで、舞鶴の教育に興味を持った人達が増え、少しの人数でも舞鶴に移住してくれるようになったなら、私達は舞鶴市に貢献できたような気がします。私達は 17 年間舞鶴市で暮らしてきました。このまま生まれ育った町が衰退していくところは見たくありません。今回の活動が舞鶴市の未来に繋がることができた時、初めて今回の活動は成功したと言えるでしょう。

堀 ももは

今回の取り組みを通して舞鶴市がどのような教育方針をとっているのか、どのような観点で教育に力を注いでいるか等、知らなかつたことを色々知ることができました。元々私は福井県出身で、高校から舞鶴市に来るようになり今回の取り組みまで舞鶴市の教育について知らないも同然のまま過ごしていました。しかし舞鶴市の教育に触れて知ることで、今まで自分が知らなかつたことがもつたいないなと感じました。是非他県の人や舞鶴市に住んでいて教育に目を向けたことがない人達に知ってもらいたいと思いました。YouTube に発信して多くの人達の目に留まり、舞鶴市へ少しでも興味を抱いていただければ、少子高齢化や若者の流出等の舞鶴市の問題の解決につながると思います。そしてこの取り組みだけで終わらせることなく、様々な手段で舞鶴市の教育を広めていこうと思います。

網谷 灯航

6. 今後の課題

近年 AI が著しく発達を遂げており、イギリスのオックスフォード大学は、近い将来に現在ある仕事の 90% は機械 (AI) に置き換えられると公表し、また野村総合研究所は、この先 15 年で今ある仕事の 49% がなくなるというレポートを発表しています。 (AI drops より <https://www.bigdata-navi.com/aidrops/681/>)

現在国が実施している大学入試改革を見ても、小・中・高校に求められているものが大きく変わりつつあることがわかります。これからの教育は暗記中心ではなく、生徒に質問を投げかけて生徒自身が思考することが重要です。社会であれ数学であれ、なぜ？どうして？と生徒と教師が一緒に考えることが必要だと思います。そうすることによって新たな発見が起こり面白みも増え、生徒もより意欲的に授業に参加できるようになると思います。

今回舞鶴市の教育について調べた結果、ICT の導入や少人数制度を取り入れていることがわかりました。しかしあまり情報が公開されておらず、私達も今回の取り組みをするまでこのようなことが行われていることを知りませんでした。市が行っている教育的取り組みがもっと広まっていけば、舞鶴市の発展につながるでしょう。今回私達は YouTube に動画を発信するという方法を取りましたが、他にも広めていく方法は何種類もあると思います。どの方法を選択してどう広めていくのかを検討していくことが課題であると思います。

(参照)

- ・「舞鶴市教育振興大綱」（平成 31 年 3 月）

④農林課

大西淳司 菊田こころ 石塚舞優

動機

舞鶴は「海の京都」として知られ、海産物として海の幸は有名です。一方農産物はまだ認知度がそれほど高くなく、「舞鶴といえば○○」というイメージが定着していないように感じます。しかし、万願寺甘とう、舞鶴茶、落花生等、舞鶴ならではの農産物はたくさんあります。特にお茶は、5年連続産地第一位に輝いた実績があるにもかかわらず、これらはあまり知られていません。私達はこれらをアピールしたい、さらに、舞鶴の農業について知りたいと思い活動することにしました。

活動内容

私達はこの夏、舞鶴で農業をされている ASOBI 農園さんを訪問し、若手農家の視点から舞鶴の農業の今後の展望や抱負等を取材してきました。また、市役所にジョブシャドウリングにも行き、舞鶴の特産品の栽培や、AI 技術を取り入れたスマート農業について学びました。他にも、万願寺甘とうの可能性を広げたいと思い、万願寺甘とうを使ったお菓子づくりにも挑戦しました。また、そうして学んだ万願寺甘とうの魅力を多くの人に知ってもらうために動画にまとめました。

STEP1

取材する場所を決める



地元出身の若い方達が遊休地を活用しながら地元の野菜を作つておられる ASOBI 農園さんとメールでやりとりをして取材の日程を決めました。

STEP2

絵コンテ作り



絵コンテを描いて動画の流れを確認しました。

(意識したこと)

- ・動画の内容のわかりやすさ
- ・動画の起承転結のわかりやすさ
- ・時間配分

STEP3

取材



ASOBI 農園に直接取材に行き、インタビューと撮影をしました。

(質問内容)

- ・舞鶴で農業をしようと思った理由
- ・どのようなイメージ、コンセプトでアピールしていきたいか
- ・海ではなく山の農産物という観点からどういう風に舞鶴を盛り上げていきたいか

STEP4

ジョブシャドウイング



舞鶴市役所の農林課の方達や農家さんの話を聞きました。

(質問内容)

- ・スマート農業や万願寺甘とうについて
- ・舞鶴市の農業のあり方や今後の方針など

STEP5

編集



伝えたいことがわかりやすいような動画にできるようにみんなで協力しました。

(気を付けたこと)

- ・字幕の見やすさ
- ・聞き取りやすいアフレコ
- ・取材先の意思に沿った編集
- ・万願寺とうがらしと万願寺甘とうの違いを明確にする
- ・偏った意見にならないようにする

STEP6

報告会



クラスで観賞会をして改善点などのアドバイスをもらいました。

STEP7

YouTube 投稿

現在の万願寺甘とうについて

●万願寺甘とうとは

- ・辛みを持つ物が一本もないのが特徴です。
- ・「秀」「優」「良」と分けられており、その中で「秀」のみが京のブランド产品として出荷されます。
- ・基準は、エボ（ヘタの部分）を含まない長さが 12~23 cm の色艶良好で、形がよく、曲がりの少ないものだけが「秀」品として扱われます。



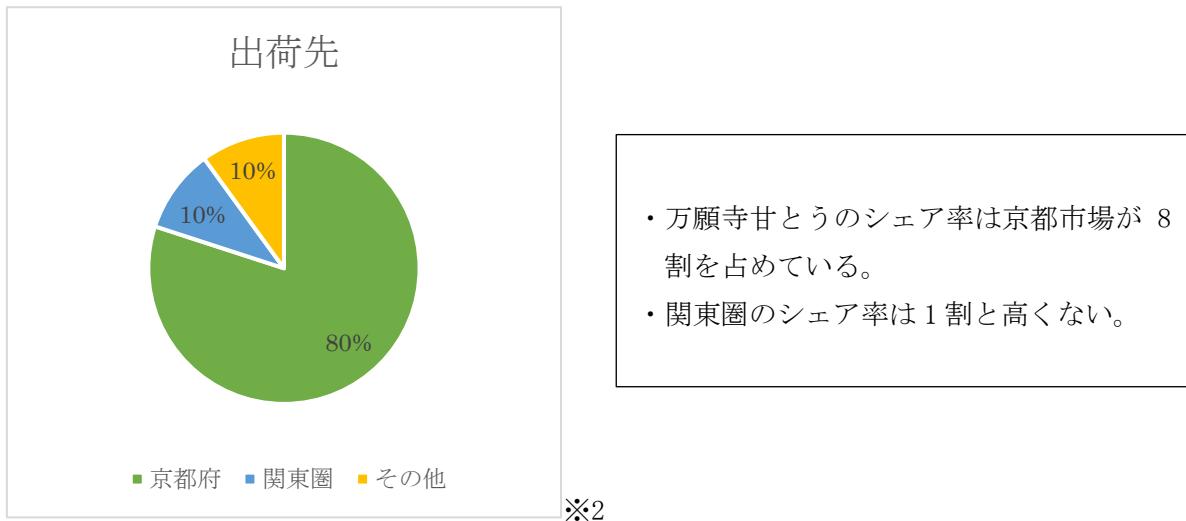
●万願寺の年間出荷量・出荷額

現在の万願寺の出荷状況は、下記の通りです。 (※1)



(※1)上図縦軸)第1段階の生産者数を総生産者数で割算して平均生産者数をもとに算出した比率(万願寺甘とう)のままに、既配による販売額の予測についても既配販売額よりこの期間を短縮できるか試して頂けたら幸いです。2.【夏】販賣:既配に於ける万願寺甘とう(子供)に対する、既配の他の品種との競争力を評価するため、既配販売額を既配販売額の一部を含む(即ち(子供)の販売額の合計)JA京都にのくにの販売額から、既配販売額を引いた数値が既配販売額である。既配販売額は既配販売額の合計)JA京都にのくにの販売額から、既配販売額を引いた数値が既配販売額である。

- ・万願寺甘とうの農家は徐々に増加しています。(※1)
- ・万願寺甘とうの出荷量は2016年で490トンを出荷しています。2020年は529トンの出荷に留まりました。今年は600トンを目標にしています。(※1) (※2)
- ・万願寺甘とうの販売額は2016年で3億3000万円を超えていました。2019年は3億9300万円を記録したとのことです。今年は、4億3000万円を目標にしています。(※1) (※2)
- ・2016年の作付面積は15ヘクタールでしたが、現在は15.16ヘクタールに増加しています。(※1) (※2)



現在の出荷先はほとんどが京都府内であり、主に料亭やレストランなどを中心として納品されています。京都府外への出荷は非常に少ないです。また、ネットでの通信販売を主としており、店頭に並ぶことが少ないです。これらが、万願寺甘とうの知名度が低い理由に繋がっているのではないかと考えました。

万願寺甘とうを使ったスイーツ作りについて

私達が万願寺甘とうを使ったスイーツを作ろうと思った理由は、万願寺甘とうが嫌いな人や、野菜嫌いな小さな子どもにも万願寺甘とうを食べてもらいたいと思ったからです。万願寺甘とうを使ったスイーツ作りに挑戦するにあたって私達はまず 1 番相性が良さそうなパウンドケーキに混ぜ込んでみました。私達の目標は「万願寺甘とうをしっかりと感じられるスイーツ」であったため、万願寺甘とうの味が強すぎたり、逆に感じられなかつたり、食感が悪かつたりと、なかなかうまくいかず、試行錯誤を繰り返しました。家族やクラスメイトなど、色々な人に試食してもらい、アドバイスをもらいながら改良していきました。

<試作品の一例>

- ・パウンドケーキ



工夫した点

- ・ナツツを入れて香りと食感を出した

改善点

- ・万願寺甘とうの味がしっかり感じられなかつた

- ・パン（ポン・デ・ケージョ）



工夫した点

- ・独特の匂いを消すためにチーズをたくさん入れた

改善点

- ・チーズの味が強くなりすぎた

・プリン



工夫した点

- ・牛乳の代わりに豆乳、砂糖の代わりに蜂蜜を使い、優しい味わいを目指した

改善点

- ・ペースト状にした万願寺甘とうのつぶつぶとした食感が残ってしまい、滑らかな舌触りが特徴のプリンには合わない

・レアチーズケーキ



工夫した点

- ・クリームチーズを多く入れて濃厚な味にし、万願寺甘とうの味を感じにくくした

改善点

- ・万願寺甘とうの存在が匂い、味、共に感じられなかった
- ・プリンと同じく、食感が残り、舌触りや喉越しが悪かった

・煎餅



工夫した点

- ・万願寺甘とうの素焼きを食べる時に使うことから相性の良い醤油と鰹節を使った

改善点

- ・素焼きをご飯と食べているような感覚で味も匂いも残っていた

様々な試行錯誤の結果、**大福**という結論に至りました。



工夫した点

- ・皮にも餡にも万願寺甘とうのペーストを混ぜた。
- ・万願寺甘とうの風味をしっかりと、しかししつこくならない程度に感じられるよう、万願寺甘とうを入れる量を調整した。

- ・匂いを和らげるためにペーストにする前に万願寺甘とうに長めに火を通した。
- ・餡は黒餡よりも優しい味わいの白餡を使った。また、白餡を使うことにより、断面も綺麗な緑色になった。

試食してもらった感想

- ・初めて食べる味。
- ・万願寺甘とうの風味はしっかりと残っていたが嫌な感じはなくて美味しかった。
- ・万願寺甘とうが苦手な人でもおいしく食べられた。

商品化する上での課題点

- ・コスト、手間がかかりすぎるのでレシピの普及は難しい。
- ・どうしても万願寺甘とう特有の味や匂いが残ってしまうので、万人受けする味ではない。
- ・隠し味のような工夫が欲しい。

今後挑戦したいこと

今回、万願寺甘とうを使ったスイーツ作りに挑戦しましたが、このレシピを宣伝することでさらに万願寺甘とうのPRが出来ないかと考えました。現時点では私達に出来そうなPR方法は以下のよう�습니다。

- ・万願寺甘とうの魅力を書いたポップを作つてスーパーなどに置かせてもらい、地元の人間に万願寺甘とうの良さを知つてもらう。
- ・舞鶴市の広報誌に作成した動画の紹介記事を載せてもらう。
- ・宣伝動画のQRコードをチラシに掲載し、気軽に見てもらえるようにする。

感想

私の家はよく万願寺とうがらしを食べます。だから私の中では万願寺とうがらしは身近な存在でした。しかし今回、詳しく調査すると、舞鶴で生まれた万願寺とうがらしと万願寺とうがらしから改良されてできた万願寺甘とうがあるということや、それぞれに個性、魅力があることを初めて知りました。万願寺とうがらしと万願寺甘とうの表記一つとっても、生産者さんや市役所の方々の強いこだわりを感じ、プライドを持って生産・流通に携わっておられる姿に感銘を受けました。今まで身近だった万願寺とうがらしについてさらに詳しくなれた事で、これから万願寺とうがらしを見かけた時に、舞鶴や万願寺とうがらしについて知らない人に説明することで、多くの人に知つてもらえるきっかけになるのではないか、と思います。真剣に考えることができるいい機会となりました。

菊田こころ

私は今まで誰もやったことがない挑戦がしたくて、自分達でお菓子を作ることにしました。誰をターゲットにしたスイーツにするか、万願寺甘とうの味をどういうふうに残すかななど、みんなで試行錯誤しながら一つの物を作り上げることの楽しさを体験しました。将来私は一から何かを作り上げる仕事に就きたいと考えているので、今回の取り組みは良い経験になりました。

石塚舞優

万願寺甘とうについて詳しく知ることになったのは、今回が初めてでした。ジョブシャドウイングを通して、話を伺った人たちは、自分たちの街に様々な思いを持って働いているのだなと思いました。みんなが自分の仕事に誇りを持っていて、それがとてもまぶしいものに感じました。

大西淳司

引用

- ・※1 <http://amatou.kyoto/pdf/manganji-amatou.pdf>
- ・※2 <https://www.city.maizuru.kyoto.jp/kankou/0000001139.html>
- ・※3 <https://www.sankei.com/region/news/200521/rgn2005210021-n1.html>
- ・<http://amatou.kyoto>
- ・https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/register/37.html

(注)

動画は現時点で観光課、子ども支援課しか公開に至っていません。準備が出来次第、教育課と農林課の動画も随時 YouTube にアップしていく予定です。

観光課

カンマ <https://www.youtube.com/watch?v=MtKL7t1UKao>

子ども支援課

<https://www.youtube.com/watch?v=1-gX2kms6q0>

5. 活動を終えて

私達は今回の活動で様々な観点から舞鶴の魅力を考え、どうアピールするか、私達に出来る地域貢献のあり方について考えました。

現在舞鶴では少子高齢化が問題となっており、特に20代から30代の人口が減少しています。私達のクラスにも都会に憧れを抱き、高校卒業後は舞鶴を出たいと思っている人が多いです。都会に行きたいという人は、都会の最新の流行の物や、インスタ映えするお洒落な場所などに魅力を感じているのかもしれません。私自身もこれまで、舞鶴は田舎で何もない所だと思っていました。これまでも様々な学習活動の中で地元について知る機会はありました。しかし、主体的に取り組めていなかったため、あまり印象に残っていませんでした。

今回、初めて自ら問題意識をもって地域課題に取り組みました。本気になって地域と向き合ったとき、自分が地元についていかに何も知らなかつたかを思い知らされました。活動を通して分かったことは、地元に魅力がないと思ってしまうのは、関心を持って地元を見ようとしていないから、だということです。少し視点を変えるだけで、舞鶴にもたくさんの魅力があることが分かりました。舞鶴市が子育て支援や教育にとても力を入れておられること、地元の農家さん達が熱い思いで農産物を作つておられること、そして舞鶴には素敵な観光スポットがまだたくさんあること。

私達は今回の取材以外にも、それぞれが素敵だと思う舞鶴のスポットを見つけて写真を撮る活動もしました。皆が集めた写真は、家の近くの田園風景や、道端に咲く小さな花、高台から見下ろした舞鶴湾の景色などです。普段何気なく見ている風景が、見方を変えると舞鶴ならではの、かけがえのない自然の観光スポットに見えてきました。

私達は今回舞鶴について知ることで舞鶴を好きになれました。今度は私達が見つけた舞鶴の魅力を他の人にも知つてもらうこと、舞鶴に愛着を感じる人を増やすこと。それが私達に出来る地域貢献だと思います。高校生ならではの視点を活かし、若者に興味を持つてもらえるような発信の仕方を今後も考えていきたいです。



Let's enjoy with **MINAKAMI**

～観光で地域活性に挑む～

利根沼田学校組合立利根商業高等学校

3年 情報経済科

本多舞南 木暮優羽

村岡夕叶 地野伸之介 山崎昭耶

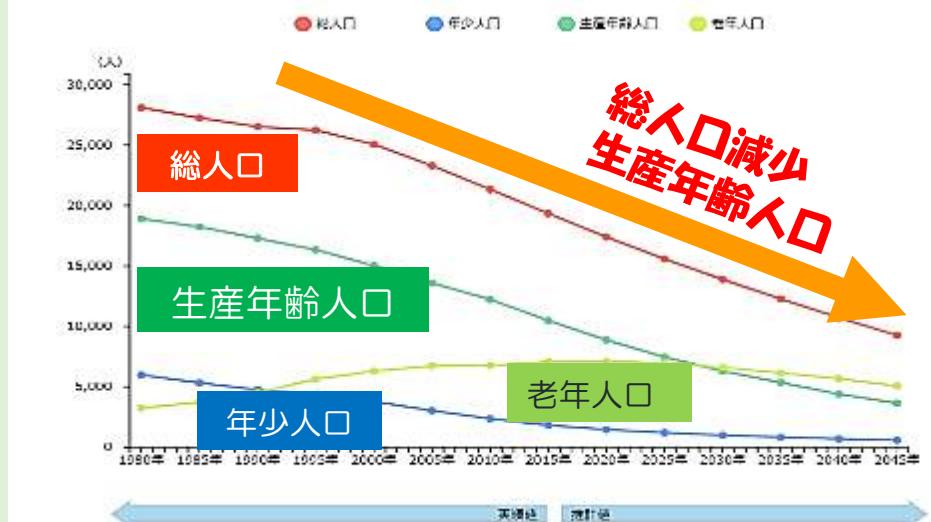


みなかみ町は群馬県北部に位置し、谷川岳・三国山の麓、利根川の源流域であり、自然と温泉が豊かで風光明媚な町である。

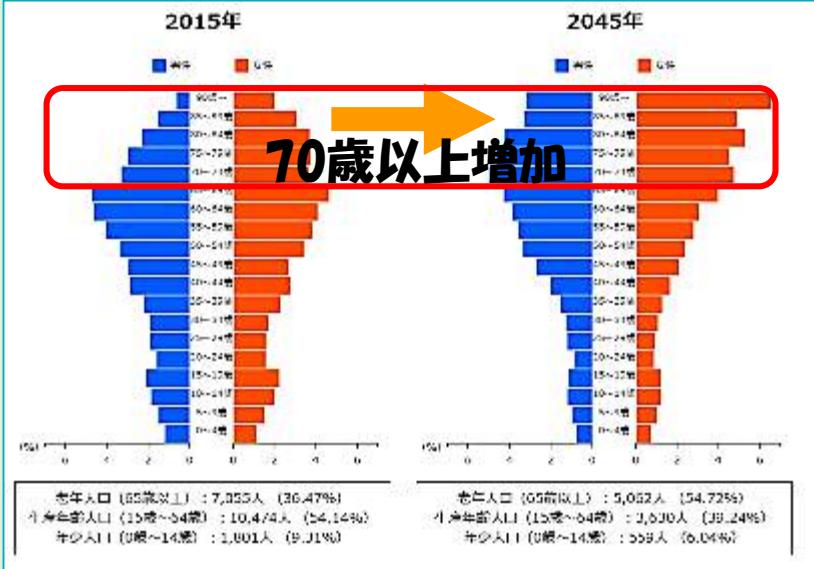
【人口に関する問題点】

人口推移グラフから、総人口の減少が進む中、老人人口が増加。そして、人口構成グラフから生産年齢人口が2015年の10,474人から2045年の3,630人と6,844人（約65.3%）減少が見てとれる。このように、みなかみ町では、人口減少の中、少子高齢化が進み、町の存続も危ぶまれる状況である。

人口推移

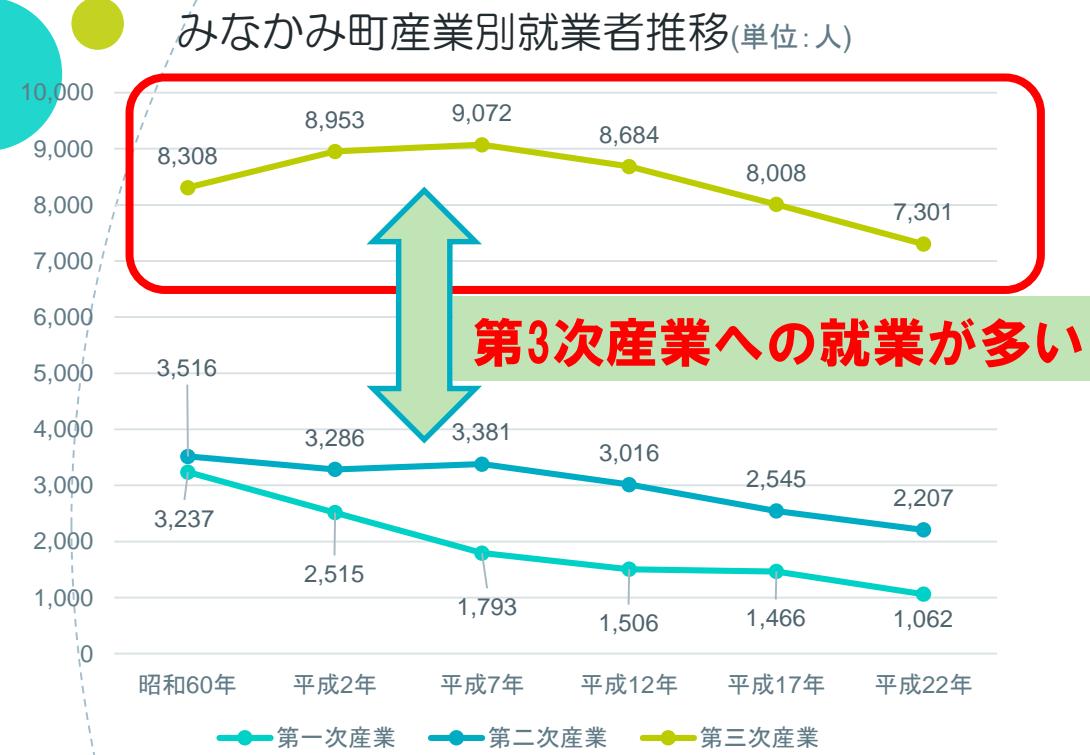


人口構成



みなかみ町の主な事業所とその業種

916社

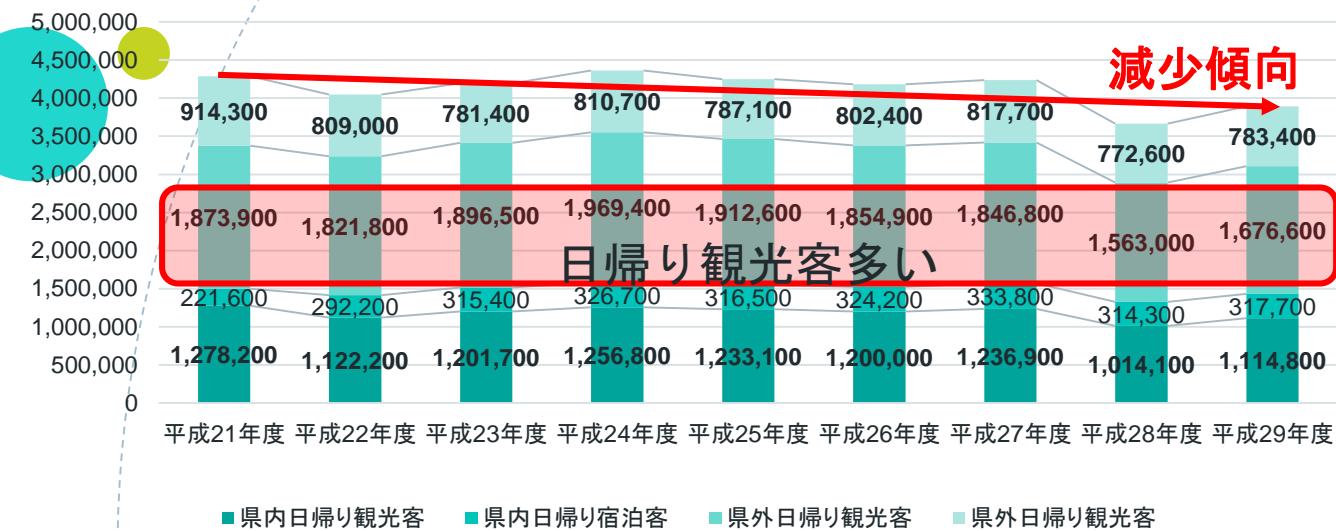


みなかみ町の就業者も第三次産業が多く、業種別では、宿泊業、飲食サービス業が全体の26.8%を占め、観光関係への就業が多いことが分かる。

みなかみ町 観光状況

64

みなかみ町観光入込客数推移(単位:人)



みなかみ町観光消費額推移(単位:円)



出典

群馬県統計情報提供システム

H21～H29観光入込客数
合計 37,114,300人

日帰り観光客

27,073,300人 (72.9%)

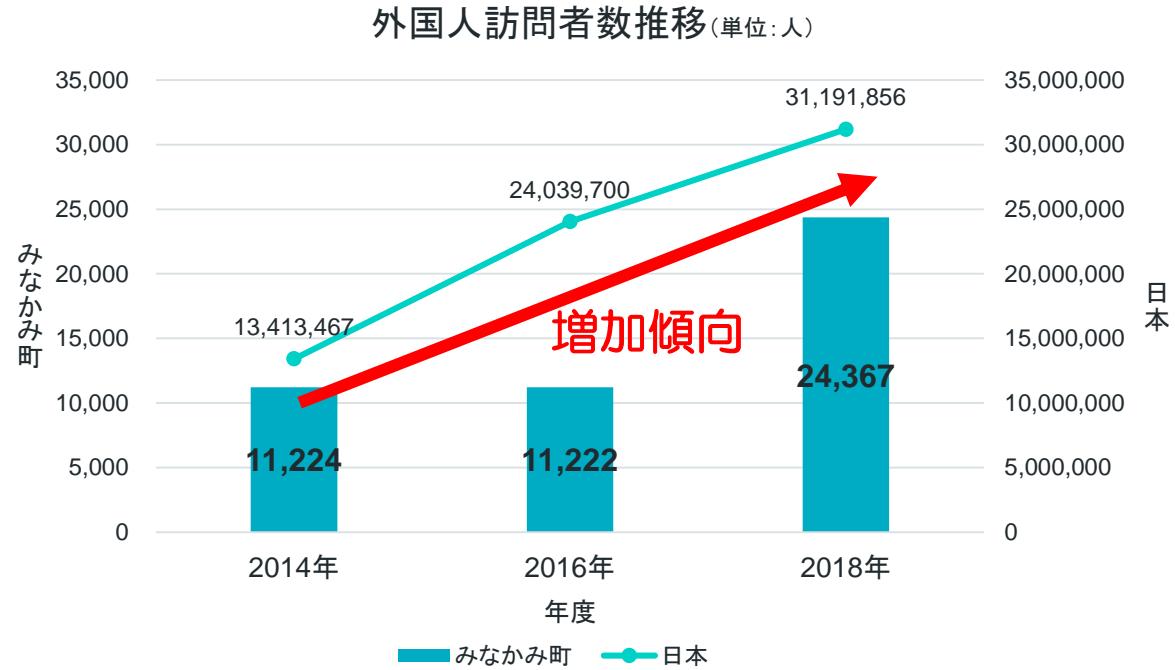
宿泊観光客

10,041,000人 (27.1%)



観光消費額を確認すると、平成21年度と平成29年度で宿泊観光消費額を比較した際、12,213,537円から11,342,040円と871,497円(7%)減少。また、日帰観光消費額については、8,750,398円から7,156,141円と1,549,257円(18%)減少していることが分かる。

外国人観光客訪問状況



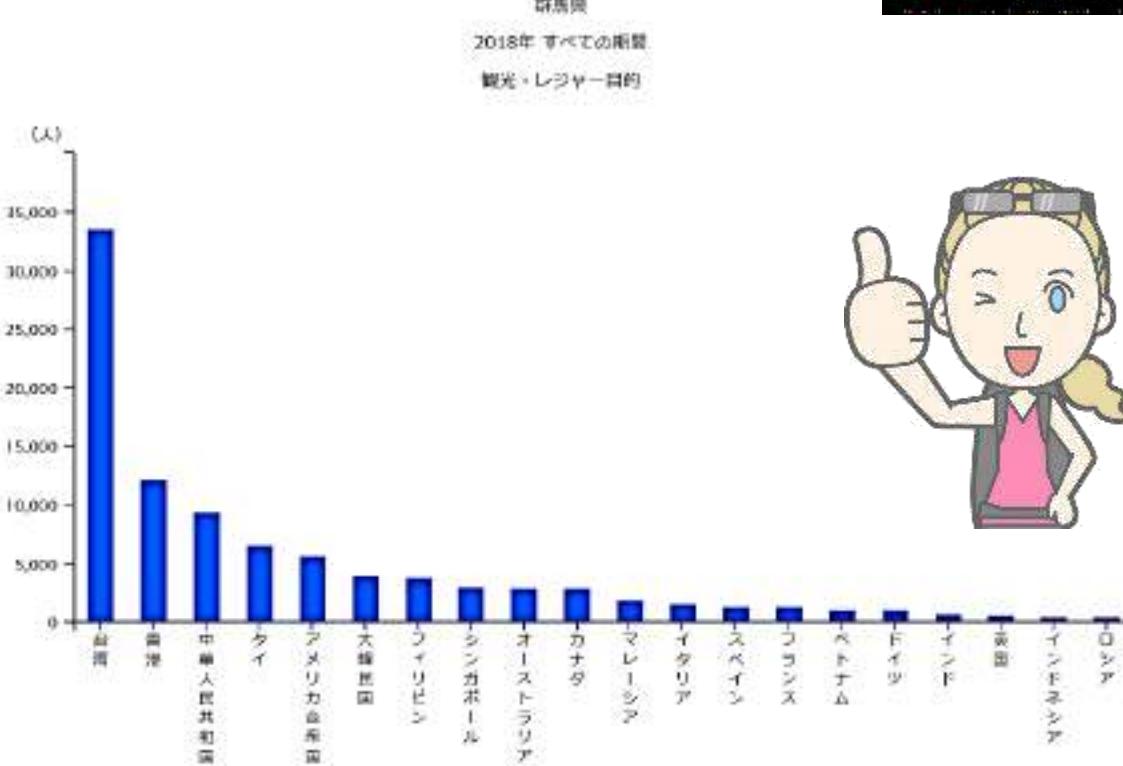
出典 観光庁資料、みなかみ町観光商工課資料

日本は、観光立国推進基本法に基づく観光立国推進の実現に向けたインバウンド観光に力を入れ、外国人観光客がもたらす経済効果を期待し様々な施策を展開している成果が表れている。

また、みなかみ町は2013年に友好都市協定を結んだ台南市に職員を派遣し、台南市政府国際課に所属してみなかみ町との交流や教育旅行誘致などに取り組むセールス活動を展開し、最近はシンガポールなどに向けてのセールス活動を進めている成果が表れている。

65

図・地域別訪問者数



RESASを利用し、群馬県に観光で訪れる国別外国人観光客を確認した。

その結果、観光・レジャーを目的として日本へ訪れるのは台湾の観光客が圧倒的に多く、主に東南アジア系の方が多いということが分かった。このことから、日本に近いアジアの国の方が訪れる傾向があるということが分かった。

強み S

- ・自然が豊か
- ・外国人観光客の増加
(台湾、シンガポール)
- ・温泉の注目度が高い
- ・アウトドアが楽しめる
- ・四季を感じられる
- ・果物や野菜が新鮮
- ・日帰り観光客が多い

弱み W

- ・電車の本数、路線バスがない
- ・雪・雨への不安
- ・宿泊客数がない
- ・若者向けのアクティビティがない
- ・買い物をする場所がない
- ・若者の地域への関心が薄れている
(他地域への流出・都会への移動)
- ・コロナによる観光客が減少

機会 O

- ・オリンピック開催
- ・外国人にも対応できるようにしている
(看板の整備、WIFI整備等)
- ・交通網の発達
- ・ネットの普及
- ・SNS映えスポットの増加
(大とろ牛乳、ボサノバ、フルーツモギトーレ等)

脅威 T

- ・過疎化
- ・少子高齢化
- ・地球温暖化
- ・キャッシュレス化
- ・AIの進歩
- ・人口減少
- ・地方での人材不足
- ・消費税増税
- ・観光客マナーの悪化
- ・コロナによる経済悪化

**S×O 強みと機会の両方を最大化する戦略
強気に攻める作戦を考える!!**
(S:日帰り観光客が多い) × (O:SNS映えスポットの増加)

【S×Oにした理由】

みなかみ町の強みである「日帰り観光客」が多いこと、外国人観光客が増加していることを強化することにより、もっと観光客数を増やすことができるのではないかと考えた。

そして、現在では「インスタ映え」など多くの人にSNSが浸透したことから、SNSの活用をチャンスと捉え、プロモーション活動を強化できるため。

【戦略】

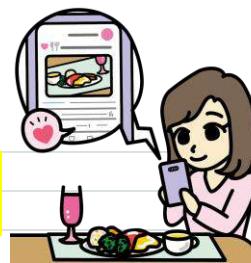
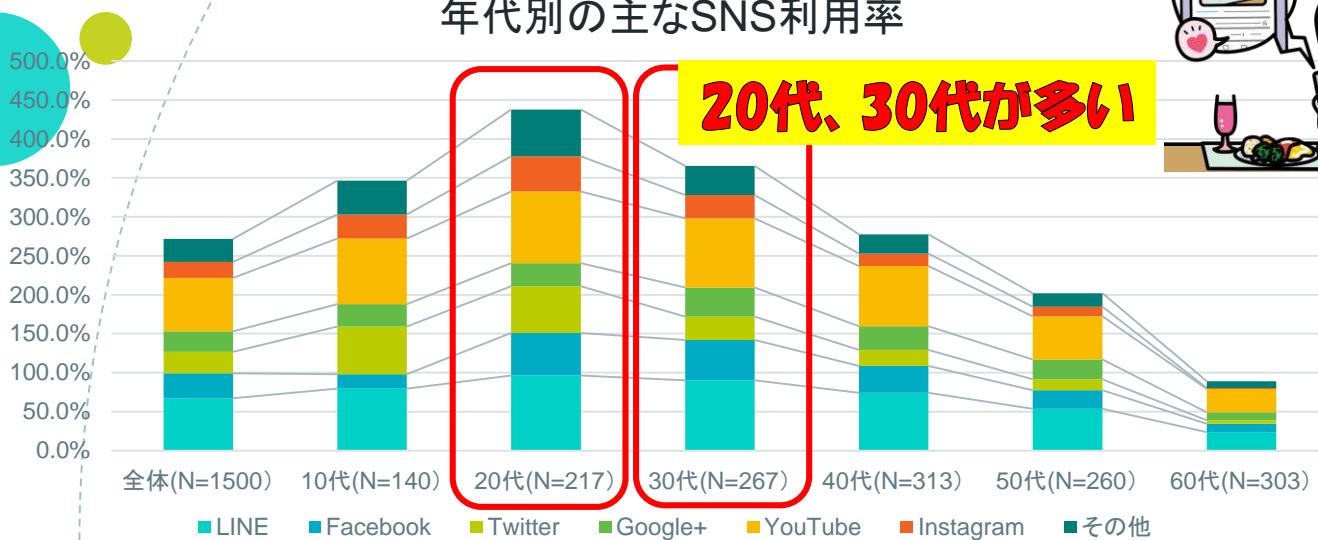
これまでの取材活動などから、観光関係者は「宿泊」を増やすことを意識していることが分かった。しかし、「日帰り」のニーズがあるなら、そこを強化し、宿泊費が高いと感じる若い世代に向けて、SNSを活用して日帰りをアピールする、また、外国人に向けたみなかみ町の紹介を英語で行い身近にみなかみ町を感じてもらい観光入込客数を増やし、観光消費額を増加させていく作戦。

SNSの利用率

SNSの利用状況を調べてみると・・・

67

年代別の主なSNS利用率



世界のSNS月間利用者数

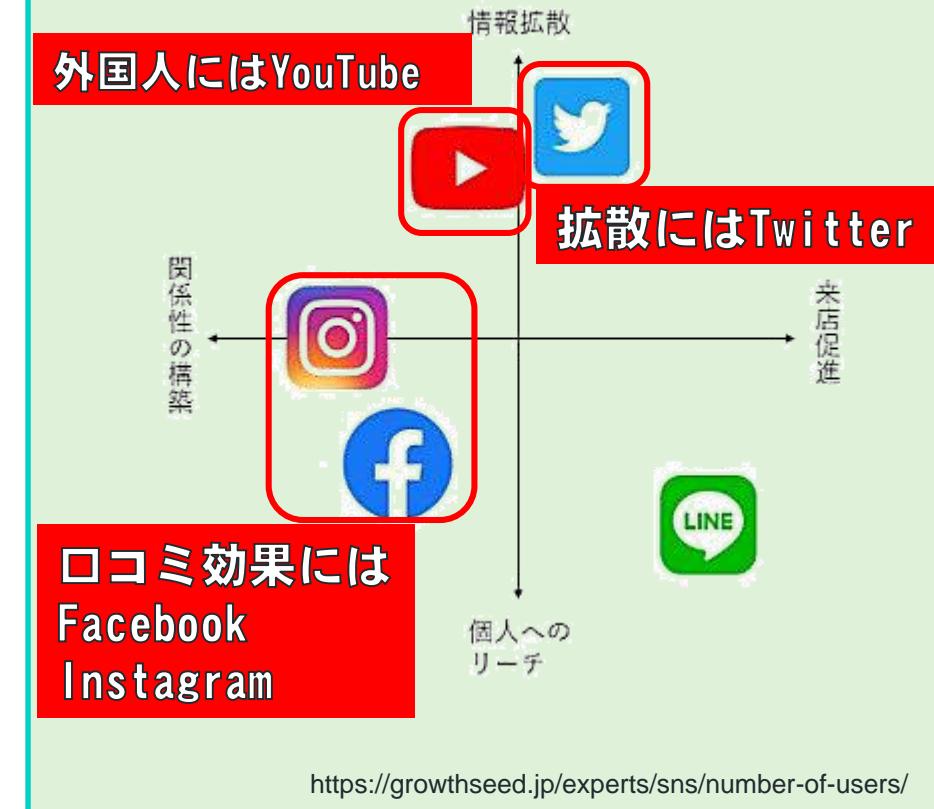


YouTube、LINE、Facebook、Twitter等利用が多い



世界ではFacebook、YouTube、WhatsApp等の利用が多い

各SNSの効果的利用方法



SNSの利用状況では、20代、30代利用が多いことが分かった。そして、SNSの利用拡散方法として、Twitter、Facebook、Instagramを利用することで、手軽に口コミ効果や写真などの拡散ができる、アピールには効果的と考えられる。

【分析から分かったこと】

- ・2045年までの予想で人口が65%（2015年度比較）減少していく。
- ・今後、少子高齢化が進み、生産年齢人口が減っていき、町の収入が減少していく。
- ・このままでは将来的に町の存続が危ぶまれる状況。
- ・第三次産業への就労が多く、自業種別とし宿泊業・サービス業が多い。
- ・町の主要産業でもある観光による観光入込客数、観光消費額が減少傾向である。
- ・外国人の方は主にFacebook、YouTube、WhatsApp等のアプリを利用している。
- ・SNSを活用することによって外国人の方にも手軽に動画を視聴していただくことができるのではないか。

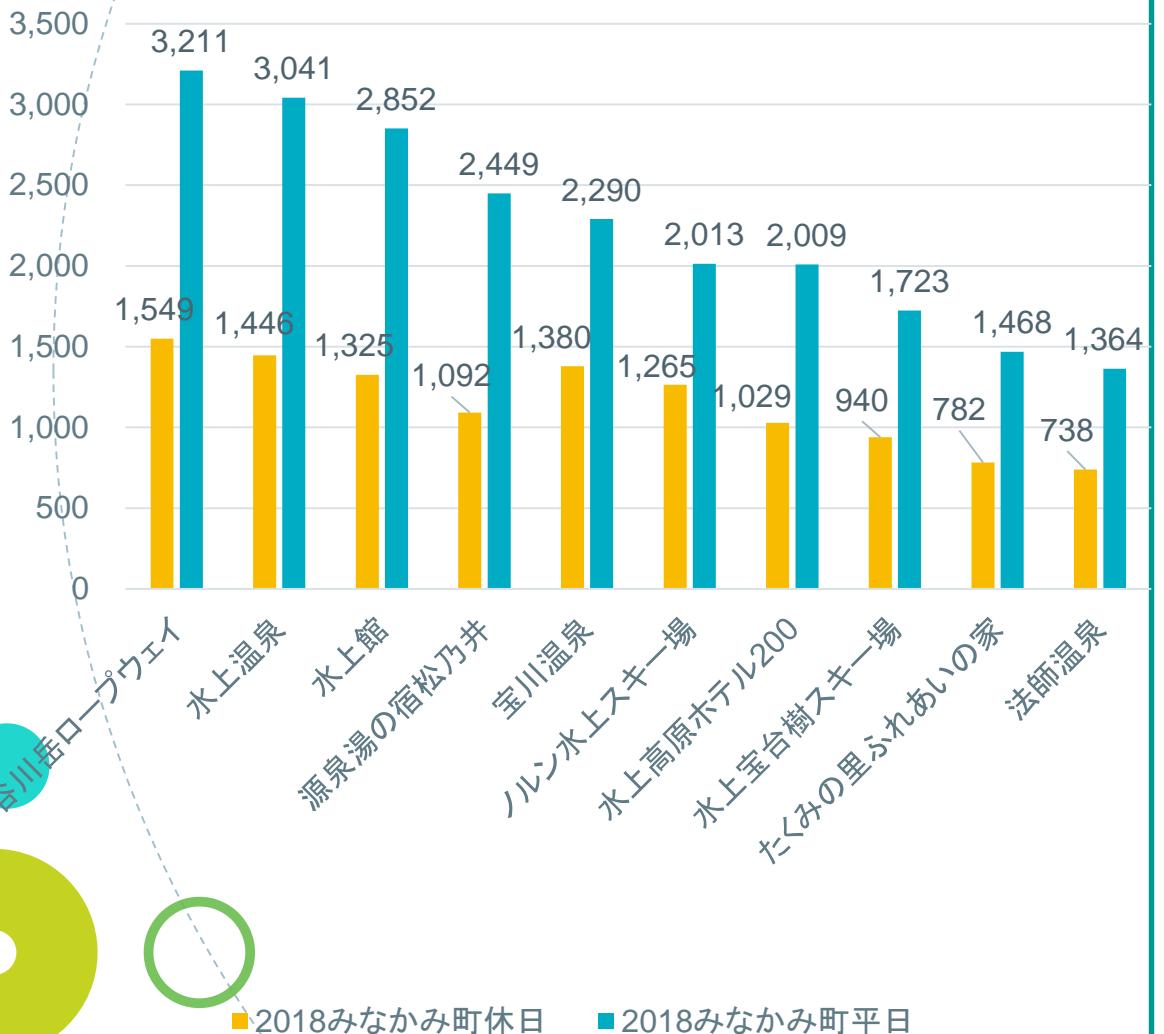
【仮説】

外国人観光客や若い世代を中心にみなかみ町について、手軽に楽しめる観光地をSNSを通して紹介することで、情報拡散が見込め、来訪者を現状より増やし観光入込客数と観光消費額の増加が見込める。結果として経済効果が高まるだろう。

【企画】

日本人の若い世代（20代～30代）および、外国人観光客をターゲットとし、みなかみ町のインスタ映えする観光スポットや手軽に回れる観光コースを紹介する。

群馬県みなかみ町の一年間の検索数



69

総合目的検索地ランキング

- 1位「谷川岳ロープウェイ」豊かな自然を堪能できる。
- 2位「水上温泉」うつ病や、不眠症に効く。



谷川岳



水上温泉

平日、休日ともに、谷川岳ロープウェイが一番多いことが分かる。次に、水上温泉とそこで有名な旅館と続いている。このことから、みなかみ町がウリにしている「自然・温泉」に関する検索が多いことが分かる。

町内観光地でのフィールドワークへ



たくみの里



みなかみ町役場



水紀行館

問題点・課題点

- ・みなかみ町の代表的な観光地しか知らない方が多い。
 - ・自然を楽しみに来ている方多く、たくさんの金額が消費がされていない。
 - ・みなかみ町の観光について、若者目線で紹介されていない。



解決策

- ・SNSを効果的に活用する。
 - ・地元目線の情報を発信していく。
 - ・若者に魅力を伝えることができるよう写真を選定する。
 - ・発信後の様子を確認し修正を加えていく。
 - ・費用もなるべく紹介する。

實踐活動

みなかみ町の観光名所を紹介する日帰りプランを考え、若い世代の人々にみなかみ町の良いところを伝える。そのことで、たくさんの観光地に興味を持っていただき、来訪してもらい、楽しみながら少しずつお金を使ってもらえるようにする。

スタート



水上温泉

泉質：単純温泉、不眠症、うつ状態などに効く。みなかみ町の温泉でも上位の検索数である。

日帰り入浴平均金額550円



水上歴史民俗資料館

扉を開けると鈴の音が鳴り響く。水上の歴史、文化、民俗施設。また、施設内には国指定重要文化財の旧戸部家住宅が展示されている。

料金 大人：250円、小人：150円

谷川岳

約10分間ロープウェイに乗って四季折々の自然豊かな谷川岳を満喫できます。冬はスキー場にもなり、様々な楽しみ方がある。

谷川ロープウェイ観光リフト料
(大人)

片道：420円、往復：730円
駐車料平均1,000円

土合駅

モグラ駅と呼ばれている駅。
462段の階段がある。
カフェもオープンしたので
楽しめる！

駅入場料無料
カフェでコーヒー1杯：450円

GARVA

ガルバのバームクーヘンはしっとり柔らか。お土産にとても喜ばれます。店内もおしゃれで、カフェも併設されている。

BAOBAB (バオバブ)
1,450円

ゴール

宝川温泉

泉質：神経痛、冷え性、関節炎、筋肉痛、消化器病等に効果がある。

大人：2,000円
小学生：1,500円、以下無料

ラ・ビエール

寝かした生地を450度の窯で
焼き上げ、焼き時間はたったの
1分で、短時間でさっくりもち
もち感が生まれる。

人気メニュー
きのこのピザ：1,200円

みなかみ町の有名な温泉を一日で観光できるプラン。美肌効果が期待される温泉や、火傷などの傷に効果的な温泉も巡ることができる。温泉は疲労回復効果もあるため日頃の疲れを流すのに最適なプラン①となっている。

プランの消費金額計
約7,630円

11

どんな楽しみ方ができるか ①アウトドア編

72



ラフティング

夏に涼しさを感じることができる。
半日コース：7,500円～



パラグライダー

空からの眺めを楽しむことができる。
料金：11,000円



キャニオニング

大自然を冒険家気分で味わうことができる。
キャニオニング 半日コース：7,500円～



バンジージャンプ

夏に楽しむことができるバンジージャンプ。
半日コース：10,000円～



水上高原スキーリゾート

スノーシューを楽しめ、ふかふかの雪を踏みしめながら森や凍結した湖などを散策することができる。
スノーシューセット（レンタル）2,000円



ここでは主にアウトドアを紹介。みなかみ町では自然を活用したアウトドアを楽しむことができる。なかなか体験できない経験ができたり、家族や友人との思い出作りもできるオススメの観光地である。

スタート



法師温泉

自然湧出で、浴槽の底から湧き有効成分が人体に吸収される。火傷、動脈硬化等の諸病にも適応する。

入浴料：1,000円



猿ヶ京温泉

まんてんの星が眺められる。温泉は角質を軟化させるため、肌がすべすべになる。

入浴料

大人：1,100円、小人：600円



七福神巡り

様々な御利益がある。
神社：厄除け、武道成就、家内安全など。宝船色紙：600円
参拝印：200円（1か所につき）



遊神館

美肌の湯と呼ばれているように、アルカリ性単純温泉はお肌がすべすべになる。

入浴料

大人：600円、小人：480円



大阪屋菓子店

酒まんじゅうが美味しいと地元でも人気。その他、温泉饅頭やみなかみ名物「生どら」もある。

平均予算：600円～



もぎとーれ

約6.5万m² の広大な敷地で、年間を通じて様々なフルーツが栽培され、季節を通してフルーツ狩りが楽しめる。

1名660円～（リンゴ狩り）

ゴール

みなかみ町の有名な温泉を一日で観光できるプラン。美肌効果が期待される温泉や、火傷などの傷に効果的な温泉も巡ることができる。温泉は疲労回復効果もあるため日頃の疲れを流すのに最適なプラン②となっている。

プランの消費金額計
約5,440円



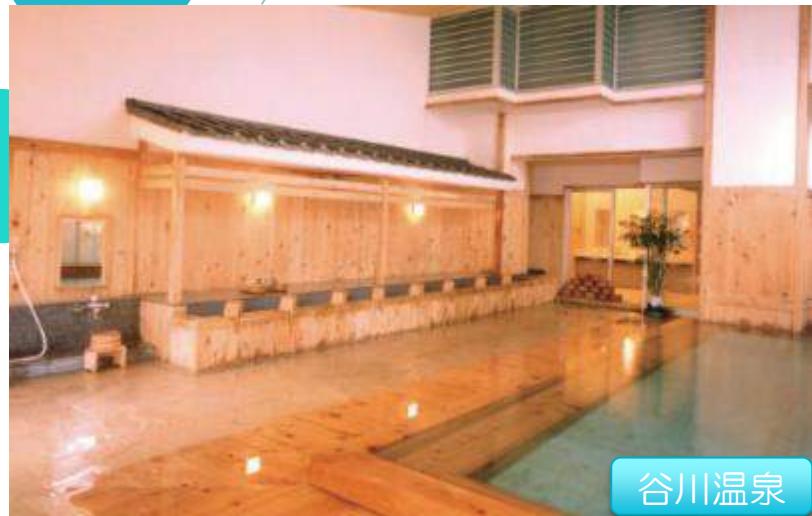
やまいち屋

栄養豊富なそばであり、疲労回復効果や、血圧を下げる効果にも期待ができる。

ざるそば：約680円

どんな楽しみ方ができるか ②温泉編

74



谷川温泉



湯宿温泉



上牧温泉

泉質：アルカリ性単純温泉で、不動の湯と言われる。
リウマチ性疾患、運動器障害、神経痛等に効果がある。
入浴料 大人：約630円～、小人：280円、三才未満
無料

泉質：硫酸塩泉配合。火傷、打ち身、消化器病、
神経痛等に効果がある。

入浴料 大人：約1,100円、小人：600円

泉質：ナトリウム-硫酸温泉で肌のハリとみずみ
ずしさ、弾力アップを実現する女性に嬉しい美肌
の湯。

入浴料：約1,000円



みなかみ駅Sし

本線を走るとしても貴重な「動態保存機。」
車内だけでなく各駅でのイベントが満載！
料金：乗車券大人：990円+530円=1,520円
(高崎→水上の場合)



水紀行館

淡水魚の水族館・足湯・クライミング施設等、
遊び場がたくさん¹⁴！

水紀行館内の水族館入場料：350円

温泉を巡る旅。みなかみ町
にある温泉の違いや自分の
肌にあった温泉を探すことが
できる。♨
温泉でリラックスしてから
地元で採れた美味しい野菜
を使った料理を楽しむこと
ができる。

インスタ映えコース巡り コース作成③ たくみの里をピックアップ!



くるみの家

凸凹で2mm程度のくるみの殻に、花や星、仏様などを掘り、色を塗る体験ができる。

体験料：500円～



ドライフラワーの家

ドライフラワーを使用し、リースやハーバリウムなどの作品を作る体験ができる。

体験料：1,000円～



おしばなの家

花や草を使用し、きれいな色を残したままおしばなにすることができる。

体験料：500円～



キャンドルの家

オリジナルのキャンドルを作ることができる。色彩豊かなキャンドルなので、観賞用としても楽しめる。

体験料：1,270円～



熊野神社

紀州熊野神社の分霊を勧請し社殿を建立したとされる。

無料



たくみの家食堂

たくみの里の手打ちそばや、地元で収穫した山菜などが豊富に使用されている。

天ざるそば：1,100円



ジャック・ザ・タルトファンタジー

季節の素材をたっぷり使ったタルトもある。インスタ映えスポットとしても人気。

料金：250～350円



大とろ牛乳

群馬県産の牛乳を使用しており、牛乳独特の臭みがなく甘くさっぱりした味。種類豊富で様々な味がある。

トッピングなし：300円
トッピングあり：350円

ゴール

午前中にたくみの里の観光で、オリジナルのものを制作でき、午後にはみなかみ町の中でも、特にインスタ映えするスイーツがメインのお店を紹介し、幅広い世代が楽しめるプランとなっている。みなかみ町でインスタ映えするスポットを巡りたい人、みなかみ町で何か体験したい人におすすめの旅行プラン③。このプランの消費金額計約4,920円

どんな楽しみ方ができるか ③観光編

76



奈良俣ダム

関東の水瓶のひとつ。奈良俣ダムでは点検放流も見ることができる。また、ダムカレーも食べることができる。



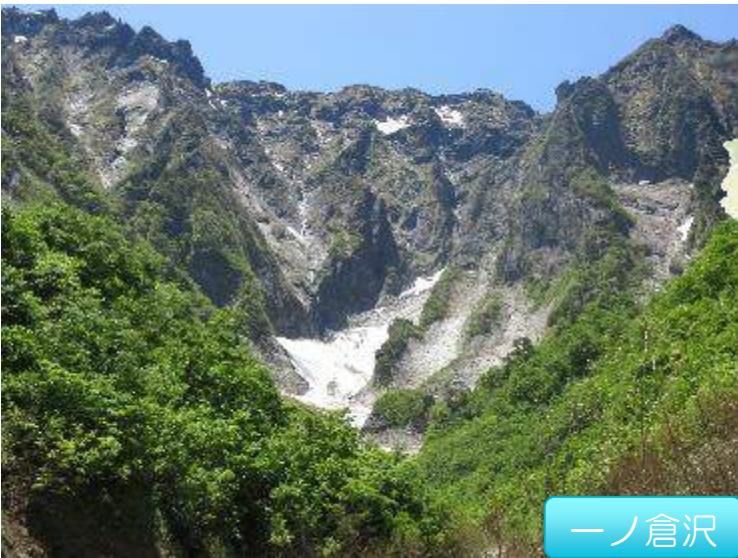
月夜野びーどろパーク

日本トップクラスのガラス職人の技を間近で見学することができる。大人から小さなお子様まで楽しめる体験工房があります。



赤谷湖

エメラルドグリーンできれいな湖。湖畔には、温泉が複数あり、マリンスポーツをする人の歓声がにぎやか。



一ノ倉沢

一ノ倉沢は、ハイキングのように歩いて、登らずに眺めるだけなら初心者でも楽しめる。
16



GARVA

バームクーヘン専門店として色々な種類のバームクーヘンを手作りしている。お土産にピッタリ!



みなかみ町には、大自然から流れるきれいな水、美味しい食べ物がたくさんあり、女性に支持される自然の中で癒される場所が多い。また、食べ物だけでなくガラス細工など体験施設を楽しむことができる。



いいね!!



掲載内容

★名所、どんなことができるのか、おススメポイント、営業時間、営業日等。

★若者向けに写真映えを目的とした写真をアップ。

★ハッシュタグは、若者が調べそうな言葉で書き込んだ。



ターゲット

- ・20代～30代の男女。

旬

- ・みなかみ町の「今」人気の食べ物や観光スポットを紹介する。

魅力

- ・地域の四季折々の自然やお土産、果物など写真でPRする。

共感

- ・インスタ映えを意識して写真を残すことにより、徐々に浸透させる。

ツール

- ・Twitter ,Facebook ,Instagram で、部活動公式アカウントを使用し調査開始。SNS の拡散効果を確認する。

Twitterに実際にアップしたもの

← ツイートする

リツイート済み

 pasobu
@tonesho_pasobu

群馬県利根郡みなかみ町にあるみなかみ焼きたて
#チーズタルト #ジャック・ザ・タルトファンタジー
自然の素材を使ったチーズタルトの専門店です。チー
ズを使っていないタルトもありますので、チーズが苦
手な方でも食べられると思います。
定休日は毎週火曜
#みなかみ町
#観光
#美味しい#スイーツ



午後5:51 - 2020年9月18日 - Twitter Web App

ツイートアクティビティを表示

4件のリツイート 3件のいいね

実際に投稿したもの

ユーザー名
@tonesho_pasobu

× ツイートアナリティクス



pasobu @tonesho_pasobu
群馬県利根郡みなかみ町にあるみなかみ焼きたて
#チーズタルト #ジャック・ザ・タルトファンタジー 自然の素材
を使ったチーズタルトの専門店です。チーズを使っていないタル
トもありますので、チーズが苦手な方でも食べられると思います。
定休日は毎週火曜
#みなかみ町
#観光
#美味しい#スイーツ pic.twitter.com/b85bxnQcbX

インプレッション

ユーザーがTwitterでこのツイートを見た回数

594

エンゲージメント総数

ユーザーがこのツイートに反応した回数

39

すべてのエンゲージメントを表示

より多くのユーザーに届ける (Twitter広告)
このツイートを広告に使ってさらに多くのエンゲージメントを獲得しましょう。

閲覧数

54日間
592回!!

18



実際にTwitterにこのように
投稿した。
できるだけターゲットにした
若者の目に留まるように写真
映えする写真を投稿した。そ
の結果、ジャック・ザ・タル
トファンタジーの紹介のツ
イートでは54日間で592回
閲覧されたことが分かった。

Instagramに実際にアップしたもの

ユーザー名
soubi2116



soubi2116
説明: フォローリクエスト
フォロワー数
投稿数



投稿したもの



改善点

Instagramのいいね数が54日間で19しかもらえなかった。
この反省を踏まえてたくさんの方に興味を持ってもらえるような投稿をする。

- ターゲットにした若者の目に留まるように写真映えするものを投稿した。
- ハッシュタグも工夫してリンクにかかるようにした。

【結果】

まんじゅう屋笛木店の紹介のツイートでは54日間で19「いいね」だった。



アカウント名
利根商業高等学校
パソコン部



Facebookに実際にアップしたもの

利根商業高等学校パソコン部
9月21日 11:47

群馬県利根郡みなかみ町にある大トロ牛乳です。水上温泉郷の近くにあります。「牛乳とコラーゲンを使った新感覚のスイーツ」。この場所は、日テレのヒルナンデスでも紹介されました。大トロ牛乳では、季節ごとにたくさんの種類のトッピングがあります。好きな味を選んで食べることができます。お持ち帰りができる自動販売機があるので是非お土産にもいかがでしょうか!

定休日は火曜日。営業時間は11:00~17:30です。

お散歩頬張ります!!

#大トロ牛乳
#みなかみ町
#グランマー
#みなかみ觀光名所
#スイーツ #美味しい #ヒルナンデス #紹介されました
#ご当地グルメランキング #1位
#扫黑希望



閲覧数



投稿したもの

ターゲットにした若者の目に留まるように写真映えするものを投稿した。また、ハッシュタグも工夫してリンクにかかるようにした。

【結果】

大とろ牛乳の紹介の閲覧者数は54日間で52回の閲覧数だった。

改善点

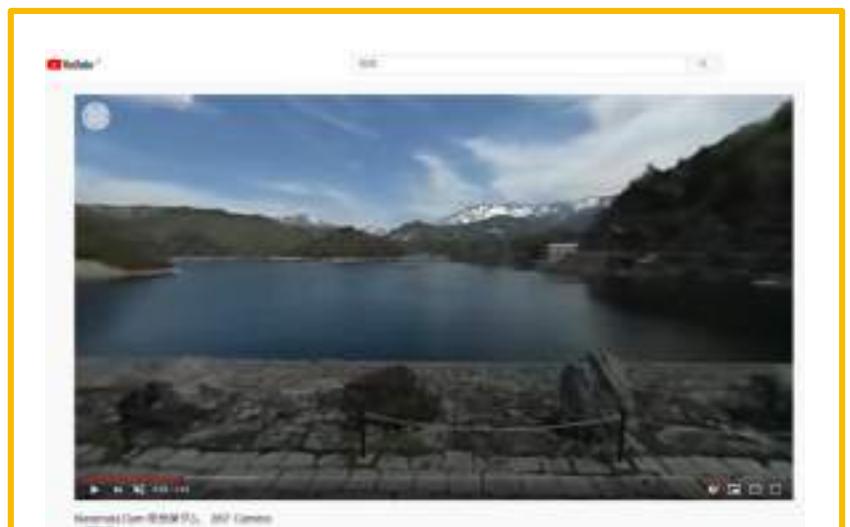
たくさんの検索に引っかかるようにハッシュタグの種類をもっとたくさん増やす。
初めて見る方にもここがどんなことを行っているのか分かりやすくする。

YouTubeに実際にアップしたもの

公式YouTubeチャンネル みなかみ町の観光名所 360°カメラで作成



日本人向け



外国人向け



外国人向けに視聴していただけるように
作成したホームページ

<https://toneshopasobu.wixsite.com/konko>

外国人の方にも手軽にみなかみ町の観光紹介を視聴していただくために、
YouTubeを活用して動画を作成した。
外国人の方でもどのようなことが行われ
ているのか。何を体験しているのか等を
紹介している。
文字で英訳すると見づらいということが
分かったので、音声を使って分かりやす
く説明した。

コース①の消費金額（土日で考える）

2人旅の場合 1日あたり

約@7,630×2=約15,260円

1週間（2日で3組）

45,780円

1か月（8日で24組）

366,240円

1年（96日で288組）

4,394,880円

コース②の消費金額（土日で考える）

2人旅の場合 1日あたり

約@ 5,440×2=約10,880円

1週間（2日で3組）

32,640円

1か月（8日で24組）

261,120円

1年（96日で288組）

3,046,400円

コース③の消費金額（土日で考える）

2人旅の場合 1日あたり

約@ 4,920 ×2=約9,840円

1週間（2日で3組）

29,520円

1か月（8日で24組）

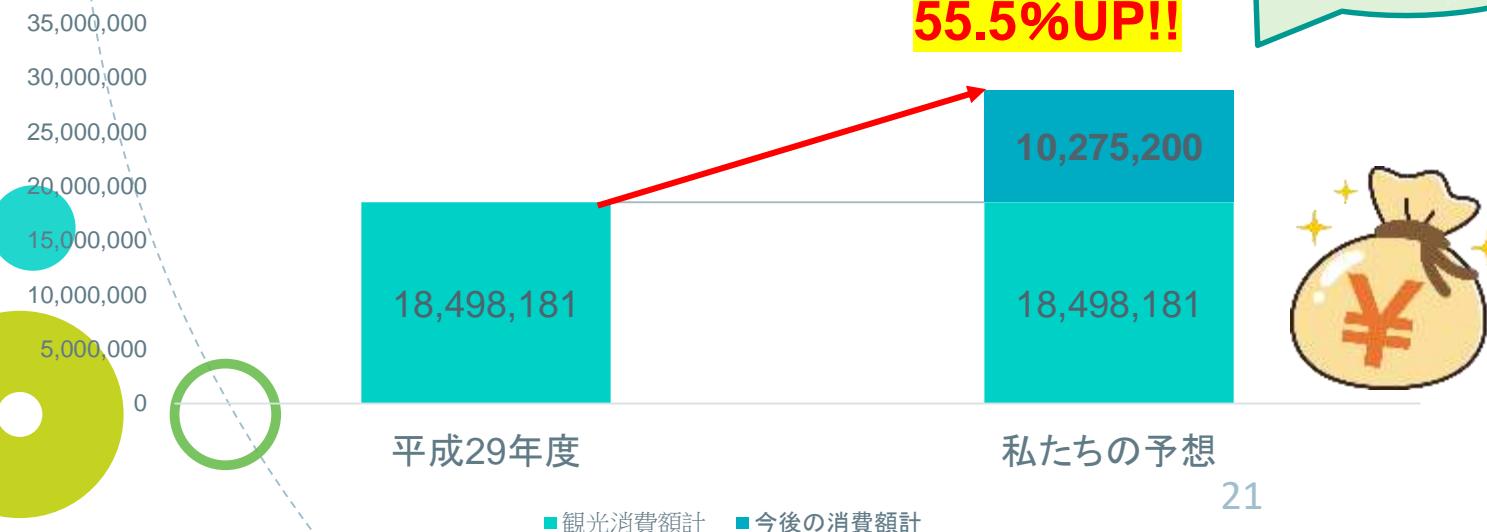
236,160円

1年（96日で288組）

2,833,920円

みなかみ町観光消費額(予想)単位:円

55.5%UP!!



今回の各コースを週末2人旅で試算をすると55.5%の増加が見られた。

実際は、このようにうまくはいかないが、地域の経済力を上げるためにには、このような取り組みであっても、みなかみ町役場や観光協会に提案し、一緒に取り組むことが必要だと思った。

検証後の問題点・気づいたこと

- 宿泊や日帰りを増やすことによって観光消費額も同時に増加するのではないかと考えたが、実際に検証するには時間がかかる。
- SNSを使って紹介することにより、各観光地へ足を運んでくれるのではないかと考えたが、その投稿だけで満足し、足を運ぶまでに至らないこともある。



インスタ映えする写真がとれるスポットの紹介

今後の活動

- SNSを通して紹介することを継続しつつ、発信した内容で「行ってみよう!!」と思ってもらえるように情報発信に取り組む。
- たくさんの方にみなかみ町について知っていただくためにインターネットだけでなく、他のツール（ラジオや新聞等）も使用して発信していく。
- 観光協会、みなかみ町観光商工課と協力し、日帰り観光を生かすマーケティング戦略を提案して進めていきたい。
- これから新型コロナウイルスの影響で旅行などが規制され、外国人の方に訪れていただけないと思う。しかし、このコロナ渦だからこそみなかみ町の魅力をSNSの力で伝え、落ち着いてから外国人の方に足を運んでいただけるように魅力発信をし続けていきたい。

これからの課題

～「ウィズコロナ」時代に合った誘客を考える～

- 自然の中でワーケーションなどによる、若者世代を取り込むことを考え、新しい観光を提案することが必要だ。
- 日本政策投資銀行と日本交通公社が欧米豪やアジアの12地域での調査（6,266名）で、「新型コロナウイルス終息後に観光旅行したい国」として、日本はアジアでは1位の人気。各地域で対策及び予防案について検討し、インバウンド回復期に、迎える側の「おもてなし」精神が活かせるように、「今できること」や「やるべきこと」とに取り組んでいくことが重要だろう。

アートと農業で創る 住みたい町づくり

兵庫県立豊岡高等学校
普通科2年 門脇さやか

但馬が抱える課題

- 廃校や複式学級
- シャッター街
- 耕作放棄地

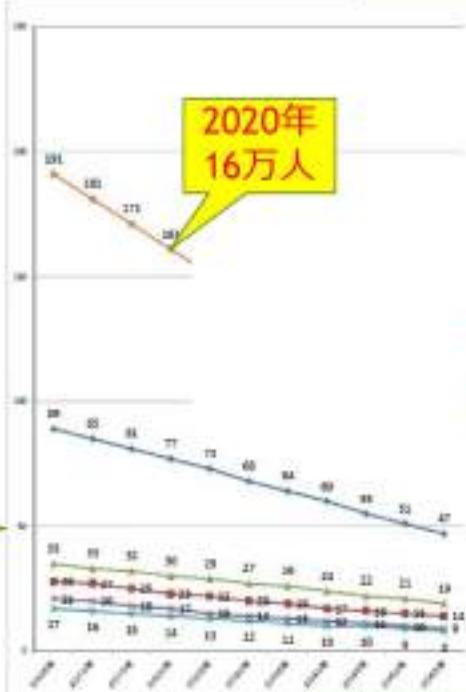


但馬が抱える課題

人口減少



なんとかせねばっ!!



新しい大学が町にやってくる！！

国際観光芸術専門職大学

・芸術文化 ・観光

この大学の学生さん、地元の高校生、
地域住民と協力して町おこし！！

・大開通り

= シャッター街 → 市に貸し出してもらう

・演奏、演技の発表の場

・農作物、芸術作品などを販売する

→ 直販

効果：アートで人を呼び込む！

① 人が集まる

② アートな街づくり

→ 新たな芸術家の呼び込みへ

③ お客様の直接の反応、言葉が聞けること

→ 新たな商品づくり→ブランド商品の開発へ

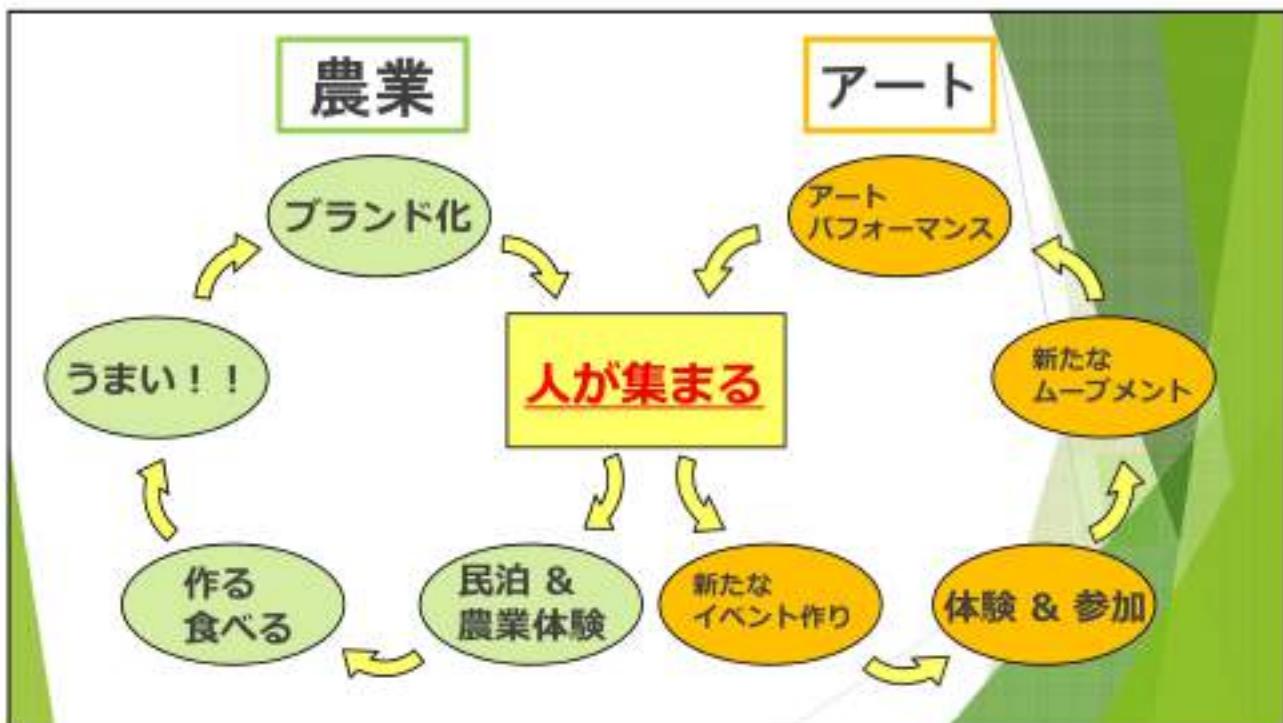


- ・ 豊岡演劇祭 → 令和2年9月9日～22日まで開催
- ・ 8月から土日開催 → 観劇の間に
海へ、山へ楽しんだり
- ・ 農業での民泊体験 → 農業体験を親子でいかが?
+バーベキュー

新たな但馬を代表する農作物を作りたい！！

- 例
- | | | |
|-----------|---|------------------|
| ・コウノトリ育む米 |] | 既にブランド化
された製品 |
| ・但馬牛 | | |
| ・松葉ガニ | | |

但馬の豊かな自然の中で稼げる農業を起こしたい！



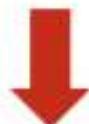
演劇教育 + 農業体験を 但馬の教育の柱にしてみては？

① 演劇教育

- ・非言語コミュニケーション能力
- ・表現力
- ・プレゼン力
- ・仲間との協働

② 農業体験

- ・つくる喜び + 食べる喜び
→生きる力
- ・地元の良さを再確認



ここに住みたい！

ここで子育て + 生活したい！

- ・インターネットの進歩
 - ・ポストコロナ社会
- 】 ○ 必要な情報は入手可能
○ テレワーク
○ ゆったり暮らし

憧れの田舎暮らししてみませんか？

『アート』・『農業』の町として有名になる！

地域の協力・助け合い → 同志増加 → 地域の活性化

- ① 自然と共生する地域の輪をつくる
- ② アートと農業を通してまた来たくなるまちづくり
- ③ 新たなコミュニティの形、生き方

少しずつ輪を広げていく!!

ゼロ レジ袋0のまちへ

～海のない新見市を、海の環境に配慮したまちにするための挑戦～

岡山県立新見高等学校14期生有志

I. 取り組みを始めたきっかけ

「Laut Bali yang indah telah hancur ! (バリ島の美しい海が壊されてしまっている)」

「Lautan kita terhubung. Aku ingin kita bertindak untuk melindungi kekayaan laut yang bisa kita mulai dari NIIMI ! (世界の海はつながっている。新見市から海の豊かさを守るために行動してほしい)」

この言葉は、私たちの仲間の一人、中村太郎君がインドネシア語で訴えたものだ。中村君はインドネシアのバリ島で生まれ育ち、中学生の時に新見市に移住した。バリ島に里帰りした際に、プラスチックごみにあふれたビーチを見ていた彼の言葉は実感に溢れていた。

私たちの通う新見高校は選挙年齢が18歳に引き下げられたのをきっかけとして主権者教育に入れている。この授業ではSDGsについて学び、その視点を生かして地元・新見市をより魅力的なまちにするための方策についてグループで考え、プレゼンテーションを行う。中村君のグループのプレゼンテーションを聞いた私たち新見高校14期生は、その思いを形にするため、有志を募り、行動を開始した。



**市の現状や課題への対策状況について
市役所の担当の方へインタビュー**



**海の環境を守れる新見市になることを
プレゼンテーションする中村君**

<ミッション>

地域から排出されるプラスチックごみや、河川を通じて海に流れ出るごみを削減する。特にレジ袋を使わない新見市を達成することを通して、環境に配慮したまちとして新見市を世界に誇れるまちにする！

2. 川ごみの清掃・調査

新見市は一級河川である高梁川の源流に位置しており、新見市の河川に流れるごみはこの高梁川を通じていずれ海に流れ出てしまう。私たちは新見高校の脇を流れる木谷川（高梁川水系）で清掃と調査を行った。調査では協力いただいた水島地域環境再生財団の指導の下で拾ったごみを分類した。私たち生徒16名、新見市生活環境課の方2名、水島地域環境再生財団の方2名、新見市環境衛生協議会の方2名、倉敷市職員の方1名、計23名で清掃を行い、時間は30分程度と短時間だったにも関わらず、大型のポリ袋5袋超と袋に入らない大型のホースなどが回収され、その量に驚いた。最も多く回収されたのはペットボトル（62本）で、回収したごみの多くがプラスチック製のものであった。レジ袋などプラスチック製の袋は多くなかったが、川を流れるうちに破碎され、小さくなってしまうためあまり回収されないと水島地域環境再生財団の方が教えてくださいました。（調査結果の詳細は補足資料①）



3. ポイ捨て・不法投棄防止看板の作製、設置

新見市生活環境課の協力を得て、河川へのポイ捨てや不法投棄禁止を呼びかける看板を作製した。有志生徒が考えた30種類のデザイン案から2種類を選び、より効果的なものになるように話し合いを重ね、デザインを完成させた。話し合いにあたっては新見市生活環境課の方からのアドバイスをいただいた。最終的には絵の得意なメンバーが描き上げ、印刷業者に看板にしていただいた。

現在、設置されている看板には老朽化して効果の見込めないもの一定数あり、完成した看板2種類10枚を新見市内の特にごみの多そうな箇所に設置した。



新見市内の河川の様子



市内の老朽化した看板



デザイン案の改善を話し合う

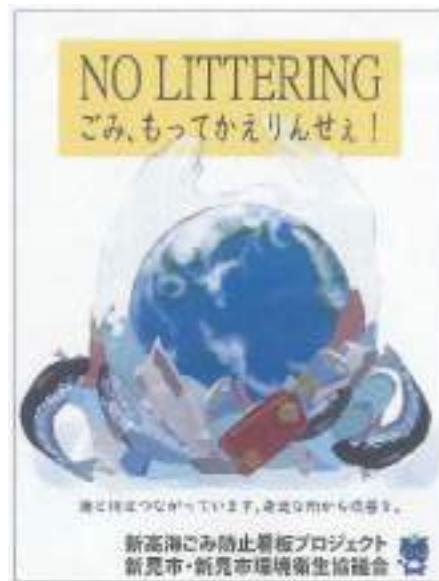
<最初の段階のデザイン案>



- レジ袋へ問題意識を持たせる図案
- 外国の方も読めるよう 英語で
- 弱った魚やメッセージを入れて、意図をわかりやすく



<最終的にできあがった看板>



ごみはまつながっています。そこから海へも流れます。
新高湯ごみ防止看板プロジェクト
新見市・新見市環境衛生協議会



- 涙を川と海に見立てて
- 目を入れることで、ポイ捨てする人にプレッシャーを
- 眼球を地球にすることで問題意識を喚起



新見市のマスコットキャラクター
「にーみん」も使いました



完成した看板（左）と老朽化した看板（右）
コンビニの裏などごみの多い箇所に設置しました。

4. 新見市議会へプラスチックごみ削減を訴える陳情書を提出

新見市から排出されるプラスチックごみを削減するため、私たちは身近にあって個人の意識で削減しやすいレジ袋に焦点を絞った。そして、レジ袋の利用を減らすための3つの具体的なアイデアをまとめた陳情書を新見市議会に提出した。

アイデアの具体的な内容は以下の通り、

【陳情内容】	※実際の陳情書から抜粋
プラスチックゴミを無くし、環境に配慮した暮らしができる新見市を目指して	
①エコバックの利用促進のため、児童・生徒・学生への無料配布	
②レジ袋有料化の意義についての広報活動	⇒エコバックの利用呼びかけや市内各所への掲示板設置
③エコマネー制度の導入	⇒レジ袋辞退者へのポイント付与と割引券の配布

①は、新見高校生がエコバックをデザインし、市内の児童生徒を通じて家庭に配布するというものです。各学校で配布していただく際に、レジ袋有料化の理由や海ごみの現状などを伝える環境教育を行うことによって、海の環境への関心を高めると同時に、エコバック利用率を上げることをねらいとした。

②はレジ袋が有料化されたとはいっても、実際には2~3円で販売されているので、安価であれば有料でもレジ袋を使い続ける人が一定数いるだろうということを想定し、有料化の意義を理解してもらうことで、レジ袋辞退率を上げることをねらいとした。

③はレジ袋辞退者に対してポイントを付与し、一定のポイントが貯まると市内で使える地域通貨としてポイントが利用できる制度を導入することで、レジ袋の辞退率を上げることをねらいとした。(この取り組みは平成18年から平成27年に北九州市で行われ、一定の成果を挙げたため終了した「カンパスシール事業」を先行事例として参考にした。)

提出した陳情書は第22号議案として受理され、審議の対象となった。(補足資料②)



陳情書を提出した時の様子

新見市は高梁川源流のまち。
将来的には、一切レジ袋を使わない新見市を
実現しなくてはならないと思っています。

と、市議会議長の藤澤正則さんに
言っていただきました！



**議会での趣旨説明の様子
(市議会だよりの表紙を飾りました)**



**どのような審議がされるのか
議会の様子を傍聴**

結果として、この陳情は「②レジ袋有料化の意義についての広報活動」のみが採択され、他の 2 つは不採択となった。（補足資料④）

自分たちなりに先行事例を調べたり、提案の実現に向けてかかる経費を概算したり、質疑応答のシミュレーションを行うなど、高校生としてできるだけの準備と説明をしたつもりであったが、市議会を動かすことはできなかった。しかし、市議会議員のみなさんは、新見市内のエコバックの利用状況について調査してくださり、議会でも慎重な審議をしていただき、一部の方は全面的な採択やその趣旨を認める「趣旨採択」を推してくださいなど、私たちの思いを尊重してくださっていることが十分すぎるほど伝わった。

一部採択という結果は不本意だったが、私たちの考えを認めてくださった市役所の方が、不法投棄に関する市のホームページを改善してくださるなど、私たちが考え、行動したことが次に繋がっていったことはうれしかった。

不法投棄の通報先がわかりづらかったホームページに、一目でわかるように担当課の連絡先を大きく入れてくださいました。

不法投棄は犯罪です！

廃棄物処理や粗大ごみ、家庭ごみなどすべての廃棄物を公共の河川や道路、個人の土地などに捨てたり放置したりすること（未法投棄）は、廃棄物の種類及び量に該する法律（廃棄物処理法）により禁止されています。

不法投棄を行った場合は 1 年以下の懲役もしくは 1,000 万円以下の罰金が科せられます。未遂も罰せられます。また、法人についてもその業務に因して不法投棄を行った場合は、3 億円以下の罰金が科せられます。

①不法投棄された廃棄物の発見した方へ
その土地の所有者は廃棄物の発見者に情報提供（0867-72-8124）および物見警
報費（0867-72-8110）までご連絡ください。

当署人の所有地に不法投棄された場合
投棄者が利用しない場合、その土地の所有者は警察署が投棄物の撤去を行うことになります。
投棄されないように、住民から防寒や防暑をするなど、不法投棄に対する警戒心をもつましょう。



5. この思いを次につなげる「中学校での出前講座」

私たちの活動を知った市内中学校から、中学3年生に向けて話してほしいとオファーをいただき、出前講座を行った。内容はSDGsの概要と、その達成に向けた私たち新見高校生の活動。私たちが授業の内外で活動していく中で知ることができた海のごみをめぐる世界の状況や、新見市が様々な問題にどのように取り組んでいるか、市役所の方だけでなく様々な立場の人が新見市をより良いまちにするために努力していることなどを伝えた。中学生たちはとても真剣に話を聞き、話し合ってくれた。



<話を聞いた中学生たちの感想>

今回、インドネシアの海の問題、日本のレジ袋有料化の効果、上流のごみが海に流れ出てしまうことなど、たくさんの現状を教えていただき、とてもおどろいたし、参考になりました。レジ袋はできるだけ使わず、ポイ捨てでは絶対にしないようにしようと思います。

SDGsについて初めて知りました。貧困や教育、環境など17分野の目標を2030年までに達成しないといけないなと思いました。それを達成するためには、まずは知ることが大事だなと思いました。(中略) 新見には海が無いから関係ないと思っていたけど、川にごみを捨てたりする行為も汚染につながるので気をつけていきたいなと思いました。

海のことだけでなく、教育のことや平等についてなどたくさんの問題を世界全体で解決していくこうとしているので、僕もその一人として自分にできることを探して実行していきたいと思いました。

私たちのメンバーは全員が高校3年生で、大学進学を機に市外へ出る者も多いが、思いは次の高校生たちにつなげることができたかもしれない。

6. まとめ・今後の展望

私たちは新見市のレジ袋利用率を減らし、川から海へ流れ出るプラスチックごみを減らすことで、「世界の環境に配慮したより魅力的なまち・新見市」を目指して活動してきた。中村君がインドネシア語で訴えたメッセージに私たちの心が動いたように、自分たちの目の届く範囲だけでなく、世界の環境にやさしいまちは誰にとっても魅力的で、何よりもそのまちに住む私たち自身がまちに誇りを持てると考えたからだ。新見市は歴史や自然、人の温かさなど、すでに魅力あふれるまちだが、さらに新見市に住んでいることを自慢できるようなまちにしたいと考えていた。様々な活動に取り組む度に、地元の新聞社やテレビ局などが取材してくださり、この思いは市内外の方々に伝えることができたと思う。また、新見市役所や新見市議会をはじめとした様々な立場の方が協力してくださったことで、思いを形にできた部分もあった。しかし、陳情の大きな部分が不採択となったことで、市全体に対して私たちが目指した最大の効果をあげることはできなかった。これは私たちがまだ十分に市の仕組みや経済の知識を知らず、私たちが実現しようとしたことの意義を十分に伝えることができなかつたからだと考えている。

しかし、中学生が私たちの話にしっかりと耳を傾けてくれたように、この思いを後輩や新見市や世界のことを真剣に考える人に伝えることでバトンをつなぐことができる。今回の取り組みを通して、私たちは得がたい経験をすることができた。今後もそれぞれが大学や社会でさらに学び、経験を積み、次のフィールドで次の課題に向かって地域をより良く変えていきたいと考えている。

私たちの活動を支えてくださった方々

- | | | |
|-------------|-------------|----------------|
| ■新見市役所のみなさん | ■新見市議会のみなさん | ■水島地域環境再生財団 |
| ■新見市環境衛生協議会 | ■備北民放社 | ■株式会社吉備ケーブルテレビ |
| ■備北新聞社 | ■日東社（看板印刷） | ■新見高校の先生方 |

本当にありがとうございました。

岡山県立新見高等学校（普通科）3年 有志グループ

代表：池田 晃大

副代表：澤山 結衣

・飯野 葵・生田 美岬・石橋 杏菜・榎 聰祐・加藤 悠・川上 那央・久保木 涼太
 ・新地 優歌・富谷 曜・中村 太郎・長谷川 達也・平田 歩乃佳・廣瀬 裕加
 ・船曳 亜侑・真壁 沙希・森次 裕大・森本 永遠・森脇 朋美・山口 海斗
 ・山口 貴臣・吉尾 朱音 (以上23名)

添付資料②「実際に市議会に提出した陳情書」

令和2年2月7日

新見市議会議長 藤澤正則様

陳情者

岡山県新見市新見1394

岡山県立新見高等学校南校地

代表 飯野葵

新見市のごみ問題に関する対策の陳情

【陳情の趣旨】

私たちは主権者教育の調べ学習を通して、世界中で毎年少なくとも800万トンものプラスチックごみが海に流出していることを知りました。新見市には海がありませんが、高梁川の上流に位置しているため、プラスチックごみを川に流してしまうと川や海の汚染をより深刻にしてしまいます。実際、私たちの調査によって、新見市内の川には多くのプラスチックごみが投棄されている実態が明らかになっています。

岡山県では、「マイバッグキャンペーン」などの活動が行われていますが、新見市民の方々にはエコバッグ利用の活動があまり浸透していないように感じます。

そこで投棄されるごみを1つでも無くし、持続可能な社会の実現のために私たち市民にできることはないかと考えました。

まず、エコバッグの利用促進のために、市内の児童・生徒・学生への無料配布を行っていただきたいと考えています。配布するエコバッグのデザインは、市民の方々に募集し、投票で選ばれたものを採用していただきたいと考えています。デザインを市民の方々に募集することによって、そのこと自体がエコバッグの利用促進つながると私たちは期待しています。

これに加え、あらゆる市民の方々に「なぜレジ袋を有料化しなければいけないのか」という、レジ袋有料化の意義を広く伝えるための広報活動も、併せて充実していただきたいと考えます。

また、「エコマネー制度」を導入していただきたいと考えています。私たちが考えるエコマネー制度とは、レジ袋辞退者へポイントを付与し、割引券と交換できる仕組みを想定しています。この制度を導入することで、「数円程度なら支払ってレジ袋を購入したい」という人を減らし、レジ袋辞退率をより上げることができます。

以上のことから、市民の方々により多くのエコバッグを利用していただき、環境に配慮した暮らしができる新見市を目指して、下記事項が実現されることを陳情いたします。

【陳情内容】

プラスチックごみを無くし、環境に配慮した暮らしができる新見市を目指して

①エコバッグの利用促進のため、児童・生徒・学生への無料配布

②レジ袋有料化の意義についての広報活動 ⇒ 市報にいみや告知放送を活用したエコバッグ利用の呼びかけ

③エコマネー制度の導入 ⇒ レジ袋辞退者へのポイント付与と割引券の配布

添付資料③「議会で趣旨説明を行った際の原稿」

本日は、このようなお時間いただきありがとうございます。

私たち新見高校2年生は、主権者教育の一環として、新見市をより良い街にするための取り組みを行ってきました。まず、この陳情に至った経緯からお話をさせていただきます。

私たちは、SDGs番号14「海の豊かさを守ろう」に関して、新見市にできることを考えました。現在、世界中で毎年少なくとも、800万トンものプラスチックごみが海に流出していると考えられています。2016年に行われた世界経済フォーラム年次総会「ダボス会議」において、「2050年には海に捨てられたプラスチックごみの量が、魚の量を超えるのではないか。」という発表がされたほど、この問題は深刻化してきています。

私たちが住んでいる新見市には海はありません。しかし、高梁川の上流に位置しているため、プラスチックごみを川に流してしまうと、川や海の汚染をより大きなものにしてしまいます。また、岡山県では、「おかやまマイバッグキャンペーン」などの活動が行われていますが、市民の方々にエコバッグ持参の活動があり広がっていないと思われます。

そこで、投票されるごみを1つでも無くし、持続可能な社会の実現のために私たち市民にできることはないかと考えました。

それでは、これから『新見市のごみ問題に関する対策について』その陳情の内容をご説明させていただきます。まず、エコバッグの無料配布についてです。エコバッグの利用促進のために、市内の児童・生徒・学生への懸念配布を行っていただきたいと考えています。これにより、将来を担う子供たちの環境に対する関心を高めるとともに、保護者へエコバッグの利用を促す効果があると考え、学生を配布対象としました。配布するエコバッグのデザインは、市民の方々に募集し、投票で選ばれたものを採用していただきたいと考えています。デザインを市民の方々に募集することによって、そのこと自体がエコバッグの利用促進につながると私たち期待しています。

日本では、今年7月から、レジ袋の有料化が義務付けられることが決まっています。ここでは、レジ袋1枚につき2円～5円程度で各事業者が自由に価格設定を行います。しかし、私たちは、2円～5円程度なら、払ってでもレジ袋を利用するという人もいるのではないかと考え、あらゆる市民の方々に「なぜレジ袋を有料化しなければいけないのか？」という、レジ袋有料化の意義を広く伝えるための広報活動も、充実していただきたいと考えました。広報活動は、主に、市報にいみや告知放送などを活用できるのではないかと考えています。

また、「エコマネー制度」も導入していただきたいと考えています。私たちが考えるエコマネー制度とは、レジ袋使用者へポイントを付与し、割引券と交換できる仕組みを想定しています。この制度を導入することで、「数円程度なら支払ってレジ袋を購入したい」という人を減らし、レジ袋削減率をより上げることができます。実際に地域通貨を導入していた地域に福岡県北九州市があります。福岡県北九州市では、平成18～27年まで、全市共通ノーレジ袋ポイントシール事業（通称「カンバスシール事業」）を行っていました。これは、200円以上の買い物をしたお客様が、レジ袋を断った場合、ポイントをシールとして受け取り、20ポイント貯まると50円割引券として利用できるというものです。この取り組みの結果、レジ袋1億2,300万枚の削減に成功しました。これは、ドクム街11,300本分の原紙、7,420トン分の二酸化炭素の量に相当します。新見市でも同様の活動ができると考えます。単に有料化するだけでなく、これらの活動を組み合わせることで、市民が環境のことを考え、レジ袋をはじめとしたプラスチックごみの削減に取り組むことができると私たちは考えています。

以上のことから、市民の方々により多くのエコバッグを利用していただき、環境に配慮した暮らしができる新見市を目指して、『新見市のごみ問題に関する対策の陳情』をいたします。

ご静聴ありがとうございました。

添付資料④「陳情の審査結果（通知）」

新議第84号
令和2年7月1日

岡山県新見市新見1394
岡山県立新見高等学校南校地
代表 岩野 茂 様

新見市議会議長 藤澤 正則



陳情の審査結果について（通知）

令和2年2月7日付けで貴殿から提出された陳情は、本会議において審査の結果、下記のとおり決定されましたので通知します。

記

1 陳情事件名

陳情第22号 新見市のごみ問題に関する対策の陳情

2 結 果

本件は、一部採択に決定しました。

〔①エコバッグの利用促進のため、児童・生徒・学生への無料配布」及び「③エコマネー制度の導入」を除き、「②レジ袋有料化の意義についての広報活動」を一部採択することに決定した。〕

福知山公立大学 2020 地域活性化策コンテスト

田舎力甲子園

伝統文化のバトンを受け継ぐ高校生の実践記録

白石踊 800 年の伝統を受け継ぐ会

金光学園高等学校

3年 和田雄喜（代表）

浅野夢 中務彩乃 名村胡桃 姫路沙彩 小原千晴

2年 岡邊こむぎ 渡邊文奈 三澤葵 中藤浩文 水川雄貴 赤沢梨吏

赤畠菜月 朝原奈菜 木口綾香 安福柊汰 小松原奈月 新井千畝

西森翔眞 三谷育郎 関谷怜未 李之勢 神達聰一郎 浅田唯吹

福武莉奈 柴田瑠菜 田村美稀 祐屋希 高橋真生 高山莉里

1年 和田小優姫 斎藤光希 奥村真結 森山てんな

笠岡工業高校 2年 山本誠

笠岡商業高校 2年 山本武

倉敷古城池高校 2年 今城慧郁 池上雅泰

広島大学附属福山高校 3年 岩本祐依

岡山龍谷高校 3年 大山幹人 卜部瑚万知

合計 41 名

伝統文化のバトンを受け継ぐ高校生の実践記録

白石踊 800 年の伝統を受け継ぐ会

はじめに

瀬戸内海を舞台に繰り広げられた源平合戦。岡山県の西部、笠岡諸島の一つ白石島（しらいじじま）には、合戦の犠牲者を弔つたことを起源とする盆踊りが伝わっている。右の写真の白石踊と呼ばれるこの踊りは国的重要無形民俗文化財であり、ユネスコ無形文化遺産候補にも挙がっている。しかし、この 800 年来の伝統文化が後継者不足によって存続が危ぶまれている。

2年前に先輩がたった一人で自ら継承者に名乗りを上げ、若者世代に白石踊の魅力を伝える活動を始めた。今ではその活動に共鳴する高校生が続々と現れ、地域からも期待される動きとなっている。

昨年度の田舎力甲子園では、2019 年 5 月までの活動のまとめと将来展望を述べたが、今年度のレポートではその後の大きな進展、新型コロナウイルス感染症予防に伴う活動自粛の逆境、現在の状況を述べ、厳しい状況下でも自分たちのできる活動に地道に取り組む姿を訴えたい。

これが先輩から引き継いだ私たちの責務であり、この伝統文化を継承しようとする決意でもある。

当レポートは次の構成になっており、第 1 章～第 2 章では昨年度のレポートと重複するが、経緯説明として省けないため簡略化して紹介する。第 3 章では昨年 6 月～今年 2 月までの私たちの取り組みを詳述する。コロナ禍の発生前の活動内容である。

第 4 章では、2020 年 3 月以降、新型コロナウイルス感染症対策による活動の自粛状況下で、可能なことを前向きに取り組んだ報告をし、第 5 章の今後の予定につなげる。

- 第1章 白石踊の概要と後継者不足
- 第2章 2019 年 5 月までの取り組み
- 第3章 2019 年 6 月～2020 年 2 月まで（コロナ禍発生以前）の取り組み
- 第4章 コロナ禍の逆境のもとでの活動
- 第5章 今後の予定とまとめ



写真提供 岡山県

第1章 白石踊の概要と後継者不足

1. 白石踊の概要

岡山県笠岡市の笠岡諸島の島のうちの一つ白石島には、「白石踊」という国指定重要無形民俗文化財に指定されている伝統文化がある。ルーツは諸説あるが、源平合戦のときに白石島に流れついた戦死者を島の人たちが供養するために踊り始めたとされ、800年もの伝統を誇る。

日本各地の風流踊（ふりゅうおどり）の一つでもあり、現在、ユネスコ無形文化遺産候補として国から推薦されている。

特徴として、白石踊には13種類の踊りが伝わっている。踊り手の年齢や性別によって踊りや衣装が異なる。物語や淨瑠璃を題材にした口説き（音頭）が大太鼓の拍子に乗せて謡われる。同じリズムに合わせて一つの輪の中に複数の踊りが同時に踊られる形態は全国的にもとても珍しい。



男踊



女踊



娘踊（月見踊）



笠踊

2. 後継者不足

従来、白石踊は島内で伝承されてきた。しかし、この白石島は過疎高齢化により白石踊の継承者不足に直面している。2年前から白石小学校は休校になった。中学校は2年生に在籍する最後の一人が卒業する2022年3月で廃校が決定している。伝統を引き継ぐ子どもがいないのだ。

後継者育成のために白石踊会（保存会）では3年前から白石島に行かなくても白石踊が習えるよう、毎月一回、笠岡市本土で無料の講習会を開催している。しかし、この講習会に参加する中学生・高校生は皆無だった。

第2章 2019年5月までの取り組み

広く世の中の人に白石踊の魅力を伝えることと若者世代に白石踊を広めるために、最初の一人の高校生が2019年5月までに実行した概略は次のとおりである。

1. 自分自身が後継者になる

最初の高校生（渡辺陽先輩）は、白石島で島の盆に参加した時の感動を新聞投稿し、自分も白石踊を踊りたいと講習会に参加したが、当時は彼以外に中学生・高校生は誰もいなかった。（右写真）



唯一の高校生だった頃

2. シンポジウム・論文・財団助成への応募

若者世代に向けてのPRの機会を積極的に求めては、白石踊の魅力や後継者育成のアイデアを発表した。校内発表会で興味を持った同級生や下級生が徐々に参加するようになっていった。昨年度の田舎力甲子園に応募し奨励賞をいただけたことは先輩も私たちも大変嬉しかったが、年配の関係者が喜んでくださったことが印象深い。

岡山大学で開催されたシンポジウムで白石踊の後継者を増やすアイデアをプレゼンテーションしたところ、新聞にも紹介され、地元の人々が応援くださるようになった。これが福武教育文化振興財団からの助成金の受給につながっていった。

白石踊会の方々にプレゼントーション



3. 笠岡市役所H Pの更新作業

笠岡市役所HPの白石踊のページは長らく更新が止まっていたのを、高校生がお願ひして毎月の記事が更新されることになった。草稿は高校生が作り、白石踊会と笠岡市役所の校閥を経て掲載いただいている。私たち高校生も白石踊会に所属しているため、高校生会員からの報告というページまで設けていただいた。この更新作業は、現在も私たちが引き継いで行っている。その結果、定期練習会の雰囲気も若返り、今では親に連れられて踊りに参加する小中学生の姿も見られるようになった。

<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/soshiki/30/18561.html>



本題は、地政局の「土地を所有する者の権利状況の実態調査」でした。簡単に云うと土地の権利が何が書いてあります。大抵は譲りて、受け取ったの権利者です。書類が現行で権利者をもつてます。



白石島のお盆

8月13日(用)

8月16日(木)は19時から灯篭流し、20時頃から盆踊りもあります。場所は西浦港。

6月16日は(木)は10時からの電源と、20時頃から並盛りとなります。湯舟は白石湯舟店舗で販売です。(島の盆での踊りは、白石踊の衣装を着けての踊りではありません)

次回の定期総闘合は、令和元年 9

次回の定期練習会は、令和元年9月 7日(土曜) 19:00~20:30
会場:三井記念館 1F (1階)

1月2回目：脚踏車の上

9月から定期練習会は月2回ずつ開催します。

笠岡市中央公民館（笠岡市笠岡 1866-1）で行います。無料。

第3章 2019年6月～2020年2月まで（コロナ禍発生以前）の取り組み

第3章では、昨年度の田舎力甲子園応募後の活動内容を紹介する。高校生による白石踊関連の活動については、報告文を取りまとめ不定期に笠岡市役所HPに掲載いただいている。この章では、その報告文を引用することにより、2019年6月～2020年2月までを振り返ることとする。（報告文は敬体で書いたため、引用箇所は敬体の文章になっている。）

1. 2019年7月「白石踊ツアー」参加

令和元年7月13日 「白石踊ツアー」の様子です。

7月13日は恒例の「白石踊ツアー」が開催されました。昨年は豪雨災害の影響で中止になりましたが、今年は開催することができました。県内外から90人くらいのツアー参加者と笠岡支部関係者が白石島に渡り、白石島の白石踊会員と一緒に白石踊を楽しみました。

海水浴場の浜辺で開催予定でしたが、雨天でしたので白石小学校体育館が会場になりました。



白石踊の特徴の一つに、複数の踊りの型が一つの音頭に合わせて同時に一つの輪で踊られることが挙げられます。写真は男踊り、女踊り、扇踊り、奴踊りですが、この白石踊ツアーではそれぞれの踊りの衣装を身にまとって踊りますので、多くの写真愛好家の方々もいらっしゃいます。

白石踊は伝統的に誰でも踊りの輪に加わって踊ることができることも特徴の一つです。

全ての踊りの基本となる「ぶらぶら踊り」は全く初めての人も見よう見まねで踊りの輪に加わって、その場で踊れるようになります。右の写真は、皆さんにも踊りの輪に加わっていただき、みんなで白石踊を踊っているところです。



事前の「出前講座」や「定期練習会」に参加してくだされば、よりスムーズに踊りの輪に加わっていただけます。各自が自分の踊りたい踊りを自由に選んで踊ることができます。練習の成果が発揮されています。白石島内の中学生・高校生の他、島外の高校生も多数参加がありました。

2. 2019年7月 発表会などへの出場報告（高校生本人による報告文）

(1) 第1回 山陽学園大学 地域マネジメントコンテスト 入賞

7月20日（土）に山陽学園大学で開催された「第1回 山陽学園大学 地域マネジメントコンテスト」に金光学園高校2年高田愛珠と古江唯華が参加し、白石踊と笠岡の活性化について発表を行いました。「観光まちづくり」などの重点部門とその他のテーマの一般部門のうちで、私たちは重点部門に応募しました。私たちは白石踊を県外、さらには国外に発信するため、岡山に来ている留学生の力を借りることを思いつきました。留学生に白石踊の講習会に参加してもらい、その様子をSNSなどで拡散してもらうのが狙いです。初めてのコンテスト参加だったのでとても緊張しましたが、練習を思い出し、落ち着いて発表することができました。その結果、出場した重点部門において「岡山商工会議所会頭賞」を受賞することができました。今後も地元の方々のお力を借りながら、笠岡の地域活性化を考えていきたいです。

(2) 福知山公立大学 2019 地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」入賞

令和元年7月20日、京都府の福知山公立大学で開催された「田舎力甲子園」の表彰式に金光学園高校3年渡辺陽と岡本涼顕の二人は出席しました。ニッポン全国の地方都市・農山漁村は何処も少子高齢化や地域経済の活力低下という社会的問題に直面していますが、これら諸課題に対する解決策の一つとして「田舎」の持つ内発的発展力に注目し、全国の高校生から地域活性化策のアイデアを募集したコンテストが、「田舎力甲子園」です。白石踊の魅力の説明、私たち高校生の伝統を継承する取り組み、白石踊をテーマにした観光プランの論文を作成し応募した結果、奨励賞を受賞することができました。表彰式では他県の高校の入賞作品のプレゼンテーションも聞くことができました。最優秀賞を受賞した学校の活動は、高校生が主体となり地元食材を使ったカフェを開いてSNSで発信したそうです。他校の高校生から刺激を受けて私たちも地元の魅力を伝えてゆきたいと思いました。



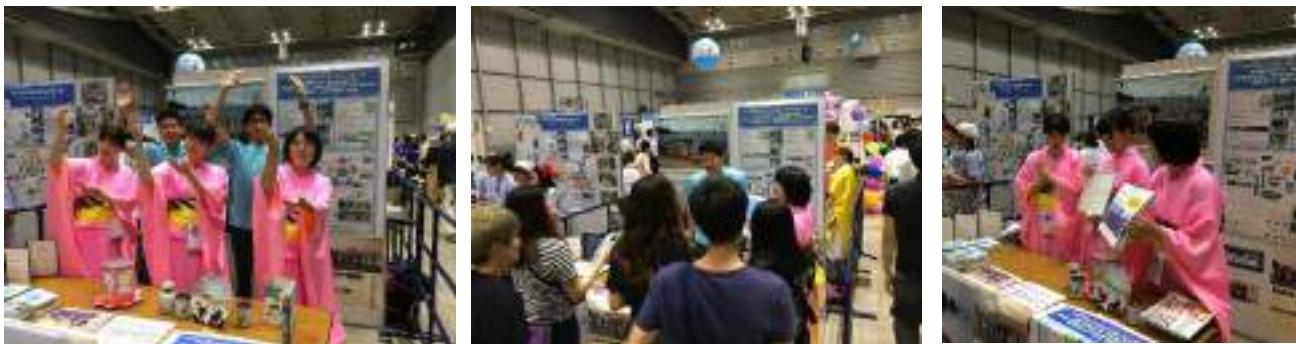
(3)高校生ボランティア・アワード出場と特別賞受賞

令和元年7月29日～30日に神奈川県横浜市にあるパシフィコ横浜ホールで開催されたボランティア・アワードに参加してきました。定期練習会に参加している金光学園高校、岡山龍谷高校、鹿島朝日高校の生徒が「白石踊800年の伝統を受け継ぐ」をテーマに高校生が白石踊を習って若者世代に広める活動をしていることを紹介しようと応募したものです。応募後にも続々と高校生の定期練習会参加者が増え、今では7つの高校から19人が活動しています。今回、金光学園高校、倉敷古城池高校、総社高校の高校生 計5名で横浜まで行ってきました。

ボランティア・アワードとは、公益財団法人風に立つライオン基金を設立し理事でもある、さだまさしさんが、高校生が行っているボランティア活動を発表する場を設け、内閣府やNHK厚生文化事業団等の後援を得てボランティア活動の全国規模の交流会にしたもので、全国の高校生が日頃から続けている“ささやか

で偉大な活動”を応援するプロジェクトです。活動の規模や内容の優劣を競い合う“大会”ではなく、学校や活動分野の垣根を越えて自由で活発な交流を行い、互いの活動に対する理解を深め、連携し助け合い、切磋琢磨することを目的としている会です。

第4回目の今年は、事前のポスター審査を経た、全国から96の多岐にわたる活動団体(高校)が参加しました。大きな展示会場に設けられたブースごとに来場者に説明しました。



この2日間で高校生や先生方、一般来場者等多くの方が私たちのブースに来て発表を聞いて白石踊について関心を持ってくださいました。笠岡諸島を紹介したパンフレット200部もすべて配布しました。来場者が笠岡諸島を訪れてくださるきっかけになればと思います。他校の生徒と相互に意見交換もでき、有意義な時間となりました。また、実際にブースで白石踊の13種類のうち“ぶらぶら踊り”と“娘踊り”的二種類を披露し聴衆の方に理解を深めていただきました。

2日目はシンポジウムもあり「命の大切さ」をテーマに有識者の皆さんと生徒による質疑応答がありました。有識者の皆さんのお活動経験に基づく命の大切さの意見や私たち高校生が今できることへのアドバイスを聞きこれから実践しようと思いました。

ボランティア・アワードを通して、私たちの活動は多くの方々から支えていただいて行えているのだと再認識しました。また、他の異なる活動を行っている高校生の発表を聞いて新しい視点やアイデアを持つことができました。

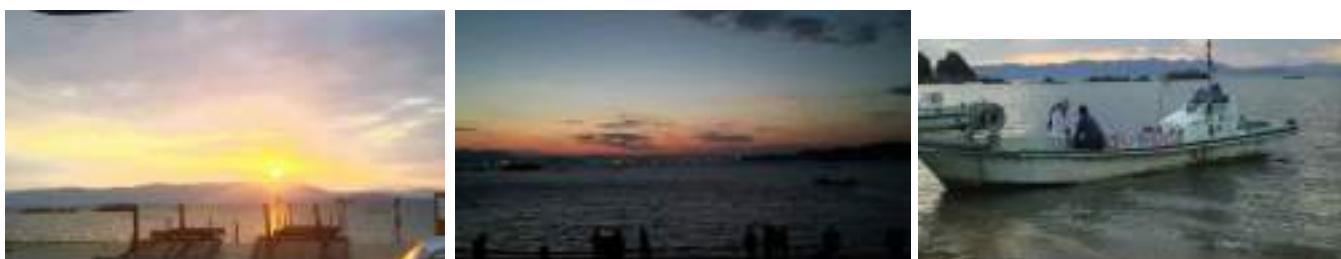
なんと今回、特別賞として株式会社マイナビさんからマイナビ賞を授与いただきました。今後も多くの方々に白石踊の魅力を伝え、若者世代に白石踊に参加してもらえるように一同頑張っていきたいと思います。

3. 2019年8月 白石島のお盆の行事

令和元年8月16日 白石島のお盆の行事の様子です。

8月16日に白石島で午後19時から開催されたお盆の行事に白石踊会笠岡支部の会員と中学生・高校生数名が参加しました。あいにく、白石島に帰省していた方々が台風10号の影響で交通機関が乱れることを懸念し早めに島を出立したり、前日まで交通機関がマヒしていましたので観光客の方々にも影響があつたりしたようで、今年の参加者は例年に比べると少ない印象です。

しかし、ご先祖様をお送りする白石島のお盆を島民の方と私たち支部会員が一緒に砂浜で踊ることで味わうことができました。



美しい夕陽。夕刻から法要と灯篭流しがあり、その後に白石踊になりました。

灯籠は船に乗せて沖で流します。例年は海上に灯籠の灯火が揺れるのですが、今回は波が強くろうそくの灯がすぐに消されたようです。

7月の白石踊ツア一同様、口説き（音頭）の歌い手や踊り手が次々と入れ代わり立ち代わり延々と続く本来の白石踊を今回も体験できました。

今回の盆行事の感想を高校生が書き、山陽新聞（令和元年8月30日 朝刊）に掲載されました。

笠岡・白石踊の継承必要 吉實沙希

私は、8月16日に笠岡諸島の白石島のお盆の行事に参加しました。白石島には源平合戦以来800年以上続く白石踊（国指定重要無形民俗文化財）が伝わっています。私は高校生の仲間とともに白石踊を習い、継承する活動をしています。今回は初めて実際の島のお盆でした。

夕日を望む砂浜に島内外から多くの方が集い、法要と灯籠流しが行われました。その後に、踊りの輪の中に入れ代わり立ち代わり入って踊り続ける本来の白石踊を経験することができました。白石踊には手拍子はない代わりに、合唱のポーズで供養を表します。観光客も踊りの輪に招き入れて一緒に踊る包容力があります。今回も全くの初めてという方々が一緒に踊りを楽しんでおられました。

踊りの輪の外で休憩していた年配の方々が「若いもんが参加してくれてうれしい」と話されていたのが聞こえて、私たち若者がしっかり継承する必要があることを再認識しました。白石踊を習う人が増えることを願っています。



4. 2019年7月～10月 高校生の活動・岩波ジュニア新書掲載の報告（高校生本人による報告文）

（1）高校生ボランティア・アワード続報

令和元年7月29日～30日に横浜で開催された「高校生ボランティア・アワード」に参加しましたが、その続報をご報告します。

①主催者である公益財団法人風に立つライオン基金から当日の写真をいただきました。理事のさだまさしさんや世界的指揮者の佐渡裕さんたちと一緒に記念撮影したものと、表彰式で「マイナビ賞」という特別賞をいただいている場面の写真です。（写真の掲載許可済）

②岩波ジュニア新書に私たちの活動を掲載いただけることに



なりまし

た。

書名：岩波ジュニア新書

「ボランティアをやりたい！

—高校生ボランティア・アワードに集まれ」

編者：さだまさし・風に立つライオン基金 編

刊行予定：2019年12月

③「進路のミカタニュース」に掲載されました。

株マイナビさんから特別賞「マイナビ賞」をいただきましたが、マイナビ進学の「進路のミカタニュース」で大きく取り上げてくださいました。

インタビュー記事や会場の様子が載っていますので、ご覧ください。



ボランティアに興味を持つきっかけに！ 高校生ボランティア・アワード2019 レポート【2日目】

<https://mikata.shingaku.mynavi.jp/article/50810/>

④このアワード参加について投稿した文章が中国新聞（令和元年8月19日 朝刊）に掲載されました。

白石踊の輪広げたい 渡辺 陽

私は笠岡諸島（笠岡市）の白石島に伝わる白石踊という盆踊りを習っています。日本各地の伝統行事が後継者不足により存続の危機にあります。私は仲間とともに、白石踊を若者世代に知ってもらい、一緒に踊ることを呼び掛けています。

7月末、横浜市であった「高校生ボランティア・アワード」に参加しました。日ごろの活動を発表し合い、交流する場です。私たちは各地の高校生や来場者に、紙芝居を用いて、白石踊を活性化する活動を紹介しました。保存会から借りた衣装を着て、踊りの一部も披露しました。

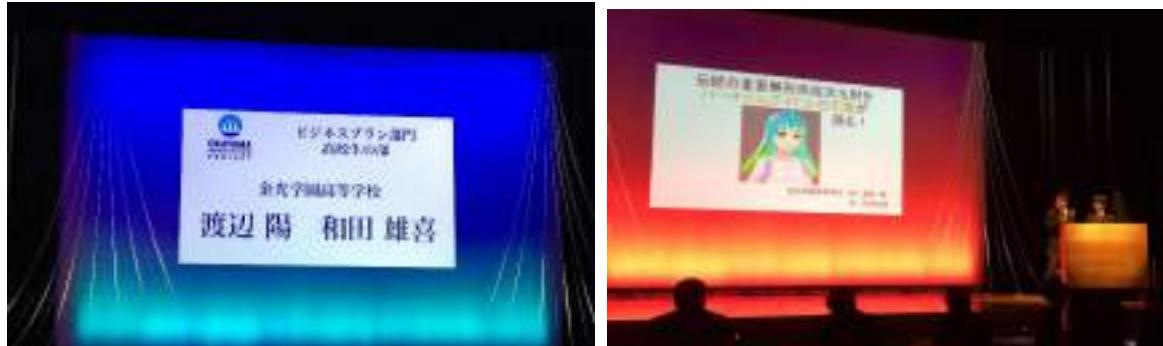
一つのリズムに合わせて老若男女がいろいろな動きで舞う白石踊の特徴とともに、舞台となる笠岡諸島の魅力も伝えられたと思います。

最初は私一人で始めた活動でしたが、仲間と一緒に全国規模の大会で発表でき、特別賞までいただき、感慨深く思っています。貴重な経験になったし、今後の活動の励みになりました。

(2) 岡山イノベーションコンテスト ファイナルステージ進出決定

白石踊の伝統を引き継ぐバーチャルアイドルという趣旨で、渡辺陽先輩と私（和田雄喜）とで作成したビジネスプランですが、このたび岡山イノベーションコンテストのファイナルステージで発表できることになりました。

それに先立って10月2日に山陽新聞社さん太ホールで2次審査があったのですが、実際のファイナルステージのような演出でした。今回が人生で初めてビジネスプランを審査員の前で発表したので緊張しすぎてセリフを忘れたりなどしたのですが、言いたいことは全て言えたと思います。また質疑応答の時に審査員の質問の意図がわからず「はい（肯定）」としか言えなかつたのが反省点です。



ファイナルステージの抱負としては、2次審査の反省を生かして質疑応答でどんな質問を聞かれても的確に答えることができるようになる特訓とプレゼンテーションの時にいろんなジェスチャーを交えながらの発表ができるようにしたいと思います。どうか応援よろしくお願ひします。

岡山イノベーションコンテスト 2019 ファイナルステージ

日時 令和元年 11月 23日（土）13：00～16：30

場所 倉敷市民会館（倉敷市本町 17-1）

5. 2019年11月 受賞報告（高校生本人による報告文）

(1)第3回岡山イノベーションコンテスト 大賞受賞

11月23日に倉敷市民会館で行われた岡山イノベーションコンテストのファイナルステージに出場しました。この大会は、岡山発の新たなビジネスモデルを募集し、コンテスト方式で競うものです。伝統の重要無形民俗文化財である白石踊を、バーチャルアイドル「白石舞」（右画像）にバーチャル空間で踊らせることで知名度を高め伝統の継承につなげる一方で、ここからさらに全国の伝統芸能のプラットフォームビジネスを確立していくことを主題とする発表を行いました。発表時間が3分と短く自分の伝えたいことが全ては伝えられませんでしたが、ユーモアを交えたプレゼンテーションを行った結果、高校生部門の大賞を取ることができました。当日は白石踊会会長、女性部長、白石公民館長にもご観覧いただき、応援をありがとうございました。



(2)第23回 ボランティア・スピリット・アワード ブロック表彰式出席

第23回ボランティア・スピリット・アワードに私たち高校生・中学生による白石踊の継承活動を応募しました。私たちが普段、定期練習会に参加し白石踊を習得しようとしていること、新聞投稿やシンポジウム参

加で白石踊をPRしていることや、これまでの活動の中で参加者が増え活動規模が拡大していった様子などを報告しました。

その結果、中四国のブロック賞を受賞しました。11月24日に松山市青少年センターで開催されたブロック表彰式に代表として渡辺陽が出席し、銀メダルと賞状をいただきました。（下の写真）

ブロック賞の受賞者（団体）は、12月22日に東京都新宿区にて開かれる全国表彰式にも参加することになっています。全国表彰式に集まったブロック賞受賞の中高生の前で、ポスターを使った3分間のプレゼンテーションを行いますので、より多くの中高校生に白石踊を知ってもらうチャンスとして、熱を入れ発表に臨もうと思います。



6. 2019年12月～2020年1月 高校生の活動の受賞報告（高校生本人による報告文）

(1) 第23回 SOCボランティア・スピリット・アワード 文部科学大臣賞 受賞

令和元年12月21～23日にかけて東京で開かれたボランティア・スピリット・アワード（主催：プルデンシャル生命、ジブラルタ生命、プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命、日本教育新聞社 後援：文部科学省、日本赤十字社）の全国表彰式に白石踊会会員の渡辺陽が参加しました。このボランティア・スピリット・アワードはボランティア活動に取り組む中学生・高校生を応援するプログラムです。

今回は全国から21,116名の中高生のボランティア活動内容



を綴った1,823通の応募があったそうです。そのうちでブロック賞を受賞した中高生が全国表彰式に臨み、各々の取り組むボランティア活動を紹介し、交流を行いました。

私が発表したのは、白石踊を若い世代に広めるために、私たち自身が白石踊の後継者になり活動している内容です。その活動を通じて、同世代の仲間が増えたこと、白石踊会や地元の方々、行政、福武教育文化振興財団にご支援いただいていること、3Dで作成した美少女アイドルに白石踊を踊らせるPR構想なども発表しました。

今回は全国から集まった中高生に白石踊を知ってもらいました。私の発表を聞いて白石踊に興味を持ってくれました。全国表彰式の際には地区ブロックごとに入場したのですが、私たち中四国ブロックはみんなで月見踊りと合掌のポーズをしながら記念撮影しました。



中学生部門で1組、高校生部門で1組が最高位の文部科学大臣賞をいただけたのですが、私たち「白石踊800年の伝統を受け継ぐ会」が高校生部門で文部科学大臣賞を受賞する

ことができました。

このような大きな賞をいただき身が引き締まる思いです。メンバーと喜びを分かち合い、ここまで導いてくださった白石踊会を始めとする地域の皆様に厚く感謝申し上げます。

(2)第7回高校生ビジネスプラン・グランプリ 審査員特別賞 受賞

令和2年1月12日、日本政策金融公庫主催の「第7回高校生ビジネスプラン・グランプリ」が東京大学で開催されました。白石踊会会員の渡辺陽、和田雄喜、吉實沙希の3人は、3808件からファイナリスト10組に選ばれ、発表してきました。

プラン名は「重要無形民俗文化財バーチャルアイドル白石舞」です。もともと若者世代に白石踊を広めたいと思っていた私たちは、コンピューターグラフィックスを用いて作成したオリジナルの美少女キャラクターに実際の踊り手の動きを完全再現させました。その美少女の名前が白石舞です。この作業では河田瑞恵女性部長に大変お世話になりました。

白石踊をダンスゲームの楽曲に組み込んで世界中のプレーヤーが白石舞の動きに合わせて白石踊を踊れるようになるという構想を発表しました。ステージでは実際にゲーム化した場合のデモンストレーションとして白石舞に合わせて会場の観覧者と月見踊りを踊り、大盛況でした。

授賞式では審査員特別賞を受賞し、賞状とトロフィーをいただきました。



7. 2020年2月 文化特別賞受賞式

令和2年2月1日（土）定期練習会の様子です。

今回は、始めに小林市長にお越しいただき式典がありました。これは1月12日（日）に東京大学で開催された高校生ビジネスプラン・グランプリで審査員特別賞を受賞した金光学園高校生3人（3人とも白石踊会笠岡支部会員）による報告とメンバーのうち笠岡市民である吉實沙希さんへの文化特別賞の授賞式です。

彼らは白石踊の継承活動の一環として知名度向上を目指して「バーチャルアイドル白石舞」というプランを作りました。白石踊を3Dデータに変換する際の踊りには河田瑞恵女性部長の大きな協力がありました。

彼らが出場したこのコンテストは応募件数が日本最大級のハイレベルな大会です。本番での彼らのプレゼンテーションの様子は主催者HPに掲載されており、今後、毎年多くの高校生たちが閲覧しますので、白石踊の知名度の向上にもつながるのではないかと

思います。





式典の後には、全体でプラプラ踊り、各自が習いたい踊りごとの小グループ練習、最後に全体での踊りを行ないました。多くの小学生から高校生の若い世代の参加者がいました。



第4章 高校生たちの2019年6月以降の取り組み

1. 2020年3月～6月 白石踊の活動中止期間

新型コロナウイルス感染症の対策のため、3月～6月は定期練習会が中止になった。

白石島は高齢化率が高いうえ、医療機関も無いため、事実上のロックダウン状態で「感染が怖いから島に来ないでほしい」と言われていた。学校も休校措置が続いたため、日常生活自体が混乱していた。

白石踊を習い始めた人のデビュー公演として、新年度には笠岡駅前でのお祭りと敬老施設での慰問公演も予定されていた。しかし、コロナ禍のためにやむなく中止になった。

この間、笠岡市役所HPの白石踊のページに、定期練習会は中止している旨の表示を出してもらうよう、私たちから提案し、白石踊会を経由して市役所に伝えて対応いただいた。

定期練習会は7月から再開できたが、先祖を弔うための白石踊の本来の主目的であるお盆の行事自体までも中止された。島の長老も「戦時中ですら島の盆は行われたのに、今年は無しか・・」とつぶやいておられた。この状況下で、できることを私たちはやった。

活動再開は2020年7月だったため、毎月の活動報告の笠岡市役所HP掲載も7月から再開した。

以下にその活動報告を引用しながら私たちの取り組みを紹介する。

2. 2020年7月 白石踊の定期練習会再開

令和2年7月4日（土）と18日（土）の定期練習会の様子です。

今年は新型コロナウイルス感染防止のために定期練習会もずっと休止していました。7月4日が今年度初めての定期練習会となり、会員からは「嬉しい」「久しぶり」との声が上がっていました。マスク着用、消毒、換気、人との距離などに留意しながら実施しました。

7月4日には白石島からも指導に来ていただきましたので、太鼓や音頭もありました。7月18日はCDを音源に練習しました。いずれも始めに参加者が輪になり、ぶらぶら踊りの練習をしました。その後は、ぶらぶ

ら踊り、月見踊り、女踊り、笠踊り、男踊りのそれぞれのグループに分かれて練習を行ないました。7月4日も18日も初めて白石踊を習う方が何人もおられたので、ぶらぶら踊りに多くの方が参加していました。小学生から高校生、大学生、社会人まで様々な年代の方が新規に参加されていました。各グループでの練習の後は、それぞれの踊りを踊って練習の成果を発揮しました。



3. 2020年7月～8月の高校生の活動報告（高校生本人による報告文）

(1)金光学園高校での白石踊講習会

令和2年7月18日(土)に金光学園高等学校で白石踊継承活動の一貫として白石踊講習会が行われました。昨年に初めて開催され、今回が2回目です。白石踊会笠岡支部の方々に講師としてお越しいただきました。私自身は校内での講習会に参加するのは初めてでしたので緊張していましたが、一生懸命踊りを習っているうちに、段々と緊張もほぐれていき、気付いた時には白石踊りの魅力に体が引き込まれていく感じがしました。今回、初めて白石踊を体験する生徒が殆どでしたが、笠岡支部の方々から高校生は踊りの呑み込みが早いと褒めていただき、とても嬉しく思いました。



白石踊は一つの口説き（音頭）に合わせて何種類もの踊りを踊る点が特徴で、男踊・女踊・娘踊（月見踊）・笠踊・奴踊・扇踊など13種類の踊りがあります。中には短時間で簡単に覚えられる基本的な踊りもあり、とても奥が深く魅力的な伝統文化だと肌で感じました。



今回の講習会を通じて白石踊の魅力を知り、県内だけでなく県外、国外にも広まるように、今自分にできる

ことは何だろうと、考えるようになりました。そして、より深く日本の伝統文化に触れていくことで次の世代の人達にも伝統を継承してもらいたいと思います。今回、私はこのような取り組みから白石踊に興味を持ち笠岡支部会員になりましたが、白石踊の後継者が少しでも増えてくれると嬉しいです。今回、白石踊を学校に教えに来てくださり、本当にありがとうございました。最後に支部長と記念撮影していただきました。

(2)愛媛大学 社会共創コンテスト 2020 奨励賞 受賞

愛媛大学の社会共創コンテストに私（今城慧郁）は白石踊を組み込んだ観光プランで地域活性化を目指そうと考え応募しました。地域課題部門に応募した 186 プランの中から奨励賞に選んでいただけました。私の地元である藤戸では源平合戦が行われ、今でも多くの史跡が残っています。源平合戦自体はよく知られていますが、倉敷で行われた「藤戸合戦・水島合戦」や、水島合戦の戦死者を供養したことを起源とする白石踊などを知っている人は少ないようです。

そこで私は、全国から多くの人に訪れていただき、地元の歴史文化の認知度を向上させ、また、外出自粛で冷え込んでいる観光業界の状況を好転させる材料を提示したいと考え、このプランを計画しました。

このプランを作る際、スケジュールを立てることなど難しいこともたくさんありました。この作業をすることで私も地元について再発見し、

上

り深く知ることもできましたので楽しかったです。

この作品が入賞し、とてもうれしいのと同時に協力してくださった方に感謝しています。これからも地元の良さを全国に発信していくために、

よ

り一生懸命活動していきたいです。



(3)福武教育文化振興財団のオンライン会議に参加

高校生が白石踊を学んだり発信したりする活動や、若い世代に白石踊を広めて一緒に後継者になってもらう活動に対して、福武教育文化振興財団から助成いただいています。井笠地域で福武教育文化振興財団から助成を受けて活動している団体が集まっての初めてのオンライン会議が 8 月 8 日にありました。私たち兄弟は白石公民館で天野正館長と一緒に参加しました。皆さんの活動内容を知ることができたり、大人の人と話すことができたりして勉強になりました。（写真は zoom 会議のスクリーンショット）



3. 2020 年 8 月～9 月の高校生の活動報告（高校生本人による報告文）

(1)白石島 海岸清掃

9 月 22 日に白石踊の継承活動をしている高校生たちと白石島の浜辺の清掃活動をしました。

一見するととても綺麗な砂浜ですが、ペットボトルや空き缶、ビニール袋など、私たちが日常的に使ってい

るモノが意外に多く落ちていました。暮らしに役に立つものとして作り出されたモノがゴミとしてそこにあるのを拾いながら、利便性を享受する私たちは、その後の再利用・処分といった一連の過程まで理解して使う責任があると感じました。未来は私たち一人ひとりの意識にかかっているということをこの白石島清掃活動を通して改めて感じる契機となりました。



(3)白石島トレッキング

白石島（国指定名勝）は島全体が日本遺産の構成文化財です。島の全景を見渡せて、開龍寺に至るトレッキングに参加しました。

アップダウンの激しい遊歩道。足取りの軽いガイドさんに必死についていった先には、息を呑むほどの美しい景観が広がっていました。全身に感じるその風は、特別な心地よさ。登りの疲労は一瞬で吹き飛びました。大きく、ゆったりと時間が流れるその壮大な青い自然の中に身を置くことで、私も自然に溶け込めた気がしました。こんなにも神々しい場所が、地元笠岡にあることを知り、誰かに伝えたくて心が踊りました。



第5章 今後の予定とまとめ

1. 今後の予定

(1) 広報活動

私たちは自らが白石踊の継承者になるために定期練習会等で白石踊の習得に励んでいる。それに並行して一般の人々、特に若者世代に白石踊に興味を持ってもらえるよう高校生の立場でお金のかからない広報活動をしている。シンポジウムやコンテストに応募してプレゼンテーションすることで白石踊の認知度を上げることを狙っている。「最近よく白石踊という言葉を目にする」という声も聞かれるようになってきた。また、引き続き、新聞投稿も行い、私たちの意見を地元の方々に呼んでいただきたいと思っている。特に来年は白石中学校が在籍生徒1人だけになり中学校の歴史の最後の年になる。今年はコロナ禍の影響で積極的に働きかけることができなかつたが、白石踊会や行政の協力を得て笠岡市内と近隣の小・中・高校に呼びかける方法も模索していきたい。

(2) 白石島の自治体活動の手伝い

白石島は高齢化が著しいので、年中行事の準備や片付けを年配者に代わって私たちが行うことを本年度は考えていたが、行事の中止や事実上の白石島のロックダウンによってまだ実行できていない。私たちが今年度できたのは、海岸清掃くらいである。感染症の社会状況を鑑みながら、自治体活動の手伝いまでおこなうことを見野に入れている。

(3) 地元での出演活動

本年度はコロナ禍で中止となつたが、感染症の沈静化や人が集まることの可否などの条件が整つたならば、駅前まつりへの出演や慰問公演にも参加して、人前で踊る経験を積んでおこうと考えている。

(4) 2025年大阪万博出演

私たちは東京パラリンピックの開会閉会式で白石踊を踊ろうと昨年12月にエントリーしたが落選した。しかし、これで挫けはしない。1970年大阪万博で白石踊を披露した年配の方々と「2025年大阪万博で踊ろう！」を合言葉に盛り上がっている。白石踊会、地元の人々、行政、財団が私たちの活動を応援くださっている。白石踊は日本を代表する盆踊りなので、2025年の大阪万博では世界の人の前で披露できるように踊り手の数が増えて踊り



の技術も向上させておきたい。

2. まとめ

当レポートのまとめとして、自分にできることを前向きに実践してきた高校生3年生の2人の文書を掲載する。白石踊の継承活動に取り組むことが、単に踊りの伝承だけでなく地域課題を見据えることにもつながつていった経験と、地域の大人たちに支えられている実感のこもった意見だと自负している。

(1)継承活動を振り返って（和田 雄喜）

私は1学年上の先輩に誘われて白石踊の継承活動に加わった初期メンバーのひとりだ。その先輩は優美な白石踊に感動し後世へ残したいとの思いから白石踊を習い始め、自主的に若い世代に呼びかけてきた。誰にも見向きもされない単独の活動を半年続けたそうだ。それが地域の人々に支えられ私たち同世代の共感を呼び、次第に輪が広がった。私が参加したころには仲間は6人くらいで、当時は同世代の友人たちからは「なんで高校生が盆踊り？」と怪訝に思っていた。しかし、私たちが楽しくアピールし続けたことで盆踊りという地味なイメージを払拭できたのではないかと思う。特に私がその先輩と企画を練り、私自身がオリジナルで制作したバーチャルアイドル白石舞（しらいしまい）のキュートさは白石踊を親しみやすいものにする一助になれたのではないかと思う。

今や定期練習会の雰囲気も非常に明るく楽しい。新しく練習会に参加する若い人も増えた。昨年は7高校+1中学の21人で活動していたが、今年は6高校+1中学の42人にメンバーが増えた。

ここまで来ることができたのは、白石踊会の皆さんが高い高校生のアイデアを実現させようと本当に温かく協力くださったお陰だと感謝でいっぱいである。地域、行政、財団、学校など実際に多くの皆様に支えられていることに感謝している。また、誠心をもって始めたことは努力が実を結ぶのだと実感している。

(2)地元への貢献の意識（浅野 夢）

私の夢は、自分が生まれ育った岡山県笠岡市の地方公務員となり、笠岡諸島の雇用機会の拡充・観光や文化的振興など離島問題に取り組むことで、笠岡諸島を国内外から多くの人が集まるエリアにすることである。離島問題に取り組みたいと思ったきっかけは私のルーツにも関連する。私の祖父は岡山県笠岡市の瀬戸内海上に浮かぶ白石島出身である。ここには800年の伝統を誇る国の重要無形民俗文化財「白石踊」という盆踊りがある。お盆の夜に浜辺で13種類の踊りが踊られる。私も幼少期には白石島にお墓参りなどで連れていってもらい、お盆の夜には白石踊の輪に加わっていた。

島内で脈々と継承してきた白石踊だが、現在、小学校は休校中、中学校も来年度末に廃校が決定している。もはや島内には継承してくれる子どもがいない。私の祖父の弟（大叔父）は後継者不足の解消を目的に笠岡市役所と相談して笠岡市本土に白石踊会笠岡支部を4年前に立ち上げ、支部長の任に就いた。伝統を絶やすまいとする大叔父の悲痛な決意を知ってはいたが、未熟で一般的な女子中学生だった私は「盆踊りはイケてる女子がやるもんじゃない」と敬遠していた。白石踊会笠岡支部は中高生の参加者が皆無のまま設立から2年が過ぎた。ところが、高校の1学年上の先輩が白石踊の後継者に名乗りを上げ、たった一人で継承活動を始めた。白石島に縁も無い先輩が活動しているのを見て、昨年から私もメンバーに加わった。

私は後継者不足の背景を確かめるために笠岡市役所の地域振興課でお話を伺った。課題として、一つ目は就労の場がないことが過疎化する原因であるため、働く場の確保が必要であること、そして二つ目は交流人口

の増加や観光による経済効果と密接な関係である島の情報発信が乏しいことを挙げられた。

私たちメンバーは、この2つの課題に対して白石踊を用いて交流人口を増やし観光業を活性化できるのではないかと思い、長らく更新の止まっていた笠岡市役所HPの白石踊の活動報告を毎月更新し、高校生の活動成果があったときにはアップもしてきた。白石踊を若者に広めるために新聞投稿やコンテスト出場などでメディア露出度を増やした。今年度に先輩から活動を引き継いだ私はもっと一般の人に周知したいと考え、ソトコト編集長の指出一正氏と関係人口についてオンライン会議で対話の機会を得た。またSNSによる情報発信も企画した。

ところが、コロナ禍のせいで定期練習会が中止になり、福祉施設での慰問公演や観光客向けツアー、白石島でのお盆の行事までも開催できない寂しい夏だった。私がSNSで発信することで世間の共感を得られたり、興味を持った人が訪れて観光産業に寄与できたりすることを期待して準備していただけに、スタート時点で発信コンテンツを奪われた無力感は大きかった。しかし私はこの無力感を味わったことを決して無駄だったとは思わない。地域課題に踏み込んで活動したからこそ経験した悔しさであるから、むしろこれが起爆剤になり、私がなすべきことを見据えることができた。進学の目的が明確になったのだ。

私は地方公務員として活躍するために、大学進学後は次の3つを軸に学びたいと考える。

一つ目は、地域課題に対しての取り組みや状況を実際に目で見て学ぶことである。実際に白石島へ聞き取り調査を行ったところ、離島は海に囲まれ陸地部の経済・文化の中心から離れているという地政学的に厳しい制約の下であるため、生活・産業活動・教育・医療・福祉等の高度化の立ち遅れがあることが分かった。数多くの現場を訪れ地域の生の声を頼りに、政策を創る必要があると考える。そのために大学では北欧の社会保障や福祉政策をも研究対象にして国内外での地域格差に対する施策の比較を行い、より良い仕組みを創ると共に地域格差が起こる原因について理解を深めたい。

二つ目は、数多くの地域社会に関する法律や制度、管轄を理解することである。島根県の隠岐島では行政がステークホルダーと協働して地域資源を活かした教育カリキュラムを導入し、移住者を増加させてきている。行政の姿勢と地域の産業や定住者は相関関係にあると思う。地域活性化事業を進めるための法律や制度、特区の作り方について研究したい。それは、「島づくりは人づくりから」と言われるよう、地域振興のためにはその地域をよく知っている住民一人一人が考え行動し、行政がバックアップする体制を作り上げることが課題であると思うからだ。

三つ目は、市民が興味を持つための情報発信力や広告戦略を学びたい。なぜなら白石踊におけるSNS等の広報活動を通じて、一過性の効果しか得られないと実感したからだ。地域ならではの伝統文化や観光産業・イベントに関心を持つてもらうことから雇用の創出につなげる方法を模索したい。

私は大学で、地域社会・行政・情報発信を多角的、実践的に学び、幅広く貪欲に研究したい。地域振興のために行政と民間企業が協働して解決に向かう仕組みを創りたいからだ。また、メディア系の授業を履修して、伝統文化、観光や産業などの離島地域における特色をどのように発信すれば、人々に伝えやすく興味を持ってもらえることができるのかも学びたい。

卒業後は笠岡市役所の公務員となって地域の方々と協働して、笠岡諸島を全国から人が集う場所にしたい。この夢を実現させるために大学で懸命に学び、体験や研究を重ねて自己に厳しく邁進する覚悟である。

以上



心も体もリフレッシュ！高生産性ワーケーションはいかがですか？

Refresh your mind and body! How about high productivity workation?

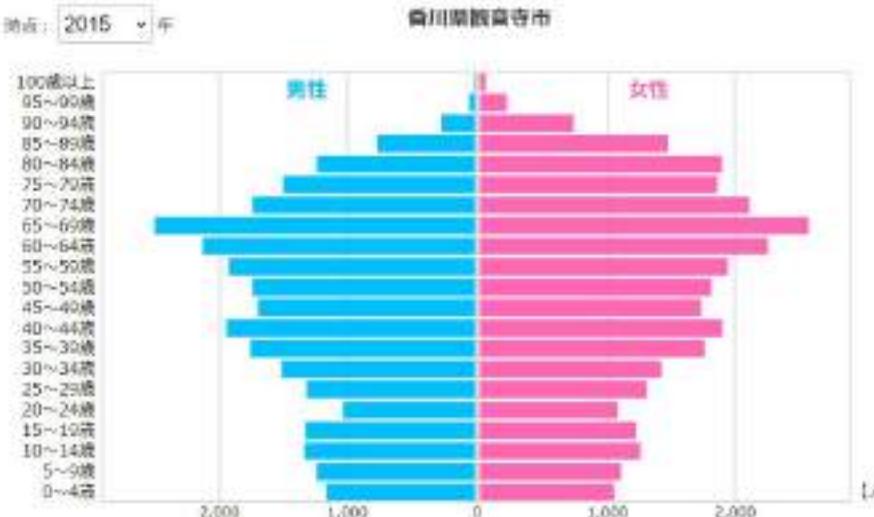
～「観音寺市のリソース」×「新しい生活様式」で地域を復活させたいっ！！～

香川県立観音寺第一高校 政策提案部隊

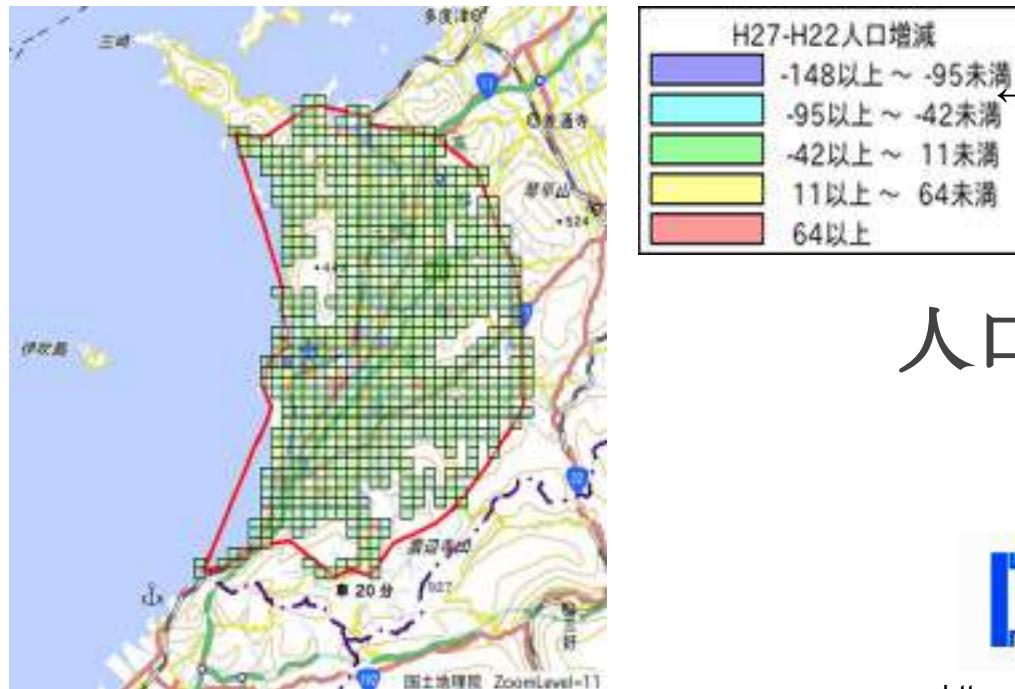
林さくら 寶田友太 五味隼毅 高橋壮汰 三谷彩乃

私たちの地元の現在と未来は…。¹¹⁹

时间：2015 年



总点数：2045



←学校周辺の、平成22年から27年の
人口増減図

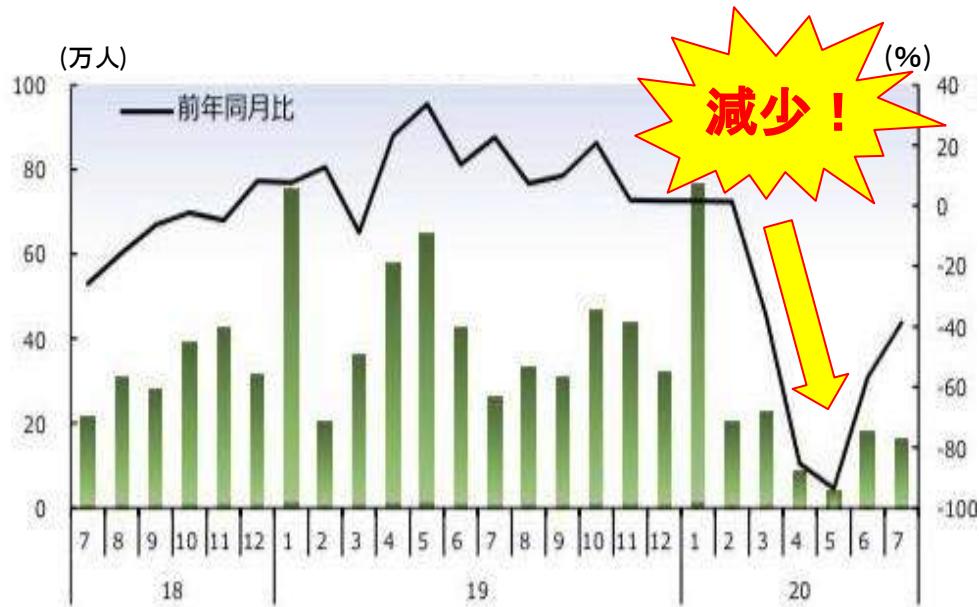
人口減少、現在進行中。
不安しかない…。

今年、さらなる**危機**が地元を襲いました。

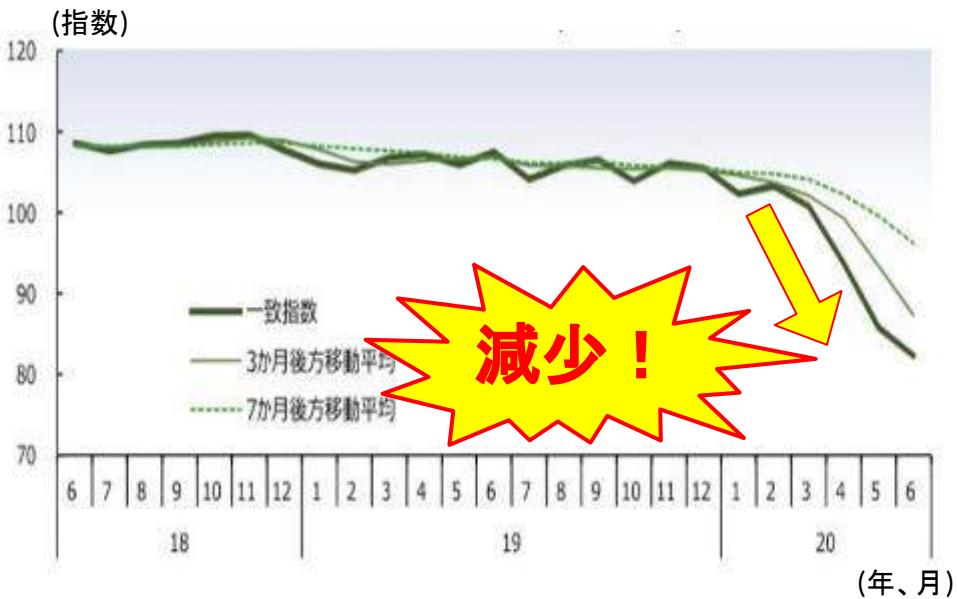


現状・分析: 2月頃から観光客の減少と共に景気動向指数が低下している。

主要観光地入込客数



香川県景気動向指数(一致指数)



「香川県の地域情勢」

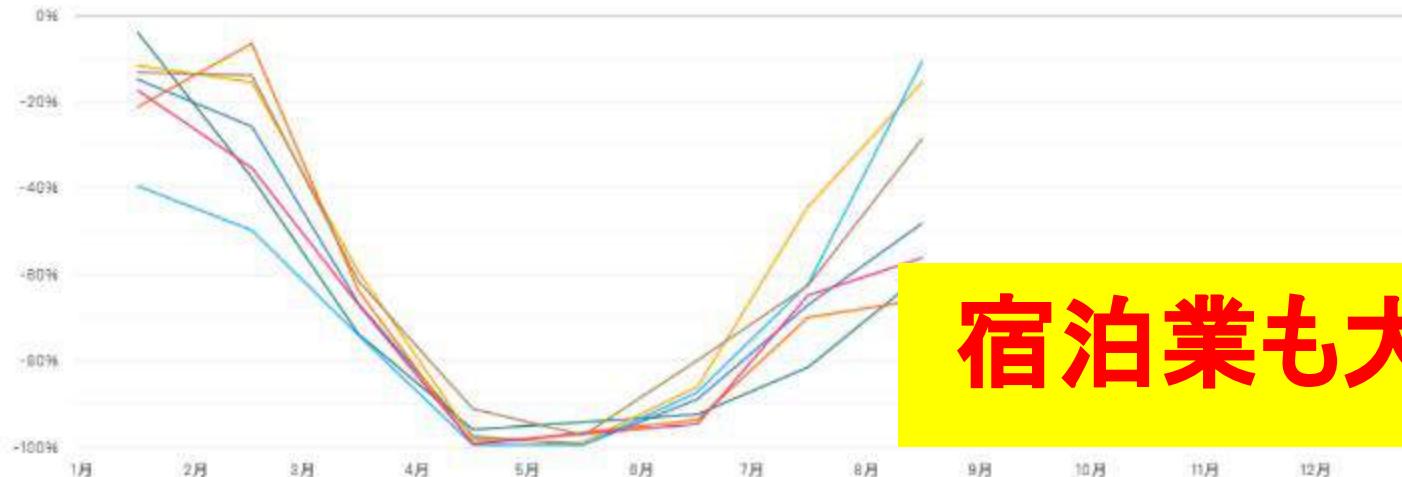
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/toukei/keizai/situation/situation202008.pdf>



特に宿泊客が99%減..... 倒産する旅館も…。

宿泊者の分類:

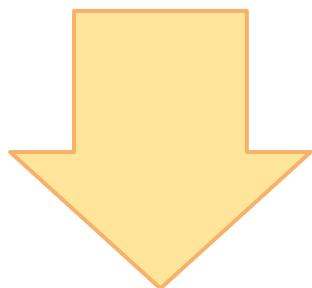
■すべての宿泊者の分類 ■子ども連れ(子ども = 13歳未満) ■男女二人(カップル・夫婦) ■女性グループ ■男性グループ ■男女グループ(子ども含む) ■一人



宿泊業も大打撃！

V-Resas

<https://v-resas.go.jp/prefectures/37#population>



立て直しが急務！！

一方で…

6月以降、私たちの地元で不思議な光景が…。

- ・コロナ禍で、観光客は来ないし、電車もホテルもガラガラなのに…。
- ・レンタサイクルに乗った大学生風の若者を町でよく見る…。
- ・ときどき大人数が、電車からバスに乗り込み、どこかに行ってる。

→ こんな時期に多くの集客をしているのは、
「観音寺自動車学校」だった！

→ なぜ、こんな田舎の自動車学校に、
 遠方から若者が、こんな時期にも関わらず
 来ているのか？？？

コロナに負けず集客できる魅力とは何か？

→ 口コミをテキストマイニングしてみた。



観音寺自動車学校に関する口コミ(9サイドの口コミ81件)

口コミデータ元 「DREM」<https://drem.jp/schools/148> 「合宿免許マスター」<https://menkyocamp.com/426.html>

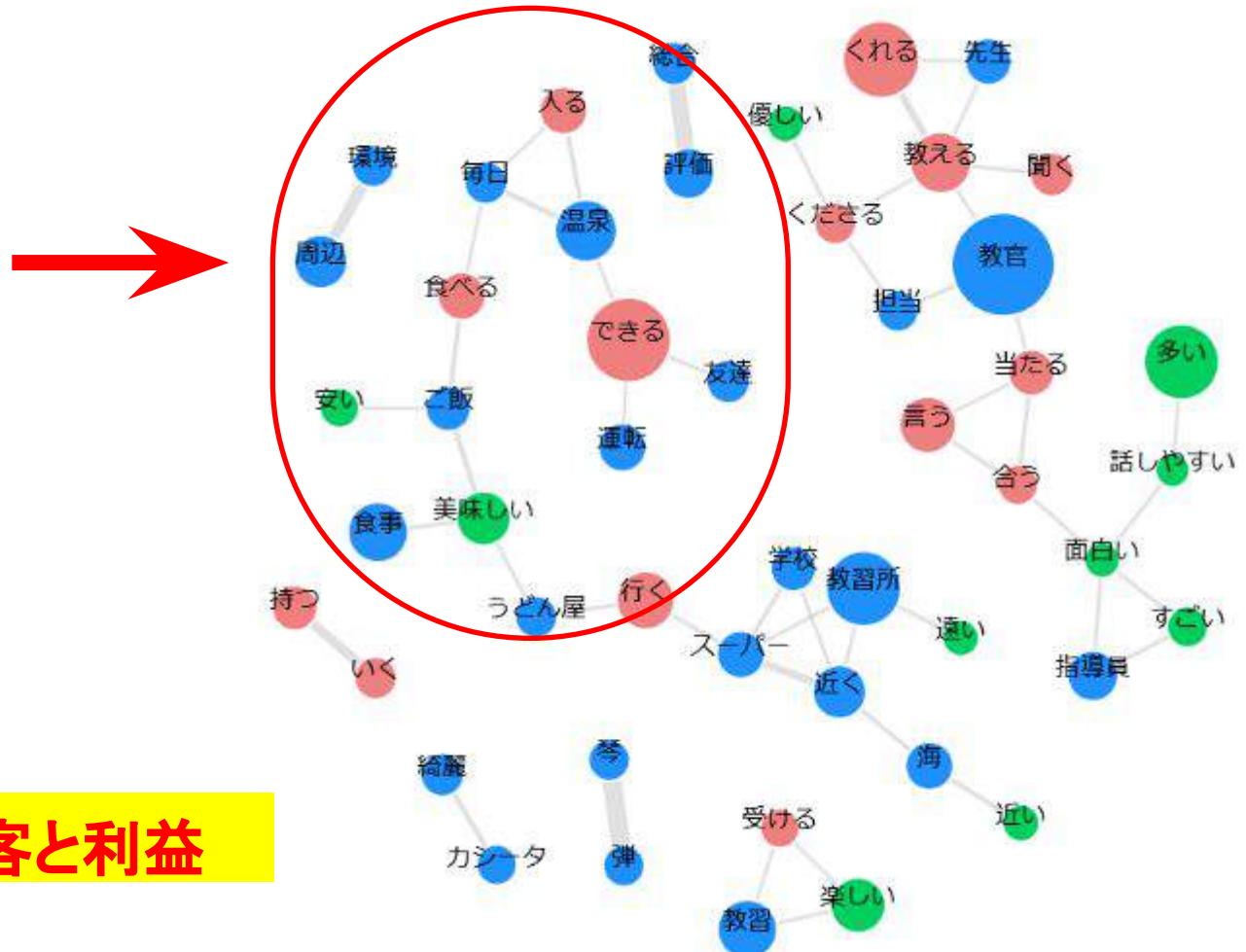
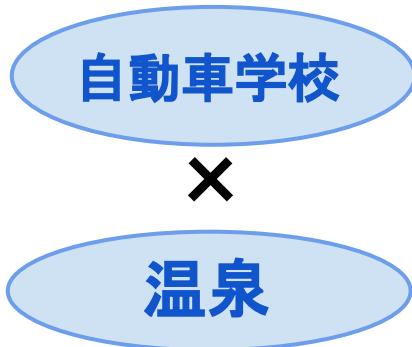
「合宿免許ネット予約サイト」<https://11knee.com/archives/562> 「合宿免許LIFE」<https://menkyoenjoy.com/chu-sikoku/kanonji-ds/>

「教習所の口コミサイト」<https://www.car-schoolgv.net/detail/86146249/reviews> 「合宿免許WAO」<https://www.mentor.jp/school/08113/spot.html>

「合宿免許プラス」https://www.gasshukumenkyo.jp/kuchikomi/detail_18113.php 「合宿免許アドバイザー」<https://drive-advisor.jp/kanonji/>

「合宿免許ムーチョ」<https://menkyo-mucho.jp/school/kanonji/reputation.html>

自動車学校の
教習以外のこと
(温泉、食事)が
高評価に
つながっている。



新たな価値！→集客と利益

共起キーワード

文章中に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。

実は…観音寺自動車学校は琴弾廻廊¹²⁴も経営する会社が運営している。

温泉・温浴施設。海と夕日と露天風呂。

解放感たっぷりの外湯と内湯あわせて8つのお風呂を楽しめ、

食事も、四季折々の旬な食材を用いてバラエティ豊かな料理が提供されています。

また、近年「日本のウユニ塩湖」という別名でインスタ映えスポットとして注目を集めている父母ヶ浜から車で約10分の場所にあります。



<https://kotohiki-kairo.co.jp>

観音寺自動車学校を経営する、讃岐煉瓦株式会社
代表取締役 社長 川崎隆三郎さん にお話を聞きました。

Q. どうして温泉と自動車学校を組み合わせたのか

A. 「経営母体が同じであることに加えて、温泉と自動車学校を組み合わせることでの話題性と共に香川の魅力を伝えたいと思ったから。」

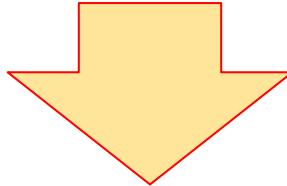
Q. どのような工夫をしているのか？合宿免許に来る人は、例年に比べて、どうか？

A. 「香川が少子化が進んでいるので、地域内だけではなく、遠くからも客を呼び込む必要がある。自動車学校のターゲットは若者なので、SNSや口コミで広まるように工夫をし、受け入れる規模を大きくしたりしている。」「今年6月以降、休校中の大学生が合宿免許にたくさん来てくれた」「今年の受け入れ数は、例年より多くて、こちらも驚いた」



「ビジネス香川」2017.09.07
<https://www.bk-web.jp/post.php?id=58>

掛け合わせることが価値を生んだとするならば
私たちの地域を活かした「掛け合わせ」は、他にもあるのでは…？



観音寺の利点を生かした、

ワーケーション

を提案します！

ワーケーション(Workation)とは、

「Work(仕事)」と「Vacation(休暇)」を合させた造語。普段の職場から離れ、リゾート地や地方で働きながら休みを取るといったワークスタイルのこと。

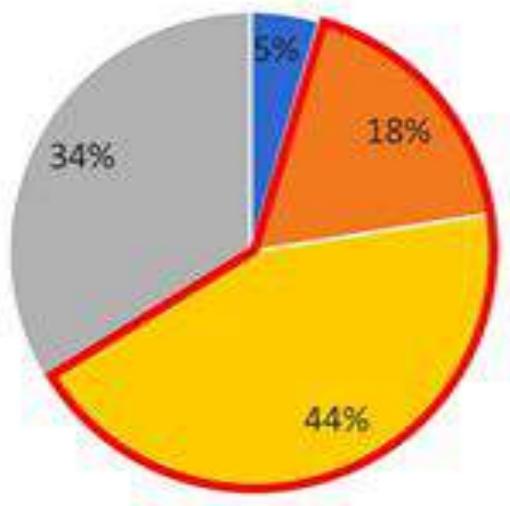


テレワークやワーケーションはどれほど知られているのか。どの程度実施されているのか。

<図1> テレワーク・ワーケーションの浸透度（単一回答）

認知状況		(%)			
	n=	過去に経験はあるが、現在は行うことはない	現在も行なことがある	行ったことはない	「テレワーク」／「ワーケーション」という言葉を知らない
テレワーク	4,342	12.2	24.1	58.5	5.1
ワーケーション	4,342	3.0 4.4	65.0		27.6

企業の導入状況		(%)				
	n=	過去導入していたが、現在は導入していない	導入している	今後導入予定	検討中	導入は予定していないかわからない
テレワーク	4,119	8.0	34.0	1.8 2.9	40.3	13.0
ワーケーション	3,145	2.6 2.6	7.6 2.6	3.9	56.6	26.6



- 既に実施した
- やってみたいと感じるがまだ実施できていない
- 興味はあるが現実的に難しいと感じる
- 興味がない

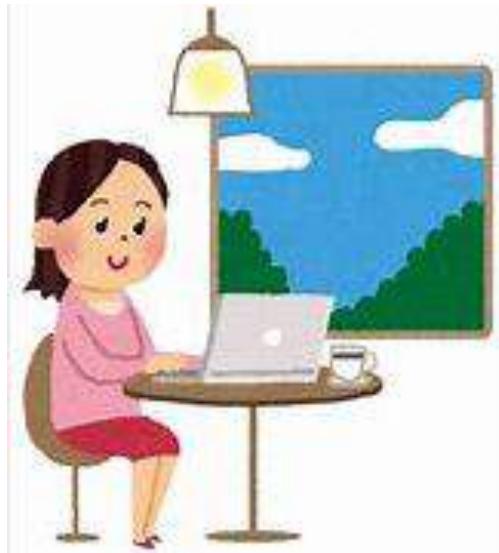
クロス・マーケティングワーケーションに関する調査

<https://www.cross-m.co.jp/report/workstyle/20200904workation/#>

ワーケーションは認知度はあるものの

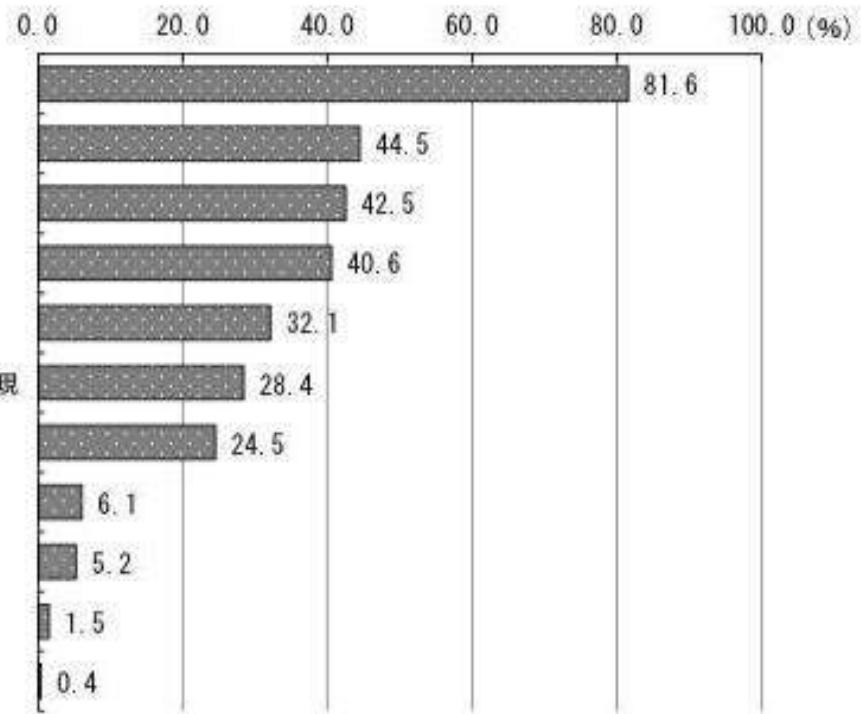
テレワークに比べて実施や実施の予定は少ない
ということがわかる。

在宅テレワークのメリット



- 通勤時間・移動時間の削減
- 育児との両立
- 業務への集中力の向上
- 家族と過ごす時間の増加
- 定型的業務の生産性の向上
- 自律・自己管理的な働き方の実現
- 創造的業務の生産性の向上
- 介護との両立
- 顧客満足度の向上
- メリットを感じていない
- 無回答

在宅におけるテレワークのメリット



様な働き方に関する実態調査(テレワーク)結果報告書(東京都産業労働局)
https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/hatarakikata/telework/01_telework_tyousa.pdf

時間の有効活用や「～～との両立」といったメリット
が多いようだ。

「自宅(室内)」でのテレワークにて課題と感じる点はなんですか？ ※複数回答可(n=927)



アドタイ 2020年10月30日付記事
<https://www.advertimes.com/20201030/article327522/>

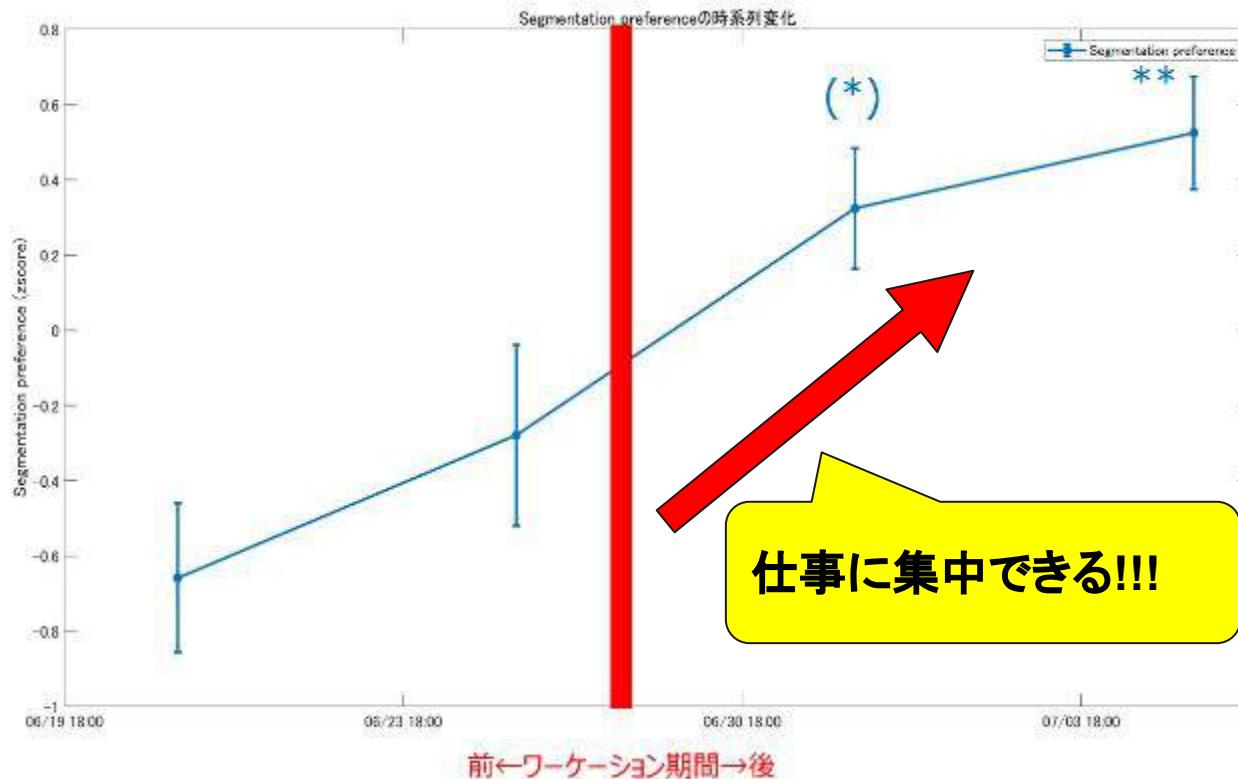
テレワークより、ワーケーションのほうがメリットが多いのでは…？

- ・環境をガラリと変えることで、集中できて生産性も向上…？
- ・仕事と休暇を融合したスタイルも。
- ・リフレッシュや休暇取得も促進でストレス減…？

予想を裏付ける資料①: 生産性がUP

ワーケーション前後のSegmentation preference(公私分離志向)の変化

「仕事の生産性が上がり、メンタルの健康状態の改善につながることが示唆されました」

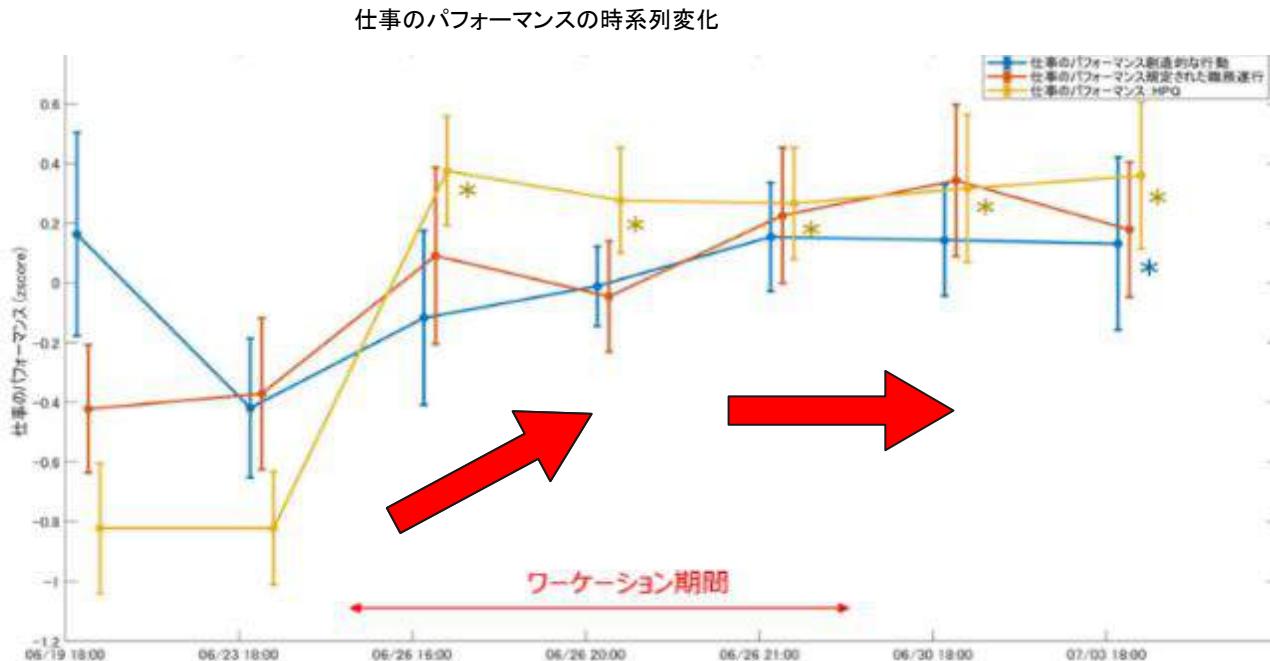


株式会社NTTデータ経営研究所 2020.07.27記事

「ワーケーションは従業員の生産性と心身の健康の向上に寄与する ~ワーケーションの効果検証を目的とした実証実験を実施」
<https://www.nttdata-strategy.com/newsrelease/200727.html>

予想を裏付ける資料②: 生産性がUP。しかもそれが続く。

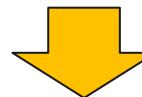
ワーケーション開始後、**仕事のパフォーマンスが向上。**
 それがワーケーション終了後も持続。
 短期的な効果だけでなく、現存効果も期待できる。



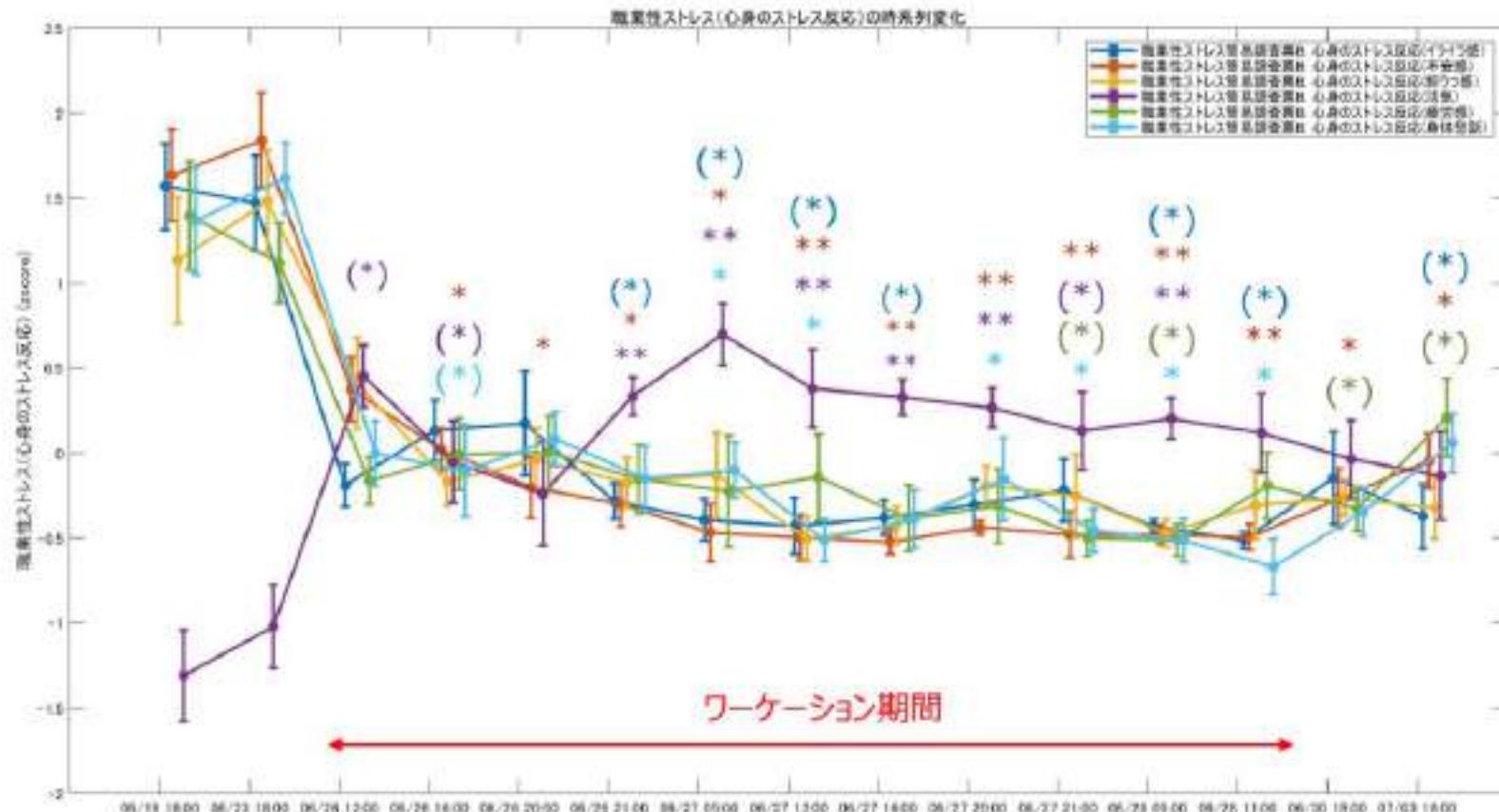
株式会社NTTデータ経営研究所 2020.07.27記事

「ワーケーションは従業員の生産性と心身の健康の向上に寄与する ~ワーケーションの効果検証を目的とした実証実験を実施」
<https://www.nttdata-strategy.com/newsrelease/200727.html>

ストレスは、ワーケーション開始後、低減。
特に**活気**が上がり、**不安感**は期間終了後も低減が持続。



ワーケーションは心身のストレスを低減させ**健康状態を改善**させる効果がある。



株式会社NTTデータ経営研究所 2020.07.27記事

「ワーケーションは従業員の生産性と心身の健康の向上に寄与する ~ワーケーションの効果検証を目的とした実証実験を実施」
<https://www.nttdata-strategy.com/newsrelease/200727.html>

先行研究からわかったこと

ワーケーションによって、喧噪や無機質な都市を離れ、豊かな自然環境や落ち着いた雰囲気の中で働くことで、創造性や生産性が高まる

さらに
滞在地にとっても
人口の増加や**経済振興**
につながるとして期待
されている。

まさに…！



<https://www.shutterstock.com/ja/g/grinvalds>



すでにワーケーションを取り入れている県もありますが…。

和歌山県白浜町

概要: ICT事業推進

内容: ICT企業誘致を推進しており、その例として、町内には国の機関であるNICT(情報通信研究機構)と「Nerve Net(ナーブネット)」と呼ばれる耐災害ネットワークの実証実験を行い、平時は「Shirahama freeWi-Fi」として無料開放し、通信環境面でも先進地として知られている。



https://www.jt-tsushin.jp/article/casestudy_workation/

<http://www.town.shirahama.wakayama.jp/soshiki/somu/kikaku/gyomu/1577342565456.htm>

わたしたちの地域でワーケーションを実施すれば、
もっともっと、満足度の高い
ワーケーションを提供できるのでは…？



わたしたちの故郷
の利点とは..



瀬戸内海を臨む美しい風景と豊かな自然



です。



最大の特徴は、**温暖な気候と穏やかな海**

比較的温暖で年間を通じて降水量は少なく日照時間が多い気候特性をもっています。

海域の幅が狭い(平均30km)等の理由から、うねりが発生しても大きくならないため、自然災害が非常に少ない穏やかな海域と言われています。

香川県内各地の平年値（統計期間：1971年 - 2000年、出典：気象庁・気象統計情報）

平年値 (月単位)		東讃			西讃		
		小豆島 内海	東かがわ市 引田	高松 高松市 香南	綾川 滝宮	多度津	三豊市 財田
平均 気温 (°C)	最暖月	26.6 (8月)	26.8 (8月)	27.4 (8月)	26.6 (8月)	27.7 (8月)	26.5 (8月)
	最寒月	5.1 (2月)	5.1 (2月)	5.3 (1月)	4.3 (1月)	5.8 (1, 2月)	4.4 (1月)
降水量 (mm)	最多月	170.5 (6月)	158.2 (6月)	158.5 (6月)	171.6 (6月)	164.3 (6月)	177.0 (6月)
	最少月	24.7 (12月)	25.4 (12月)	33.8 (12月)	34.7 (12月)	31.7 (12月)	39.0 (12月)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A6%99%E5%B7%9D%E7%9C%8C>



<https://news.1242.com/article/217990>
<https://logcamera.com/nanoshima/>

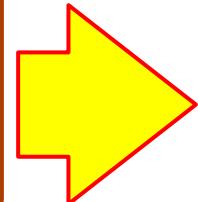
こんな景色を見ながら仕事ができれば、満足度が上がるはず。

もし琴弾廻廊が、 オフィスになって、ワーケーションができたら…。

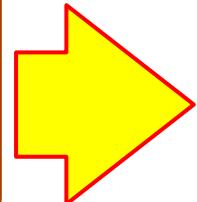
- ・夕日がきれい
- ・穏やかな海(瀬戸内海)
- ・すぐ近くに温泉
- ・おいしい食事

仕事 × **観光**

ワーケーションで
来県者増加
長期滞在者の増加



宿泊者も
増加



地域活性化

琴弾廻廊の食事スペース



<https://www.instagram.com/p/CGPGna-hlvA/?igshid=1hfa57gftb3em>

ワーケーションに来る人を、国内客に絞る必要はない。
そこで外国人2人にInstagramで「ワーケーションに求めること」
を質問しました。

I want a good place.
Like with massage chairs, or
sleeping areas, pools, game
centers etc.
(米国のRoderickさん)

(和訳)
私はマッサージ機があったり、寝る場所があったり、プールやゲー
ムセンターがある場所がいいです。

In my opinion, if I could have a
“workation” I would absolutely go to
Japan. I think pretty scenery and
cafes (with Wi-Fi) are important.
(米国のLunaさん)

(和訳)
私は、もしワーケーションができるのであれば絶対に日本に行きたいで
す。良い景色とカフエ(wifi有り)は重要だと思います。

外国人が求めたこれら。
琴弾廻廊ですべて揃う！

勝機！

「琴弾廻廊」の経営者 川崎隆三郎さんに 感想をいただきました。

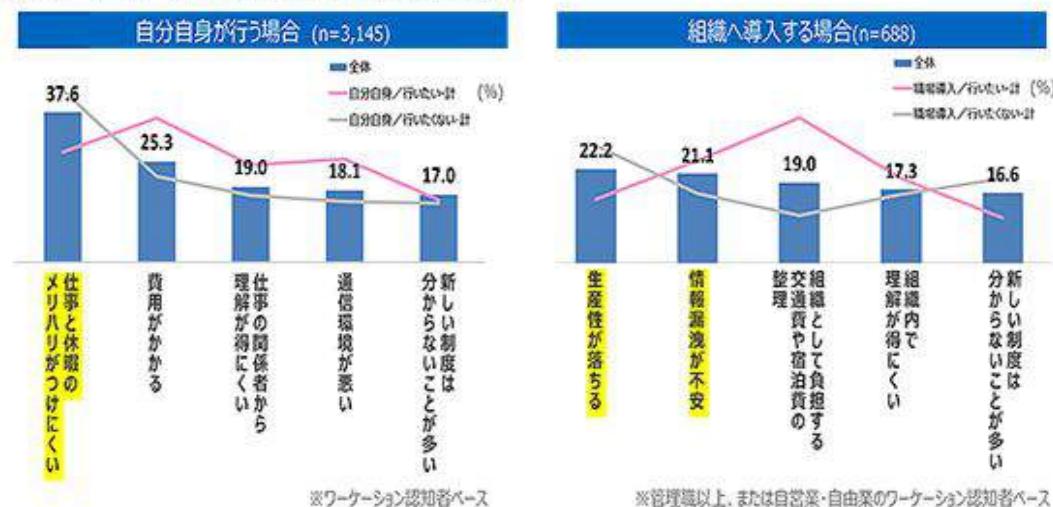
- ・確かに、うちの店には、ワーケーションに必要なものがすべてそろっている。是非わが社で挑戦したい。
- ・うちではすぐにできそうだが、地域の他社でも、同じようなサービスはできそうだ。物がそろっていて、しかもいいロケーションのところはたくさんある。
- ・この取り組みを広げて、もっと県外の人たちに訪問してもらい、香川の良さを知ってほしい。
- ・観音寺は、絶対に魅力的な地域だ。魅力さえ伝われば、もっともっと発展できるポテンシャルがある。
- ・いいアイデアをありがとう！（うれしいっ！）
(すごく乗り気で、お話ししていただきました！)

【今後の課題と感想】

調査を通して、改めて、地域の魅力に気づくことができた。また、私たちのアイデアが、コロナ禍で傷ついた地域の回復のみならず、さらに発展できる可能性があると思った。

一方で、ワーケーションには「懸念」や今後、ビジネスとして成立するかどうかの計算や、ほかの店舗にも広げていけるかの可能性についてもっと詳しく研究を進めたい。

<図4> ワーケーションへの懸念点TOP5（複数回答）



クロス・マーケティング ワーケーションに関する調査

<https://www.cross-m.co.jp/report/workstyle/20200904workation/#>



アドタイ 2020年10月30日付記事

<https://www.advertisers.com/20201030/article327522/>

【参考文献・出典】

「香川県の地域情勢」<https://www.pref.kagawa.lg.jp/toukei/keizai/situation/situation202008.pdf>
 _V-Resas <https://v-resas.go.jp/prefectures/37#population>
 「DREM」<https://drem.jp/schools/148>
 「合宿免許マスター」<https://menkyocamp.com/426.html>
 「合宿免許ネット予約サイト」<https://11knee.com/archives/562>
 「合宿免許LIFE」<https://menkyoenjoy.com/chu-sikoku/kanonji-ds/>
 「教習所の口コミサイト」<https://www.car-schoolgv.net/detail/86146249/reviews>
 「合宿免許WAO」<https://www.mentoro.jp/school/08113/spot.html>
 「合宿免許プラス」https://www.gasshukumenkyo.jp/kuchikomi/detail_18113.php
 「合宿免許アドバイザー」<https://drive-advisor.jp/kanonji/>
 「合宿免許ムーチョ」<https://menkyo-mucho.jp/school/kanonji/reputation.html>
<https://textmining.userlocal.jp/results/dyDM1sFPgDuqjqmNmFvnKZWUt1dibLk6#dendrogram>
 「ビジネス香川」2017.09.07 <https://www.bk-web.jp/post.php?id=58>
<https://www.jalan.net/news/article/424675/>
<https://www.ozycastle.com/rooms/castlestay/>
 多様な働き方に関する実態調査(テレワーク)結果報告書(東京都産業労働局)
https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/hatarakikata/telework/01_telework_tyousa.pdf
 株式会社NTTデータ経営研究所 2020.07.27記事
 「ワーケーションは従業員の生産性と心身の健康の向上に寄与する ~ワーケーションの効果検証を目的とした実証実験を実施」
<https://www.nttdata-strategy.com/newsrelease/200727.html>
<https://www.shutterstock.com/ja/g/grinvalds>
 自治体通信ONLINE https://www.it-tsushin.jp/article/casestudy_workation/
 和歌山県白浜町
<http://www.town.shirahama.wakayama.jp/soshiki/somu/kikaku/gyomu/1577342565456.htm>
 香川県観光協会 <https://www.my-kagawa.jp>
 Wikipedia「香川県」<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A6%99%E5%B7%9D%E7%9C%8C>
 ニッポン放送 NEWS ONLINE <https://news.1242.com/article/217990>
 ログカメラ <https://logcamera.com/nanoshima/>
<https://www.instagram.com/p/CGPGna-hlvA/?igshid=1hfa57gftb3em>
クロス・マーケティング ワーケーションに関する調査
<https://www.cross-m.co.jp/report/workstyle/20200904workation/#>
 アドタイ 2020年10月30日付記事
<https://www.advertisers.com/20201030/article327522/>

【謝辞】

インタビューに答えてくださった
 株式会社讃岐煉瓦代表取締役
 社長 川崎隆三郎 様
 米国 Roderick 様
 Luna 様

ありがとうございました。

令和2年10月28日

福知山公立大学
 「田舎力甲子園」ご担当者様

長崎県立宇久高等学校
 校長 前田 由美子
 (公印省略)

2020地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」に係る書類について（送付）

貴学におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

早速ではございますが下記の書類をお送りします。ご査収の上よろしくご手配を賜りますようお願い申し上げます。

記

探究活動「Uku Labo」について	1枚
第2学年・第3学年の研究概要、活動内容	1部
第3学年制作 宇久島観光案内パンフレット	1部

以上

タイトル 長崎県立宇久高等学校 探究活動「Uku Labo」第2学年・第3学年の取り組み

学校名 長崎県立宇久高等学校

学科名 普通科

学年 第2学年・第3学年

氏名	(第2学年) 上村 盛将	ながまつ ゆうり	はざま ふき	ひらた まなか	ながまつ しゅうと
	(第3学年) 明石 遥	はるか	坪内 景虎	泊 こう	永松 榮人
	永松 陸人	りくと	みかざきゆうや	みずの たかお	山田菜々美
	ながまつ	はた	みかざきゆうや	たかお	やまだ ななみ

担当 川口 恒子（2学年）・増山沙弥香（3学年）

住所 〒857-4901 長崎県佐世保市宇久町平 1042

電話 0959-57-3155

長崎県立宇久高等学校 探究活動「Uku Labo」

自分たちが生活する宇久島の現在・将来に目を向ける、という目的で、平成29年度から行っている Uku Labo には、3つのコンセプトがある。

- ①宇久島にないものを創造する
- ②宇久島の弱みを強みにかえる
- ③宇久島の可能性を広げる

このコンセプトのもと、学年ごとのテーマに沿って、宇久島の自然や、産業・生活について探究活動を行っている。年間の活動を通して他と協同し、対話により考えを深め、試行錯誤する機会を持つことにより、粘り強さや思考力、考えたことを実行する力を身につけることができる」と感じている。

<Uku Labo グランドデザイン>

3 年	Coming Generation Plan 提言 (カミジエネ・プラン)	家庭総合部の活動
2 年	地産食品開発	
1 年	Digital Museum 制作 • USV(Uku Street View) 制作 • 植生調査 など	

地域活性への取り組み～魚醤油の味の追求と効率化～

〈研究概要〉

1. 研究の背景・動機

宇久島は、五島列島の最北端にある、人口約1,900人の小さな島である。島の主な産業は、農業と漁業である。宇久の漁協の方によると、ウニの仲間であるガンガゼが増加し、その結果、アワビやサザエなどの漁獲量が減少しているという。そのため、ガンガゼの駆除を定期的に行っているが、駆除されたガンガゼの活用方法はなかった。3年前、当時の宇久高等学校の2年生が、宇久漁業集落の協力のもと、この駆除されたガンガゼを用いた魚醤油の開発に取り組み、さらにその魚醤油を活用したレシピも考案した。それ以降、この研究を2年生が引き継ぎ、毎年魚醤油の醸造に取り組んでいる。今年度も、よりおいしい魚醤油の醸造を目指し、活動している。

2. 目的・意義

市場での商品価値が比較的低い魚などを魚醤油として加工し、有効活用する。また、魚醤油を使用したレシピを考案し、魚醤油の汎用性や利用価値を高める。

3. 研究方法

①魚醤油の醸造

原材料としてガンガゼを使用する。また、さらなる味の向上を目指し宇久近海でよくとれるイサキを原材料として用い、食塩水と乾燥麦麹を混ぜ合わせて約5か月間発酵させ、2種類の魚醤油の醸造を計画した。

②新醸造法

令和元年度、東京農業大学の論文を参考に、長崎県立大学の松澤先生のご指導のもと、新醸造法に取り組んだ。新醸造法では、魚肉と麹、食塩を混ぜ、55度で12時間放置し、原料の成分を強制的に分解させる。その後、乳酸菌や麹を添加し、1ヵ月間発酵させて醸造する。温度を一定に保つためウォーターバスという機械を使って原料を強制分解した。発酵用乳酸菌の代用として、令和元年度はカルピスの原液を追加したが、失敗したため、今年度はヤクルトで代用した。1ヵ月様子を見て、火入れ・ろ過を従来の醸造法と同様に行った。

③魚醤油を使ったレシピの考案

二次加工品として魚醤油を活用したドレッシングのレシピの完成を目指した。

〈平成29年度～令和元年度のまとめ〉

1. 過去の醸造法について

魚醤油の原料となる魚は、基本的には売り物にはならないものを使用している。そのなかでも特にガンガゼは駆除後の処理に困っていた。そのため、毎年ガンガゼを魚醤油の原料として使用している。過去3年間の仕込み期間、魚種については以下の表の通り。

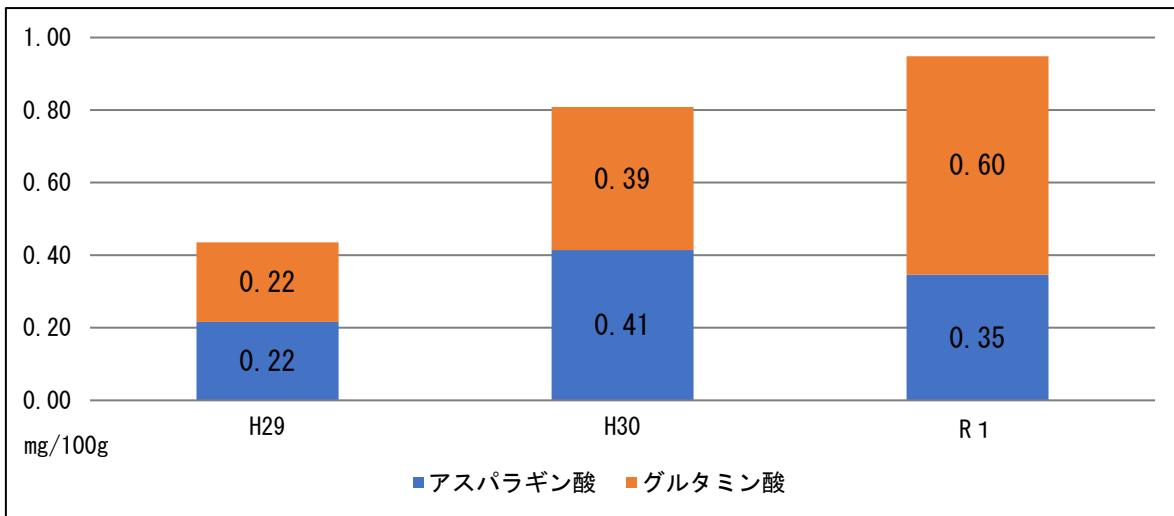
〈表1：年度別の仕込み期間及び魚種のまとめ〉

年度	仕込み期間	魚種		
H 29	3ヶ月	<p>〈ガンガゼ〉 ウニの仲間であるが、食用としてもあまりうま味がなく、とげの先に毒がある。</p> 	<p>〈レンコダイ〉 主に宇久地域で漁獲される魚で、水分量がやや多いのが特徴で年間を通して味が安定している。</p> 	
H 30	6ヶ月		<p>〈イラ〉 体側に暗色とそれに接する白色帯が斜めに走るのが特徴で、岩磯域に生息している。</p> 	<p>〈オジサン〉 まるで人間のような顔をしていることから、この名前がつけられうま味が少ない。</p> 
R 1	5ヶ月		<p>〈タチウオ〉 年間を通して味がよく、体側に暗色とそれに接する白色帯が斜めに走っている。</p> 	<p>〈エソ〉 市場での価値が低い。旬は秋から春。卵巣は美味。</p> 

2. 魚醤油のアミノ酸分析

「うま味」は5つの基本味（甘味・酸味・塩味・苦味）の1つである。魚醤油にもうま味成分が含まれている。ここでは、タンパク質を構成するアミノ酸に含まれる、うま味物質として知られているグルタミン酸とアスパラギン酸を取り上げ、過去3年間の比較をした。それをまとめたのが、次のグラフである。この表から、うま味がどれだけ増加したかがわかる。

<グラフ1：ガンガゼのアミノ酸分析結果>



(考察)

- ・H29年度は、夏の3ヶ月で一気に発酵させたため、うま味成分が思うように出なかつたのではないかと考えた。 → ゆっくり発酵させた方がうま味成分は多く出る。
- ・H29、H30年度は、ガンガゼを殻ごと粉碎し使用していたが、R1年度からは身のみを使用したのでうま味成分のさらなる増加に繋げられたのではないかと考える。

3. 魚醤油づくり以外の取り組みについて

〈平成29年度〉

①二次加工品

- ・魚～T H E (ギョーザ)：宇久で獲れた新鮮なブリと隠し味に手作り魚醤油を入れた魚型餃子。

②PR広報

- ・QRコード付きラベル作成

魚醤油のパッケージの一部にQRコードを付けた。読み取ると魚醤油づくりに携わった生徒が挨拶をする動画が流れる。そのことにより、買い手に安心して使ってもらうことができるとともにPR活動もすることができた。

- ・アイランダー

アイランダーという、全国の島の人が東京に集まり、その島の特産品を発表、販売するイベントで魚醤油も出品した。そこで、「来年も作るなら、私の店で使用させてください」という声もかけてもらった。

▼ (左から) 魚～T H E、魚醤油ラベル・ガンガゼ、魚醤油ラベル・レンコダイ



〈平成30年度〉

①二次加工品

- ・ガンガゼ魚醤油を使ったお菓子作り

先生方からアドバイスをもらいながら、2種類のお菓子を制作。マドレーヌとスイートポテトを、何度も試作を重ね、魚醤油の量の調節に苦労した。スイートポテトはクッキーで包むことでしっとりとした食感を目指した。

- ・ドレッシング作り

ごまドレッシング、中華風醤油ドレッシングなど、魚醤油との相性を考え、配合を行った。

②PR広報

- ・パッケージデザイン

全員で一からデザインを考え、かわいいパッケージを製作。魚種による色分け、文字を筆で手書きし、それぞれの魚の名前を使ったギャグなどを織り込んだ。また、前年度に引き続き、「魚醤油ができるまで」の動画を視聴することができるQRコードを付けた。

- ・あられ茶房 柿田さん考案！家で作れる簡単魚醤油レシピ

島にある「あられ茶房」というお店の店主にご協力を来ていただき、魚醤油を使用したレシピを考案していただき、発表会で披露した。

▼ガンガゼ魚醤油を使ったお菓子（左から、マドレーヌ、同パッケージシール、スイートポテト、同パッケージシール）



▼H30年度のパッケージデザイン（左からガンガゼ、イラ、オジサン）



▼「あられ茶房」に考案して魚醤油を使った料理の一部。

（左からスタミナマヨネーズ、島野菜と魚醤のペペロンチーノ、沖あらかぶと魚醤油のご飯）



〈令和元年度〉

①二次加工品

- ・うみのふりかけ 魚醤風味

ぶりの身をほぐし、調味料を加えて、水分が蒸発するまで炒めたら完成。しかし、一週間たつと生臭くなることから鷹の爪、しょうがを加えることにした。これにより生臭さは消え、おいしいふりかけとなった。

- ・魚醤油マフィン

魚醤油の量を調節し、魚醤油の風味がほのかにするおいしいマフィンに仕上がった。

②新醸造法

新しい取り組みとして、醸造法の見直しを行った。詳細は次項で述べるが、発酵用乳酸菌を入手しやすいカルピス原液で製造したものの、上手く発酵させることはできなかった。この課題は次年度へ引き継ぎ、発酵用乳酸菌を別のもので試すということになった。

▼（左から）うみのふりかけ、同ラベル、魚醤油マフィン



4. 今後（R2年度）の方向性

旧醸造法については、昨年と同様のやり方で行う。また、新醸造法については、発酵性乳酸菌をカルピスからヤクルトに変更する。二次加工品については、魚醤油や、宇久産の福原オレンジ、椿油をベースにドレッシングのレシピを考案する。

〈新醸造法〉

1. 経緯

従来の方法では魚醤油の醸造に半年ほどかかる。そこで昨年度、作業の効率化を追求する取り組みとして、東京農業大学の論文を参考に、長崎県立大学の松澤先生のご指導のもと、新醸造法に挑戦した。しかし、思った結果がでなかつたため、今年度、材料を変更して再挑戦することとなった。

2. R元年度の醸造法

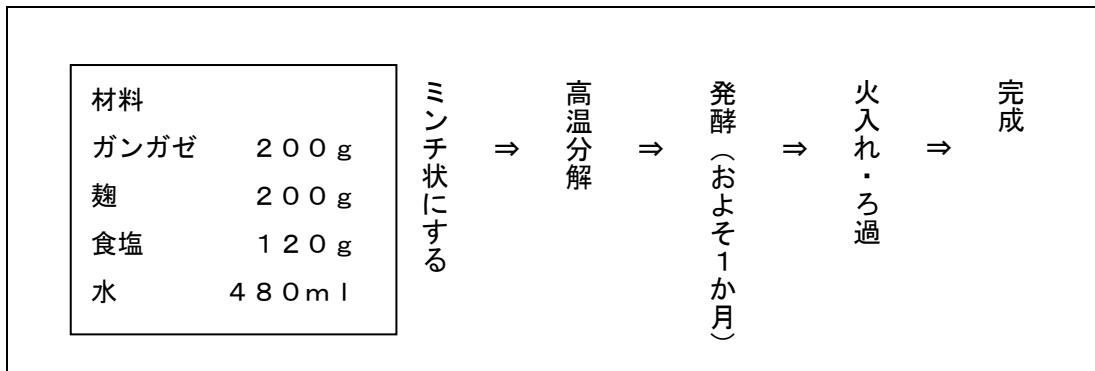
○方法

原料（ガンガゼ）に麹と食塩を加え、55度で12時間保持することで原料を強制的に分解させた後、対塩性乳酸菌と酵母を入れ発酵させた。発酵用乳酸菌は入手できなかつたため、身近にある入手しやすいカルピスを使用した。また、温度を55度で12時間保つためにウォーターバスを使用した。

○製造工程

製造の工程は、下の図のとおりである。

〈図1 新醸造法の材料、製造工程〉



○考察

醸造には失敗したため、材料の比、発酵期間、ウォーターバスの温度設定を改める必要がある。また、カルピスを発酵用乳酸菌として活用できていたのか検証する必要がある。

3. 今年度の醸造法

○方法

今年度は原料にイサキとガンガゼを、発酵用乳酸菌の代わりにヤクルトを用いた。製造工程は昨年度と同様の手順で進めた。

○考察

成分分析はこれからであるが、味見をした結果、十分に醤油と言えるものに仕上がっていった。醸造に成功したと言える。これにより、今年度代用品として使用したヤクルトは、発酵用乳酸菌の代わりとして利用可能であると結論付けた。

〈今年度の取り組みについて〉

1. 魚醤油づくり

ガングゼ殻割作業（5月16日）

実際に漁協に行きガングゼの殻割体験をさせていただいた。地域の方にも協力していただき、大変だったが大量のガングゼの殻を1時間程で割り終わった。

仕込み

以下の手順で行った。

- ①「ガングゼ」と「イサキ」をミンチ状にする（写真1）
- ②ミンチにしたもの、塩、麹、水を混ぜ合わせる（写真2）
- ③発酵（定期的に攪拌作業*を行いながら約6ヶ月熟成）（写真3）

*攪拌作業：初めの2週間は毎日、その後は2週間に1度かき混ぜる。これを醤油になるまで繰り返す。



（写真1）



（写真2）



（写真3）

ろ過～瓶詰め

今年度はまだろ過までは終わっていないが、例年の作業工程は以下の通り。（写真は過去のもの）

- ①粗ろ過：まず魚醤油を目の粗いネットなどで搾り出す（写真4）
- ②火入れ：90℃になるまで熱し、60℃以下になるまで冷却する（写真5）
- ③ろ過：コーヒーフィルターを用いて魚醤油をろ過する（写真6）
- ④魚醤油が澄んだ色になったらOK
- ⑤瓶詰めをしたら完成！（写真7）



（写真4）



（写真5）



（写真6）



（写真7）

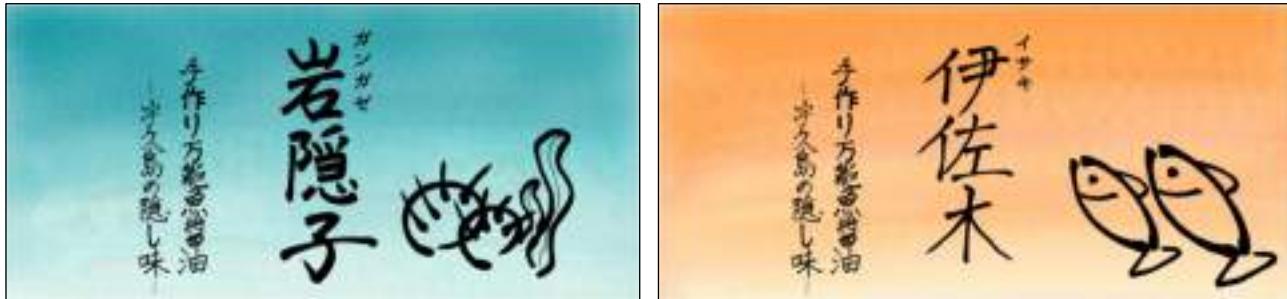
2. 魚醤油ラベルデザイン作成

ラベルデザイン作成にあたり、宇久町観光協会の方にデザインについての授業をしていただいた。まず誰をターゲットにするかを決めるところが良いとのことだったので、ラベルを作る際に、まず、誰をターゲットにすべきかを考えた。その結果今年度も地元の祭りで出品する予定だったので地元の人や宇久島にゆかりのある人ということになった。今年度のラベルデザインのポイントは以下の通りである。



- ①例年通りならば、正面に「魚醤油」という文字を入れるが、今年は魚醤油の存在やこの活動を知っている人も多くなってきたことを考え、魚醤油という文字はあえて正面に入れないことにした。
- ②「岩隠子」や「伊佐木」のように字をあえて漢字にして例年との違いを出し、より魚醤油の持つ和のイメージを前面に押し出すことにした。
- ③文字やイラストは例年にならい手書きにすることにした。
- ④背景色は、ガンガゼが宇久ブルー（現在宇久島がイメージカラーとしている）にならい青色、イサキは福原オレンジ（宇久の特産品。今年度はドレッシングで使用）をイメージしたオレンジ色にした。

今年のパッケージは下のようになった。



3. ドレッシング開発

二次加工品として今年は魚醤油を使ったドレッシングに挑戦した。使用するのは主に「魚醤油、福原オレンジ（地元産）、椿油」である。これに黒コショウや一味、黒酢などの調味料を加え味の調整を行った。また配合比も自分たちで、一回ずつ味を確かめて決めた。完成したドレッシングの試食には先生方にも協力していただき、感想やアドバイスをいただいた。

人気のあった配合比は、【魚醤：オレンジ果汁：椿油 = 1 : 1 : 1】+【黒コショウ】。このドレッシングはまだ商品化には至っていないので、これから商品にできるよう研究を続けたい。



宇久島PRに向けた地域活性プロジェクト ～私たちだから作れる観光パンフレット～

1. 研究の動機

私たちが住む宇久島は、少子高齢化や産業の衰退により活気を失いつつある。元々釣りを目的とした来島者はいるものの観光を目的とした観光客は少なく、また、今年は新型コロナウイルスの影響により、観光客が来ることを見込むのが難しくなった。そのため、今の宇久島にないものを作ることで、活気を取り戻すことを狙いとして、島外の人に宇久島の良さをアピールできるパンフレットの制作活動に取り組むことにした。この活動では、宇久町観光協会の皆さんにご指導をいただきながら、高校生目線かつ自分たちの声を文字で直接伝えられるようなパンフレットを、高校生自身で作ることを目的とした。このことにより、地元の魅力を再発見できるとともに島外の人に宇久島について興味を持ってもらい、来島につなげ、宇久島に活気を取り戻させることができると期待できる。

2. 研究計画

第1回ワークショップ（3月～4月）

- ・島の現状について
- ・企画考案

第2回ワークショップ（5月14日）

- ・宇久町観光協会 境 長武様、安永 優希様による講義

第3回ワークショップ（5月28日）

- ・宇久町観光協会 安永 優希様によるデザインについての講話

パンフレット制作活動（5月下旬～7月下旬）

- ・個人ページの作成
- ・表紙写真の撮影
- ・ページの順番の決定

観光協会にプレゼン・提案（7月31日）

- ・活動のきっかけについて
- ・パンフレットの魅力

パンフレットの修正・改良（8月下旬～10月上旬）

- ・個人ページの推敲
- ・表紙の改善

パンフレット完成（11月予定）

3. 研究活動

- | | | |
|----------------|-------------------------------|------------|
| ① 制作物決定 | ・高校生らしさを生かせるもの | ・制作物の提案 |
| ② 個人ページのテーマの設定 | ・パンフレットの内容【海・食べ物・街並み・畜産 etc.】 | |
| ③ 取材活動 | ・個人の取り上げる場所、ものの選定 | ・写真撮影 |
| ④ 執筆活動 | ・文章の推敲 | ・ページのレイアウト |
| | ・ページの構成 | |

4. 成果と課題

- ・パンフレット制作を通して、地元の魅力を再発見して「宇久にしかないもの」を見つけるということについて考えることができた。
- ・宇久島のことを全く知らない人に島の良さを伝えるために、島の高校生ということを生かしたり、高校生の中でも一人ひとりの個性が出ているページを作ったりすることで、手に取ってもらいやすくなるよう工夫することができた。

今後は、成果を宇久町観光協会と共有し、宇久島への観光客誘致の際に使ってもらうことで、宇久島の現状の改善につなげていきたいと思う。

(1) ワークショップ

Uku Labo 事前学習① (3~4月)

1回目のUku Labo事前活動では、宇久島の現状について見つめ直し、振り返ることで、これからの宇久島の未来について意見を出しました。宇久島の現状は人口減少、少子高齢化により産業の衰退が進むことで来島者が少なく、島の活気がないという意見が多くありました。

そこで、新型コロナウイルスによる休校期間中に宇久島に活気を戻すための案を各自で考え、観光客を増やすことができれば、活気を取り戻せるのではないかと考えました。今年度も、先輩方と同じように地元の魅力をPRし、観光客を誘致する活動に力を入れ、観光客の増加による島の活性化を目指すことにしました。



Uku Labo 事前学習② (5月14日)

宇久町観光協会の境長武様、安永優希様をお招きし、ワークショップを行いました。ワークショップでは、大きく2つのことについて話がありました。1つ目は、「宇久島に観光客がくるためには?」ということについてです。宇久町観光協会の取り組みとしてSNSの活用や旅行会社等に宇久島をアピールをしに足を運び、広く広報活動をしていることを知りました。私たちも、SNSを活用することにたどり着いたのですが、SNSにはデメリットが多いという話を聞きました。デメリットとして、検索をしないと見てもらえないこと、嘘の情報が多いなどの問題がありました。2つ目は、「宇久高生だからできることは?」ということについてです。この宇久島に長く住む私たち高校生が、自分たちしか知らない島の魅力を島外の方に知ってもらうためにはどのような方法があるのかということについて考えました。そこで、「宇久高生の生の声を伝える」ことをコンセプトに活動に取り組もうと考えました。



学んだこと

- ・観光客の誘致では、クチコミ、島民の生の声を伝えることで情報の信用度が高くなることを学びました。
- ・PR活動で、SNSを使用する発想は現在では必須だが、検索をかけないと見てもらうことができないという問題が出てくるということを知りました。

(2) デザインの講義・個人ページの作成

活動の方向性を決める（5月）

宇久町観光協会の境様の講義を受け、クラス全員で話しあった結果、

- ・誰にでも手に取ってもらいやすいものにしたい
- ・18年間過ごしてきて発見した宇久島の魅力を高校生目線で発信したい
- ・自分たちの声を文字に起こし、島外の方に宇久島の魅力を伝えたい

という3つの観点から手作りのパンフレットを作成し、宇久町観光協会様の支援をいただきながら、世の中に広めていく方向性に決定しました。

デザインの講義（5月28日）

宇久町観光協会の安永様をお招きして、デザインの講義をしていただきました。

〈講義の内容〉

- ① プレインストーミングを行う
→宇久島の魅力、宇久島といえば何か、について意見を出し合い、自分たちが何を伝えたいかを決める
- ② 字体・色の力について
→字体や色を変えることで、見ている人に与える印象が変わる
- ③ 画像の配置について
→画像を入れることや、配置を変えることで、見る人の興味や関心を引き出すことができる
- ④ ページのレイアウト
→ページ全体を縦書きにするか横書きにするかを決め、読者の目線の動きを考え、配置する。

講義を受けた後、一人一人がおすすめのものを紹介するページを作成することに決めました。



個人ページの作成（6～7月）

講義内容を参考にし、6月から7月まで個人ページの作成に取り掛かりました。

私たち10人が宇久島の好きな場所や穴場スポットだけでなく、宇久島伝統の行事などについても詳しく紹介しています。



学んだこと

パンフレットを手に取ってくださる方の目線になり、字体や画像の配置を工夫することで、見やすさが変わることが分かりました。また、ページのすみずみまで気を配ることの大切さを学びました。

(3) 採用に向けてのプレゼン・修正

プレゼンテーション（7月31日）

宇久町観光協会様の事務所を訪問し、作成したパンフレットについてプレゼンテーションをさせていただきました。

宇久町観光協会様に自分たちが作ったパンフレットを持ち込み、新しいPR活動の材料として採用していただくということを目的に、プレゼンテーションを行いました。自分たちのパンフレットの魅力として、「宇久島に住んでいる高校生」という信頼度を生かしたものになっていること、自分たちが宇久に住んでいて実際に体験したことを紹介したものであることを伝えました。

その結果、提案の採用にこぎつけることはできましたが、島外の方に内容や場所が伝わりにくいという指摘を受けました。



パンフレット修正（8月下旬～10月上旬）

プレゼンテーション後、作成したパンフレットにさらに助言をいただき、その指摘をもとに個々のページを修正していました。また、パンフレットの表紙には全面にクラス写真を載せていましたが、それでは宇久島をPRした観光パンフレットであることが伝わりづらいということや、インパクトに欠けるため他のパンフレットに見劣りしてしまうという指摘をいただきました。多くの方に手に取ってもらえるような表紙にすることの重要性を学び、表紙の変更を決めました。風景を入れた方が一目で宇久島のパンフレットであることが分かるという助言から、宇久島のきれいな風景写真をみんなで選び直しました。表だけでなく背表紙も自分たちの手作り感を出すために手書きの文字やコメントを使用し、見ていただく方に親近感を持っていただけるように工夫しました。また、字体や写真の配置など、デザインについては再度、安永様に助言をいただきながら、作業を進めていきました。



学んだこと

今回、自分たちの作ったパンフレットについて宇久町観光協会様にプレゼンテーションさせていただき、相手を納得させる話し方や順序を考えて説明することの難しさを学ぶことができました。また、作成したパンフレットの修正では、多くの方の手に取ってもらうために一目で宇久島のパンフレットと分かるように工夫することを学び、今までになかった視点を持つことができました。

〈H30年度の活動〉

宇久島の未来をつくるプロジェクト

1. 研究の動機

私たちが住む宇久島では、少子高齢化が進み、人口の半分以上が65歳以上の高齢者である。また、高校卒業後には島を離れる生徒がほとんどであり、若者の流出は喫緊の課題である。このような現状のもと、雑誌を通して多くの人に「宇久島の魅力を知ってもらい宇久島の活性化を図ること」をねらいとして、海風舎の全国版雑誌『島へ.』の執筆に取り組むこととした。この活動を通して高校生は、雑誌『島へ.』を発行する海風舎と一般社団法人3710Lab(みなとラボ)の皆さんにご指導をいただきながら、自らの手で、カメラマンや記事デザインなどの雑誌作成の全工程を手がける。このことにより、高校生自身が宇久島の魅力を再発見すると共に、地域のよりよい未来を創造する足がかりとすることが期待できる。

2. 研究計画

第1回ワークショップ	(4月12日)	・島生活を考える	・企画考案
第2回ワークショップ	(5月24日)	・記事分担	・レイアウト
講話「宇久島について」	(5月30日)	・宇久島の産業	・歴史・文化について ・宇久島の魅力と課題
第3回ワークショップ	(6月7日)	・取材テーマの選定	・取材先の選定 ・取材先の予約
第4回ワークショップ	(8月1・2日)	・取材の実施	・原稿執筆
第5回ワークショップ	(10月8日)	・紙面のレイアウト	・文章の推敲
産業祭	(11月11日)	・パネル作成	・販売予約 ・宣伝
Uku Labo 発表会	(1月28日)	・活動報告	・販売

3. 研究活動

① テーマ設定

- ・島生活を考える
- ・企画考案
- ・記事分担
- ・各記事レイアウト

② 取材活動

- ・取材テーマの選定
- ・取材先の選定
- ・取材先の予約

【魚醤・神楽・かんころもち・インスタ映えスポット・魚・捕鯨】

③ 執筆活動

- ・紙面のレイアウト
- ・文章の推敲

④ PR広報

- ・文化祭(CM作成)
- ・産業祭(PR広報パネル作成、宣伝、販売予約—58冊)
- ・各新聞社記事掲載【離島経済新聞・長崎新聞・西日本新聞】
- ・Uku Labo 発表会(宣伝・販売—48冊)

4. 成果と課題

- ・講話や取材を通して、宇久島が抱える課題や魅力について自らの問題としてより深く考えることができた。
- ・不特定多数の読者に宇久島の魅力を伝えるという視点のもと、テーマ設定、取材、記事の執筆、レイアウトを自ら手がけることで、雑誌作成の過程を知ることができた。
- ・雑誌作成の経験を広報活動やその他の活動に活かすことができた。

〈 R元年度の活動 〉

UKU Love Week ~宇久島をPRする動画制作~

1. 研究の背景・動機

私たちが住む宇久島は、著しい人口の減少に苦しんでいる。そのような状況を少しでも変えるべく、私たちは宇久島PRの動画制作に取り組んだ。宇久島の存在を知ってもらうために、全国的に有名な大会である観光甲子園の入賞を目指すことにした。

2. 目的・意義

- ・動画を作ることで、島の存在を知ってもらい、「島民の温かさ」、「自然の豊かさ」、「宇久島独自の伝統文化」の3つの魅力を伝える。
- ・宇久島の現状を再認識し、島の活性化策を考案する。

3. 研究方法

○Uku Labo 事前学習会(3月13、19、26日)【講師：宇久町観光協会 檜垣督氏、宇久神楽保存会 平田次博氏】

- ・訪日する外国人観光客の傾向について学び、ツアーのメインを神楽に決定した。

○取材活動(5月15日)

- ・宇久島のお食事処（あられ茶房、レストハウスもりた）を訪問し、取材を行った。

○応募フォーム・絵コンテの制作(～7月)

- ・動画のテーマである7日間の体験ツアーから一部分を切り取って動画の流れを決定した。
- ・動画の内容は絵コンテで表現し、カットごとの様子が一目で分かるように工夫した。
- ・自分たちの行ってきた活動を簡潔かつ分かりやすく説明するよう心がけ応募フォームを制作した。

○動画撮影・編集(～11月)

- ・場面設定が分かりやすいようにアングルなどを工夫し、撮影を行った。
- ・動画の流れに合わせて、カットごとの繋ぎの部分に説明を加えるシーンを挿入した。
- ・外国人を対象とするため英語による説明文を作成し、ALT (Ivy Jenn先生) のチェックを受けて、何度も校正した。
- ・見る人に疲労感を与えないようシーンごとの切り換え効果を統一した。

○オリジナルソングの制作

- ・著作権の問題上使用できる歌に制限があったため、ALT (Ivy Jenn先生) にオリジナル曲を提供してもらい、歌詞をつけてオリジナルソングを制作した。

4. 成果・課題

- ・観光甲子園決勝大会に出場することはできなかったが、PR動画制作を行うことで島の現状をより深く知り具体的な改善策を考えることができた。
- ・島の魅力を再発見し、動画制作の下調べや撮影に協力していただいた地域の方々と交流を深めることができた。
- ・「私たち自身に出来ることは何か」を考え、行動することができた。
- ・視聴者を意識し、工夫する必要性を学んだ。

5. 結論・今後の展望

地元の高校生が島の活性化に向けた活動に取り組むことで、若い世代である私たちでも宇久島の未来を思い島の活性化に貢献できることを改めて感じた。

宇久島

UKU ISLAND

~幸せのおすそわけ~

No.
Date

五島列島の最北端に位置する離島。

それが私たちが暮らしている宇久島です。

皆さんに私たちの宇久島のことを知ってほしくて

宇久高校3年生10名で冊子を作りました。

どうぞ読んでいってください。



撮影地：蒲原港



UKU ISLAND ~幸せのおすそわけ~

UKU MAKES U HAPPY !

うつくしい海や白浜、色とりどりの草花に会える
 くってもくっても飽きない魚、良質な牛を育て
 じんわり温まる島民の優しさにふれられる
 まるい夕日に心癒され、また来たくなる場所。

おおくぼ
大久保の機場：(か)げとら
P. 5

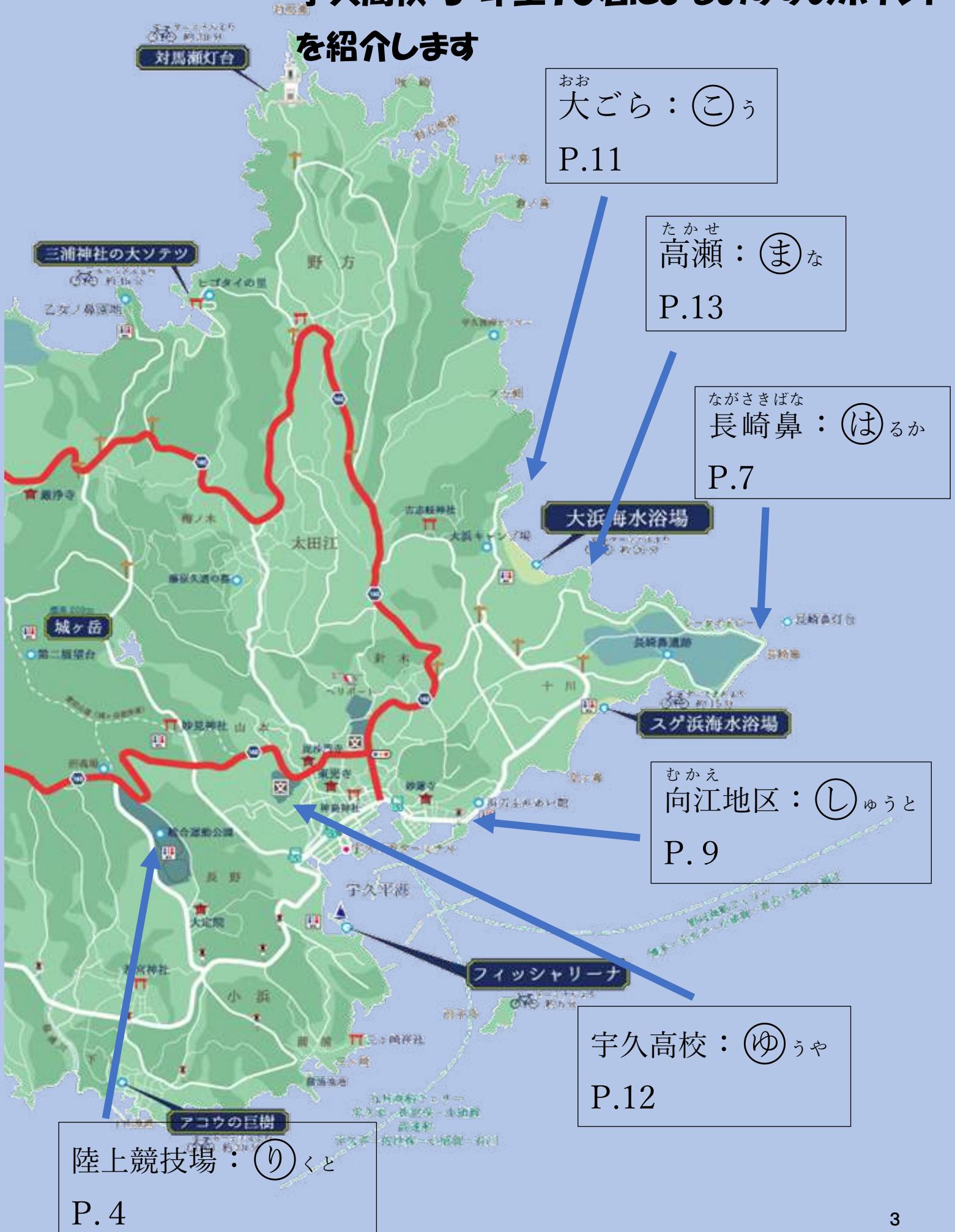
牧場：(あ)ゆみ
P. 8

こうのうら
神浦地区：(な)なみ
P. 10

宇久島神社：(た)かお
1000m
P. 6



宇久高校 3年生10名によるおすすめポイントを紹介します



陸上競技場 : りくと
P. 4

おお
大がら : こう
P.11

たかせ
高瀬 : まな
P.13

ながさきばな
長崎鼻 : はるか
P.7

むかえ
むかえ
向江地区 : シゅうと
P. 9

宇久高校 : ゆうや
P.12

160
宇久っ子の1日

宇久っ子たちは島でこんな一日を
過ごしています
みなさんも宇久島に来島した際には
参考にしてみてください

6：00 鳩の鳴き声（ほーほー、ほっほー）で目が覚めます
6：30 友達と盛州公園でラジオ体操
7：30 朝ごはんは先週の磯でおじいちゃんがとってきた
ウニをご飯にかけていただきます

友達と大浜海水浴場で海水浴

9：00

12：00 お昼ごはんは昨日おばあちゃんが作ってくれた
五島の郷土料理 かんころもち

友達とサイクリング
シーサイドロードを爆走

13：00

15：00 ふれあい館でおやつのアイスクリーム

16：00 毎年恒例の祭り「ぎおん様」で神輿をもった

今日は野方^{のがた}周りで、各地区が水やジュース、
おにぎりなどを準備してくれていた
島中を、神輿を持って歩くから疲れるが、たくさん
の人に会えてとても楽しい

陸上競技場で天体観測
満天の星空に大満足

19：00

今日の夜ごはんはお魚
特にヒラスの刺身が甘くて絶品

21：00

23：00 虫たちの鳴き声を聴きながらぐっすり眠ります

宇久の夏 ～海～

1. 宇久にある海紹介

私たちの住む宇久島には、きれいな海が沢山あります。代表的な場所は大浜海水浴場や、スゲ浜海水浴場です。大浜海水浴場は、砂浜が広く遠浅の海で、子どもから大人まで安全に楽しく遊ぶことができます。スゲ浜海水浴場は、「レストハウスもりた」という飲食店もあり、昼間綺麗な海を満喫し、夜になれば、美味しい料理を食べることもできておすすめです。夏になると沢山の人が海水浴を楽しむのに訪れていてます。海水浴をするだけではなく、インスタグラムで映えた写真をアップすることもできるので、写真が好きな人、海水浴が好きな人にはおすすめです！！！

2. 私が行くおすすめの海

私がよく行く海は、私が住んでいる大久保^{おおくぼ}という地区の磯です。大久保の磯には、魚や、サザエ、ウニなどが沢山います。夏休みや、暑い休日などに潜りに行っています。少し深いところに行けば、石鯛や、アラなどがよく泳いでいるのを見ます。少し潜らないといけないくらいの深さの大きめの岩の間などを覗いてみるとサザエやアワビなどがいたりします。初夏の磯時期になると、魚や、サザエなどに加えて、ウニを捕っています。ウニは足がつく浅瀬の岩の裏や、間にもたくさんいるので、それを捕っています。しかし、磯でウニなどを捕る場合は、漁協の許可が必要となるので勝手に捕ってはいけません。磯場には沢山の生物がいるのでそれを見たりするのが楽しいです。大久保の磯はおすすめです！！！



3. 夕方見る私のおすすめの海

私は悩み事などがある時は、歩いてここに行きこのアングルで海を眺めるということをしています。この場所では、夕方に海を見るのが一番好きなのですが、昼間に見ても、きらきらと綺麗な海を見ることができます。ここは大浜海水浴場やスゲ浜海水浴場などの定番の場所ではなく、知る人ぞ知る穴場の場所です。この場所でこの角度で海を見ると、もやもやしていることや、むかむかしていることなど、悩み事が全てなくなって、また明日も頑張ろうという気持ちになるので、とてもおすすめです！！！



※写真はすべて私が撮ったものです

私が体験した宇久島の祭り

なぎなた踊り

「本飯良地区の八幡神社に奉納する踊り」<時期：10月中旬>



踊りの最初にある問答は、義経と弁慶が登場して、互いに大きな声で問答をしているため、とても迫力がある。この長い掛け合いは覚えるのが大変である。精一杯声を出すことで緊張感のある踊りの雰囲気を作ることができる。中学3年生で小太刀のパートリーダーをしたときは、語尾を力強く言うことを意識しながら問答をした。

問答のセリフの一例：「おそれをおーなして、とおしいーたり」「あずまにくだるべんけいはあー・・・」

しゃぐま棒引き

「宇久島神社例大祭で、神浦郷・神浦町・飯良の各地区が奉納する踊り」
<時期：10月下旬>



しゃぐまはとても重く、投げたり受け取ったりすることは難しい。なので、本番数日前の練習では、投げる人と受け取る人が息を合わせるように練習する。長いしゃぐまを一斉に投げるところは、祭りの中でも迫力がある。

人口減少の影響により、宇久島でしか見ることができないこれら多くの祭りで、沿道に来る人も年々減っているように感じる。継承することも難しくなっているけど、だからこそ高校生である自分たちが伝統を守り、次の世代に継承していきたい。

夏場の磯を満喫 ~私の磯放浪記~

私の家では、両親が初夏の磯の時期にウニなどをとりに行っていて、幼い頃から私も一緒に磯場に行ってかたきやなどをとったりして、磯場を楽しんでいます。ウニをとった後の処理の手伝いは6歳の頃からしていて、手伝いをした後に食べる“磯ご飯”は絶品です！そんな磯の魅力をぜひ紹介したいと思います！

～磯でとれる海産物～

ウニ



かたきや



マツバガイ

タカタカミナ



いそもん



とこぶし

ギンタカハマ

～おすすめ磯ご飯～



生ウニご飯

ウニの中身をかき出してわたを取り、きれいな身だけになった生ウニを熱々のご飯にかけて食べます。磯に行った日だけに食べることができる極上の一品！醤油を多めにかけて食べるのがオススメです！

どれも磯の香りと味を感じることができます。とてもおいしいです！！



タカタカミナの醤油炒め

タカタカミナと炒めた玉ねぎに砂糖・薄口醤油・料理酒を入れ、煮詰めたもの



いそもんの醤油煮

いそもんに水・砂糖・濃口醤油・料理酒・みりんを入れ、煮詰めたもの



かたきやのバター焼き

かたきやを茹でてわたを取った後、バターと塩コショウで焼いたもの

※地元ならではの旬の食材なので、必ず食べられるわけではありませんのでご注意ください……(TДT)

※5月の下旬～7月上旬に磯が解禁しています。



小学生の頃、磯でかたきやなどを取っていた時、岩で滑って痛い思いをしました…。
磯場では足元に注意してください！



← 塩漬けしたウニ
ご飯にのせて食べるとおいしいです！

宇久牛～地域で守る畜産～

＜宇久の畜産＞



現在、宇久には1,000頭ほどの牛が飼育されています。繁殖農業なので親牛と子牛を年に5回セリを行っています。牛のセリは2020年7月まで宇久で小値賀の繁殖農家の方と一緒に行なっていましたが、残念ながら8月からは平戸で行うようになりました。宇久島の牛は全国各地に買われていき、脂の上質な食肉へと変わり、全国の大会などで優秀賞を獲得しています。

＜牛の豆知識！＞

皆さん知っていますか？

牛の瞳をよく見てみるとサファイアのようなきれいな青い瞳をしています。確認する価値あります！！

子牛の出生届を出す時はオスが漢字でメスがひらがなと決まっています。各農家でオリジナルの名前を付けています。

また、人が近寄るととても甘えてきます。顔を撫でてみると気持ちよさそうな顔をするのでとても癒されます。毛はとてもツヤツヤしていて、サラふわの毛触りです。



セリ市場の近くに大きな牧場があり、その牧場を城ヶ岳の展望台から南側を見てみるとハート♡の形に見えます！
見たい方は実際に登ってみてください！！



私の祖父母が黒毛和牛の繁殖農家で幼い頃から牛と触れ合ってきました。

牛を怖いと思う人も多いと思う人もいるかもしれません、幼いころ私が牛の近くで転んだら心配して寄ってきてくれたり、他の牛から追いかけられている時もその牛より強い牛が守ってくれたりと人間思いの牛も多くいます。

このように牛と触れ合うことで分かる牛の優しさも知ることができるのでぜひ宇久島で牛と触れ合ってみてください。

宇久島では、一年を通して牛との触れ合い体験ができる民泊を行っているのでぜひ繁殖農家の方の家に泊まって体験をしてみてください。



※すべての写真は私の撮影です！

動物が好きなので書きました。

宇久島でよく見る動物

ねこ



^{むかえ} 向江地区の港沿いの長い車道や民家、防波堤の上によくいる。のんびりした姿がとても可愛い。たまに猫同士で喧嘩もしている。ジョギングのときのそんな猫たちの姿を見ると疲れが和らぐ気がする。◎

宇久で急激に増えてきた野生のイノシシ、どうやって島に上陸したのかは謎…。イノシシは一メートルを超える体長で大きくて怖い。うりぼー(イノシシの子ども)は小さくて可愛い。車でぶつかった人もいるらしい…。^{こうのうら} 神浦方面でよく見るらしい…。(自分は見たことはない)

イノシシ



カブトムシ



夏になると宇久清掃センターの近くの木に集まる。幼少期に姿がかっこいいと思って、よくごみ捨てのついでに父親と見に行っていた。でもカブトムシと一緒に蜂がいたから捕まえられなかった。◎

その他

宇久島では、春はウグイスなどの鳥のさえずり、夏はセミ、カエルの鳴き声、秋にはスズムシなどの声が聞こえる。本土ではありません聞くことができない自然の音や豊かさを感じることで、静かで穏やかな生活ができるだろう。私はこの島で愛らしい動物や四季の移り変わりを身近に感じながら、楽しく穏やかに暮らしている。

トンネルの向こうは なつかしの町でした。

私が一八年間暮らして
いて、長く住んでいても
不思議となつかしく、何
度も訪ねたくなる町、「神
浦」について紹介します。

神浦港の先にあるトン
ネルを抜けると、懐かし
き溢れる町が広がります。
まるで、「アニメの中」
に飛び込んだような風景
で「ゆったり流れる時間」
を味わえます。人通りは
少ないので、自分のペ
ースで散策できます。「蝉
の声」や、「小川が流れる
音」などの四季折々の自
然の声を聞くことができます。

私が通っていた(旧)ふたば幼稚
園です。現在、閉園となり、子ども
の姿も見えず静かですが、ベンチ
や広場はそのままの姿で残ってい
ます。たまに訪ねたくなる場所で
す。カラフルなベンチの色と少し
さびた色の遊具は、レトロでイン
スタ映えします。

ここを訪れる時のおすすめの時
間は、夏の朝六時半頃です。鳩の鳴
き声を聞きながら朝露で濡れた芝
生を歩くことが、おすすめです。

神浦を歩き疲れた時は、ぜひ寄
ってみてください。

**△遊具は怪我する恐れがあるので
写真に撮るだけにしてください。**

こうのうら
神浦港周辺



(旧)ふたば幼稚園

宇久島 Only
オブジェクト



←コンテナ

←サザエの殻

「島あるあるの置物
!?」です。実際に宇久で
よく見かけるトップ2
のサザエの貝殻とコン
テナです。このコンテ
ナは椅子としても使わ
れる、島びとにとつて
は大切な道具です。「な
ぜこれがここに?」、「
ゴミかな?」と思っ
ても捨てないでください。



※すべての写真は私の撮影です

私は宇久島の海が大好きです。

宇久島には釣りスポットがたくさんあります。私は六歳の時に父と一緒に釣りに行つたことがきっかけで、釣りが好きになりました。家族全員で釣りに行く、宇久島ならではの生活が大好きです。この写真は私が初めて釣つたアオリイカです。

初めて、イカが釣れ引いた時の・・・「あのグングッと引っ張る感覺・・・」忘れられません。他にも、アジ・カマス・ヒラマサ・アラカブなどの魚を釣りました。誰でも気軽に釣りを楽しむことができます。

167 宇久島ならではの生活は楽しいです。



※当時 6 歳

釣りをしながら絶景！



※ 撮影：私

※ 写真：釣り場からの眺め(大ごら)

私は宇久島のご飯が大好きです。

宇久島のご飯と言つたらやはり、新鮮な魚です。十八年間生活してきて宇久島の魚より美味しかった魚はありませんでした。宇久島では自分で釣つた魚を捌き、自分で食べることができます。ヒラマサのプリップリッの身を口の中に入れると、ジュワ～と広がるあの魚のうまみ。「食べる価値あり」です。

よい島です。

私は宇久島の景色が大好きです。

私のおすすめの釣り場は、ターミナルから徒歩十分で行くことができる場所です。朝は日の出を眺めながら釣りができる最高の釣りスポットです。そしてイカ・アラカブ・ヒラマサ・アラ・などたくさんの種類の魚が釣れます。他にも宇久島には、夕日を見ながら釣りをすることができる釣りスポットもあります。夕日を見ると、心が落ちつき、良い一日の締めくくりができます。

絶景が見たい人は舟隠し！

宇久島でとれた魚料理



※写真：ヒラマサの寿司・刺身（自分で捌きました）

水平線に沈む夕日を見ることがあります。

島の学び

小・中・高校生がともに
宇久島で、環境、交流、伝統
について学ぶ島

宇久島

歓迎遠足(交流)

四月に、小・中・高校合同で最初に行われる行事です。リクリエーションを通して、新入生や新しく赴任された先生方と交流を深めます。新入生の出し物や、班に分かれての人間知恵の輪やジェスチャーゲームなどをを行い、楽しく交流できます。春のすがすがしい風の中で班ごとに弁当を食べたり、スポーツをしたりして仲良く一日を過ごしています。

とても楽しいです！



海岸清掃(環境)

年に一回、小・中・高校生が地域の方とともに海岸を清掃します。宇久の海や自然を守るために、夏にきれいな海で泳ぐため、子供から大人まで一丸となって、取り組んでいます。清掃活動中には、作業をしながらたくさんの人たちと関わることで、人の出会いが人生を豊かにすることを毎年、実感しています。多くの観光客の方々にきれいな海で泳いでほしいという思いで取り組んでいます。



地域の方の講話(伝統)

宇久島在住の方をお招きして、宇久の自然や歴史について、学びます。一年次には、大浜海水浴場で宇久の自然について学び、二年次には、毘沙門寺の岩の由来の話や神島神社にある石碑などの話を聞き、宇久の魅力を再認識しました。知らないかった宇久の歴史について学ぶことができます。



宇久のきれいな海



〈絶景スポット1〉

高瀬：夏には観光客で溢れる人気スポット。
海には防波堤もあるため、飛び込むことも可能です。
一度高瀬で泳いだら、虜になること間違いないし！
私も虜になつて18年。
何回泳いでも泳ぎ足りないくらい大好きな海です。
そして…

高瀬に行く途中の坂から見下ろす海は映えスポット！
写真を撮ってみるのも楽しみの一つです。
右の写真是高瀬に行く途中で撮った写真です。
宇久島に実際に来て、このスポットを見つけてみてください。

〈絶景スポット2〉

大浜海水浴場：6月には小中高合同で海岸清掃を行つため、
砂浜はとても綺麗で、映え写真撮り放題！
泳いだ後、近くにあるお店でかき水を食べるのも
おすすめです！
ちなみに私は…
泳ぐ前にスイカを海で冷やして、泳いだ後にみんなで
食べました。
是非、皆さんもやってみてください！





4 ページ

宇久っ子たちが島で体験するイベントを一日にまとめました。

宇久島に来た際には計画の参考にしてみてください。

〈宇久の好きな場所〉 城ヶ岳展望台

〈私の好きなこと〉 音楽を聴くこと



5 ページ

昼間に見る海や、夕方に見る海など、色々な時間の海の紹介をしました。この私のページを見て、少しでも宇久島の海に興味をもってくれば、うれしいです！

〈宇久の好きな場所〉 かっちゃん

〈私の好きなこと〉 魚釣りをすること



6 ページ

私が実際に体験した宇久島の伝統行事についてまとめました。宇久にはたくさんの行事があるので、実際に宇久島に来たらぜひ見て楽しんでほしいです！！

〈宇久の好きな場所〉 ヘリポート

〈私の好きなこと〉 好きなスポーツチームの応援 KPOP アイドルを観る



7 ページ

私が幼い頃から楽しんできた「磯」の魅力を磯でとれる海産物から磯ご飯まで、たっぷり紹介しています。

宇久島の磯の魅力を存分に味わって下さい！！

〈宇久の好きな場所〉 船隠し

〈私の好きなこと〉 韓ドラを見ること 野球観戦



8 ページ

私は宇久島の畜産について紹介しています。あまり知られていない場所や牛についての知識について紹介しています。

〈宇久の好きな場所〉 スゲ浜

〈私の好きなこと〉 バレーをすること



9 ページ

かわいい動物、ちょっと怖い動物などを掲載しています！

動物と宇久島の魅力を感じてください！

〈宇久の好きな場所〉 城ヶ岳の頂上

〈私の好きなこと〉 運動すること 寝ること



10ページ

私が18年間育った地区のお勧めの場所についてまとめました。

のんびり宇久島を歩きたい方におすすめです。

紹介しきれなかった景色がたくさんあるので、実際に来てみてください！

〈宇久の好きな場所〉 神浦の港

〈私の好きなこと〉 韓国ドラマを見ること 外国語の勉強

(な)なみ



11ページ

私が17年間宇久島で生活してきた中で、楽しかったことや、宇久島でしかできない経験を「ギュッ」とまとめました。

〈宇久の好きな場所〉 大浜海水浴場

〈私の好きなこと〉 サッカー 釣り



(こ)う

12ページ

宇久島で行われている小中高一貫教育について紹介！

島ならではの行事や地域の方々との交流などを簡単にまとめました！

皆さんの心に届くものになると嬉しいです♡

〈宇久の好きな場所〉 平原ゴルフ場

〈私の好きなこと〉 歌を歌うこと

(ゆ)うや



13ページ

小さい頃からよく行っている海について書きました！

とても綺麗な宇久島の自慢の海を皆さんに知ってもらいたいです！よかったです！読んでください！！

〈宇久の好きな場所〉 高瀬

〈私の好きなこと〉 音楽を聴くこと



(ま)な



魅力あふれる宇久島には
ぜひ一度、お越しください♪
はるか

宇久島には
うまいものたくさん!
みんなきてね!

楽しかけん!
きてね♥
ゆうや

僕たちの大好きな島に、是非一度
来てみんね~
たかち



宇久に来たこと
ない人、人生
半分損してます!
りく

美しい自然が
広がる島
待てます!!
あゆみ

人が温かくて
優しい島
わいわいや
ななみ

宇久島のこと
知りてほしくて
作りました。
見てください!!
かげこう

遊びに
来てね!
しゅうと

9UKU



おじゃったもんせ！ 伊佐末♥石窯ピザ♥キャンフ



大口明光学園高等学校2年B組

今村 咲貴(リーダー), 大江 結子, 上園 さくら,
野元 美海, 薩峯 綾梨, 東 芙花, 馬門 菜那,
森田 菜月, 森山 碧月, 山下 あん, 横山 真子

— 目次 —

1. 問題提起 ······ p.2

- (1) 私たちの住む伊佐市について
- (2) 伊佐市の観光の現状と問題点
- (3) 伊佐市の魅力
- (4) 伊佐市の観光の目玉づくり

2. 伊佐米を使った石窯ピザづくりの実証 ····· p.7

- (1) 伊佐米で米粉はできるのか？
- (2) 伊佐米で石窯ピザはできるのか？
- (3) 伊佐米を使った石窯ピザづくりの結果

3. 「伊佐米♡石窯ピザ♡キャンプ」の提案 ····· p.15

- (1) 概要
- (2) 日程案

4. 「伊佐米♡石窯ピザ♡キャンプ」の効果と課題 ··· p.18

- (1) 考えられる効果
- (2) 実施にあたっての課題

5. おわりに ······ p.19

1. 問題提起

(1) 私たちの住む伊佐市について

私たちの通う大口明光学園高等学校は、鹿児島県伊佐市にあり、私たちのクラス全員が寮生を含めて伊佐市に住んでいる。伊佐市は熊本県・宮崎県と県境を接した鹿児島県の最北端の山間部にあり、川内川をはじめ複数の河川が市内を流れているなど豊かな自然に恵まれた小都市である。

伊佐市は、九州新幹線の新水俣駅からは30km（所要時間40分）、九州自動車道の栗野インターからは17km（所要時間20分）、鹿児島空港からは40km（所要時間50分）のところにある。公共交通機関は路線バスのみで、九州新幹線の新水俣駅からは一日3往復、鹿児島空港からは一日7往復の路線バスがある（令和2年10月現在）。

令和2年5月1日現在での人口は25,368人で、10年前と比べると人口は約4,000人減少している。総人口に対する老人人口比率は40%を超えており、少子高齢化・過疎化が急速に進んでいる。

(2) 伊佐市の観光の現状と問題点

鹿児島県は平成23年に九州新幹線が全線開業したことや、近年の訪日観光客の増加もあって、観光ブームに沸いた。霧島や指宿などの有名観光地は多くの観光客で賑わっていた。その一方で、伊佐市では観光の盛り上がりがあまり感じられなかった。平成29年に鹿児島県を訪れた観光客数は21,768,670人である《観光庁「観光入込客統計」より》。一方、同年に伊佐市を訪れた観光客数を調べてみたところ、622,160人であった《伊佐市役所 伊佐PR課資料より》。これは鹿児島県を訪れた観光客の約3%に過ぎない。

資料2に伊佐市観光マップを示す。伊佐市には滝幅日本一で「東洋のナイアガラ」とも呼ばれる曾木の滝や、「桜の名所百選」にも選ばれた忠元公園などの観光地がある。しかし、それらの観光地は常時観光客で賑わっているとは言いがたい。

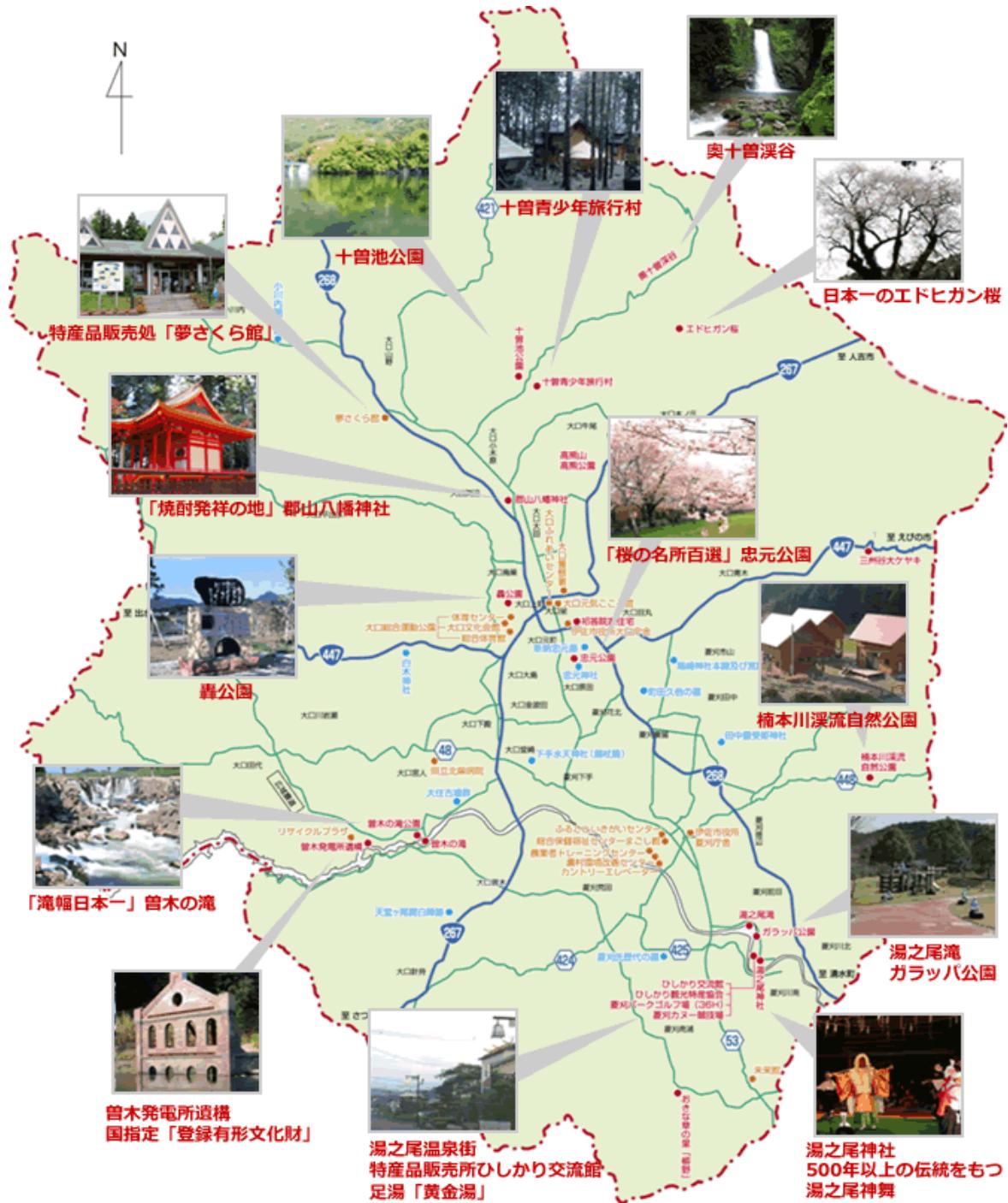


資料1 伊佐市の位置

《伊佐市 HP より》

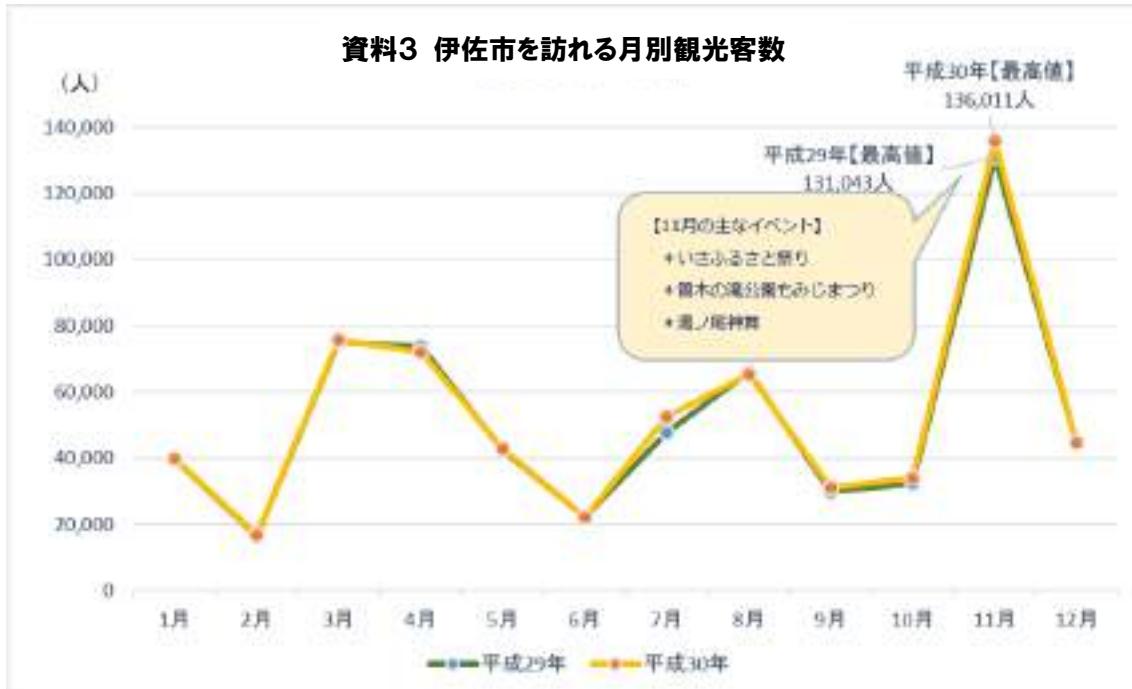
<https://www.city.isa.kagoshima.jp>

資料2 伊佐市観光マップ



《伊佐市 HP より》 <https://www.city.iza.kagoshima.jp>

資料3は平成29年、平成30年に伊佐市を訪れた観光客数を月別に示したものである。この資料から、伊佐市を訪れる観光客数は月による変動が大きいことが分かった。観光客数が多いのは11月、3月で、この時期はそれぞれ曾木の滝公園もみじまつり、忠元公園さくら祭りといったイベントがある。伊佐市の観光は一時的なイベント頼みになっていること、「見る」観光を中心になっていることが分かる。



《平成30年版 統計いさ(平成31年4月 伊佐市 刊行)より》

私たちは、より多くの観光客に伊佐市に来てほしいと考えている。伊佐市の観光客を増やすためには、コンスタントに観光客を呼び込む仕掛けをすること、見るだけにとどまらず、何かを体験できる観光の仕掛けをすることが必要だと考える。その二点を踏まえて、私たちは伊佐市の観光の目玉づくりを企画することにした。

(3) 伊佐市の魅力

伊佐市の観光の目玉づくりを企画するにあたり、私たちは伊佐市の魅力は何かを話し合った。いくつか挙がったもののうち、以下の二つが観光の目玉づくりに生かせるのではないかという結論に至った。

①「伊佐米」

鹿児島県は桜島や霧島山などの火山が多く、県本土の広い範囲にシラスが分布している。そのため鹿児島県は稻作よりも畑作や畜産がさかんである。

伊佐市は、近辺に火山がなくシラスの分布が少ないと、また川内川をはじめ四方の山々から流れ込む複数の河川による水資源が豊富であることなどから鹿児島県内一の米の生産面積と生産量を誇り、古くから「薩摩の米蔵」と言られてきた。伊佐市には鹿児島県内で唯一のカントリーエレベーターも設置されており、米どころ伊佐の象徴となっている。伊佐市で生産された米は「伊佐米」というブランド名で販売されている。



カントリーエレベーターと水田

②「石窯ピザ」

伊佐市の北部の十曾青少年旅行村の中にある施設「わらの家」には石窯がある。そこでは、伊佐市ピザマイスター協会のマイスターの指導の下、石窯ピザづくりの体験活動が行われている。



わらの家



わらの家の中にある石窯

石窯がある十曾青少年旅行村は、昭和47年に鹿児島県内では初の青少年旅行村（キャンプ場）として開設され、コテージやバンガロー、五右衛門風呂などの施設がある。近くには十曾池や水草庭園があり、釣りやバードウォッチングのほか、夜には星空観賞なども楽しめる。



資料4 十曾青少年旅行村周辺の地図

《伊佐市 HP より》<https://www.city.isa.kagoshima.jp>

(4) 伊佐市の観光の目玉づくり

私たちは、伊佐米と石窯ピザという伊佐市の二つの魅力を融合させること、すなわち伊佐米を使った石窯ピザが、伊佐市ならではの新たな観光の目玉になるのではないかと考えた。

石窯がある十曾青少年旅行村は見どころも多く、キャンプ場もある。そこで、伊佐米を使った石窯ピザづくりの体験活動をメインとした1泊2日のキャンプ、題して「伊佐米♡石窯ピザ♡キャンプ」をツアー形式で企画し、それを伊佐市の新たな観光の目玉として提案したい。

2. 伊佐米を使った石窯ピザづくりの実証

実証の過程は、動画でもご覧いただけます。

<https://youtu.be/GK7YCaHzH7E>

(1) 伊佐米で米粉はできるのか？

「伊佐米♡石窯ピザ♡キャンプ」を企画するにあたり、伊佐米を使ってピザづくりができるかについて実証を行った。

従来の石窯ピザは小麦粉を生地としているため、私たちは伊佐米から米粉をつくり、それをピザの生地として利用できないかと考えた。1泊2日のキャンプの中で、米粉づくりも体験活動のメニューに入れられれば面白いとも考えた。

そこで私たちは10月7日(水)、8日(木)に学校の調理室で伊佐米を使った米粉づくりにチャレンジしてみた。

<米粉のつくり方>

米を研ぎ、たっぷりの水に1時間程度浸しておく。

水に浸した米をざるに上げて水気をよく切り、丸1日乾燥させる。

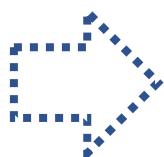
乾燥させた米をすり鉢・すりこぎを使って粉にする。



米粉づくりの様子



伊佐米が…



このような米粉になりました！！

伊佐米 1.5 kgから 1.2 kgの米粉をつくることができた。すりこぎで粉にする作業が思った以上に重労働で時間がかかり、クラス 11 名で作業を行ったが、乾燥した米を粉にするのに 3 時間近くを要した。

私たちがつくった米粉を、市販の米粉や小麦粉と比較してみた。市販の米粉や小麦粉に比べると、私たちがつくった米粉は粒が粗かった。粒が粗い理由として「水につける時間が短かったからではないか」や「手作業で粉碎したからではないか」などの意見があがつたが、手作業による米粉づくりの限界を感じさせられた。



市販の小麦粉と私たちがつくった米粉

(2) 伊佐米で石窯ピザはできるのか？

10月18日(日)に十曾青少年旅行村・わらの家にて、伊佐市ピザマイスター協会の田野田親徳さん、別府弘律さんのご指導の下、私たちがつくった米粉を使って石窯ピザができるか検証を行った。

① 米粉はピザの生地になるか？

私たちはもちろんのこと、マイスターの方も米粉だけを使ったピザづくりは初めてということで、まずは生地の試作品をつくることにした。以下の通り米粉にいろいろなものを混ぜて焼き、その中で、一番生地として使えそうなものを検討した。

生地の材料	焼いてみた結果
米粉 + 水	生地が固くなり、煎餅のようになった。  米粉を水と混ぜて焼いた生地
米粉 + お湯	水の場合に比べると柔らかくなったが、まだ硬さが残った。蒸し焼きにすると、弾力が増した。生地がポロポロとして脆く、つなぎが必要だと分かった。
米粉 + お湯 + 泡立てた山芋	かるかんのような生地になった。しかし、まだ粉っぽさが残った。
米粉 + お湯 + 泡立てた山芋 + 片栗粉	ピザの生地らしくなったが、空気が入らず膨らまなかった。
米粉 + お湯 + メレンゲ	ピザの生地らしくなり、焼いたときのおいしさは一番だった。  米粉をお湯、メレンゲと混ぜて焼いた生地

米粉だけではピザの生地として使うには不十分だということが分かった。泡立てた山芋と片栗粉を加えたもの、メレンゲを加えたものは、ピザの生地らしくなったが、焼いたときに生地があまり膨らまなかつた。



② きりたんぽのような生地ではどうか?

私たちは、生地を膨らませてふんわりとした食感を出すにはどうしたらいいかを考えた。その中で、炊いた米をつぶしてきりたんぽのようにして焼くと、餅のようなふんわりとした食感が出せるのではないかという意見が出た。そこで、以下の2パターンの生地をつくって検討してみた。

生地の材料	焼いてみた結果
炊いた米を粒がなくなるまでつぶしたもの	米粉のピザに比べ、ふんわりとした生地になった。米の味も米粉に比べるとはっきりしていた。
炊いた米をある程度粒が残る程度につぶしたもの	粒がなくなるまでつぶしたものに比べると米の味が強く、ドリアやライスバーガーみたいな味になった。



生地を捏ねている様子

左：炊いた米を粒がなくなるまでつぶして焼いた生地

右：炊いた米をある程度粒が残る程度につぶして焼いた生地

③ 米粉を生地としたピザ、米をつぶしたもの生地としたピザをつくる

米粉を生地とするのであれば、「米粉十お湯十メレンゲ」が、炊いてつぶした米 (= 米ペースト) を原料とするのであれば「粒がなくなるまでつぶしたもの」がそれぞれベストだということで、それらを生地とした米粉ピザ、米ペーストピザを作ってみた。トッピングには、伊佐市にある鹿児島県立伊佐農林高校の生徒さんがつくった豚みそ「更生の素」をベースに、伊佐特産の金山ネギ、チーズ、しめじ、しそ、しらすなどを使用した。



完成した米粉ピザ



完成した米ペーストピザ

④ 伊佐米を使った石窯ピザ 試食アンケートの結果

完成した米粉ピザ、米ペーストのピザについては、私たちのほかに、保護者、本校の先生方とそのご家族、合計9名の方に試食していただいた。試食していただいた方の属性は以下の通りである。

	~10代	20代	30代	40代	50代	60代~
男性	2名		1名			
女性	1名		2名	1名	2名	

試食後はアンケートとインタビューに協力していただいた。アンケートの結果は次のようになった。

質問1:米粉を生地としたピザについての評価

	見た目	味	食感・焼き具合
とても良い(5点)	5名 (55.6%)	7名 (77.8%)	6名 (66.7%)
良い(4点)	4名 (44.4%)	2名 (22.2%)	3名 (33.3%)
どちらともいえない(3点)			
悪い(2点)			
とても悪い(1点)			
平均点	4.6点	4.8点	4.7点

質問2:米ペーストを生地としたピザについての評価

	見た目	味	食感・焼き具合
とても良い(5点)	5名 (55.6%)	6名 (66.7%)	5名 (55.6%)
良い(4点)	4名 (44.4%)	3名 (33.3%)	3名 (33.3%)
どちらともいえない(3点)			1名 (11.1%)
悪い(2点)			
とても悪い(1点)			
平均点	4.6点	4.7点	4.4点

質問3：米粉と米ペーストどちらのピザが気に入りましたか？

米粉	米ペースト	どちらともいえない	無回答
5名 (55.6%)	2名 (22.2%)	1名 (11.1%)	1名 (11.1%)

<米粉ピザを気に入った方のご意見>

- * とてももちもちしていたから。
- * 味はどちらもよいか、食感と見た目は米粉ピザが良い。
- * 具材との一体感があった。
- * 舌触りの滑らかさがピザとしていたいときに違和感がない。

<米ペーストピザを気に入った方のご意見>

- * おなかにとろけるように入っていたから。

質問4：小麦を生地としたピザと比べてどうでしたか？

- * 米の味がとても強くする。 * 他の国の方に人気が出そう。
- * おもちみたいだった。 * 具次第では、米の風味が生かされる気がする。
- * 和風な感じがした。 * もちもち感がすごく、噛めば噛むほど味が出る。

質問5：伊佐米をベースとした生地のピザに合う具材は何だと思いますか？

- * 和風のもの+チーズ * 岩のり * クコの実 * たまねぎ * コーン
- * ぶり・まぐろの切り身 * 塩昆布 * 佃煮(あさりなど) * 焼肉
- * きんぴら * 鮭フレーク * 照り焼きチキン * 納豆 * かつおぶし
- * しいたけ、なめたけなどのきのこ類

質問6：もっとおいしくするにはどのような改良を加えたらよいと思いますか？

- * そば粉を混ぜる。 * 生地に粉チーズやバジル、パセリの粉などを混ぜ込んでみる。
- * みんなで一緒にワイワイ作って焼きたてを食べる。
- * 和風のピザに徹するととても良いような気がする。

試食アンケートの結果では、米ペーストピザに比べて米粉ピザのほうが味、食感・焼け具合に関しての評価がやや高かった。また、米ペーストピザに比べて米粉ピザのほうを気に入った方が多かった。

米粉ピザ、米ペーストピザとも米本来が持つ風味がよく生かされているという感想を多く聞いた。そのことも関係しているのか、トッピングとしては米に合う具材、特に和風の食材が多くあがった。小麦粉を生地としたピザはフルーツピザなど、トッピングの選択肢が多いが、米を原料とした生地のピザはある程度トッピングの選択肢が限られてくるように感じた。

(3) 伊佐米を使った石窯ピザづくりの結果

米粉ピザ、米ペーストピザともに自分たちで食べて満足いくものが出来た。また、試食に来ていただいた方、そしてマイスターの方からも高い評価を得られた。今回の実証により、観光客の方を対象にした伊佐米を使った石窯ピザづくり体験活動の実施は可能であると考えた。なお、今回の石窯ピザづくりにかかった費用は以下の通りである。

費目	支出金額	摘要
体験活動費	¥11,000	¥1,000 円×11名
ピザ材料代	¥3,396	
保険代	¥2,200	¥200×11名
薪代	¥400	
支出行合計	¥16,996	
一人当たり	¥1,545	$¥16,996 \div 11\text{名}$

今回は、米をはじめ、材料の一部を無償提供いただいたこともあって一人1,545円で石窯ピザづくりができた。観光客の方を対象に実施する場合には、今回無償提供いただいた米などの材料費がプラスされることになるが、一人2,000円程度で伊佐米を使った石窯ピザづくりの体験活動を実施できそうである。

今回の実証の結果を踏まえ、1泊2日の「伊佐米♡石窯ピザ♡キャンプ」の中で、観光客の方におこなっていただくピザづくり体験には、米粉ピザと、米ペーストピザのどちらが適しているか検討した。私たちは当初、キャンプの中での体験活動として米粉ピザをつくることを想定していた。1日目に米粉づくりをしてもらい、2日目にその米粉を使ってピザづくりをするというものである。そうすることで、キャンプの内容にも一貫性が持たせられるからである。試食アンケートの結果でも米粉ピザのほうが評価は高かった。しかし、米粉づくりは思った以上に時間と労力がかかり、1日で行うのは不可能である。米粉を業者にあらかじめ作っておいてもらう方法も考えられるが、それでは伊佐米そのものの見た目・色などを参加者の方に感じていただくことができない。また、伊佐市内に米粉をつくっている業者は現時点ではない。

これらのことから、観光客の方に伊佐米の良さに触れてもらい、手軽にピザづくりをやってもらうには、米ペーストピザのほうが良いのではないかという結論に至った。

3. 「伊佐米♡石窯ピザ♡キャンプ」の提案

伊佐米を使った石窯ピザづくりの実証の結果を踏まえ、それをメインの体験活動とする1泊2日のキャンプのプランを以下の通り企画した。

(1) 概要

- ♡ 実施時期：5月～9月の各土～日曜日の1泊2日で実施
- ♡ 実施方法：着地型旅行ツアーとして募集
- ♡ 内容：伊佐米を使った石窯ピザづくり体験活動をメインとするキャンプ
- ♡ 参加費：¥10,000
- ♡ 催行人員：各回 10～15名程度

実施時期に関しては、キャンプに適した時期を考慮し、5～9月頃に実施することを想定した。

参加費に関しては、石窯ピザづくり体験にかかる諸費用が一人2,000円程度、コテージの宿泊費が9,000円/1棟（家族4名で宿泊する場合は、一人あたり2,250円）、その他バーベキューの材料費、集合・解散場所とキャンプ場間のマイクロバス代などを含めて一人10,000円での実施が可能であると判断した。

(2) 日程案

【1日目】土曜日

時刻	内容
14:00	<p>夢さくら館に集合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夕食のバーベキューおよびピザの具材の買い物 <p>買い物の後、マイクロバスにて十曾青少年旅行村に移動</p>
15:00 夕 夜	<p>十曾青少年旅行村に到着</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バーベキュー、五右衛門風呂の準備 ● 夕食（バーベキュー） ● 入浴（五右衛門風呂体験） ● キャンプファイヤー ● 星空観賞
22:00	就寝（コテージ泊）

キャンプ場所となる十曾青少年旅行村への公共交通機関はなく、また、途中道が狭いところもあり、特に初めて来られる観光客の方にとっては不安もあると思う。そこで、集合場所は国道268号線に面した「夢さくら館」に設定した。

夢さくら館は(株)伊佐牧場が運営する施設で、伊佐産の農畜産品、乳製品などが揃った物産館がある。集合後、まずはこちらで夕食のバーベキュー、2日目に行う伊佐米を使った石窯ピザづくりの材料などを買い物していただこうと考えた。

買い物の後は、マイクロバスでキャンプ場所である十曾青少年旅行村へ移動する。夢さくら館から十曾青少年旅行村までの所要時間は、およそ15分である。

十曾青少年旅行村到着後は、夕食のバーベキューおよび入浴の準備を行う。夕食は夢さくら館で購入した伊佐産の農畜産品を使ったバーベキューを楽しんでいただき、入浴では五右衛門風呂を体験していただこうと考えた。その後の夜の活動にはキャンプファイヤーや星空観賞などを盛り込んだ。伊佐市はかつて「星空の町コンテスト」で4回日本一になったことがある。参加者の方にぜひ伊佐の夜空の美しさを堪能していただきたい。



集合場所の夢さくら館



五右衛門風呂

《伊佐市 HP より》

<https://www.city.isa.kagoshima.jp>



宿泊場所のコテージ

【2日目】日曜日

時刻	内容
06:30	起床 ● 十曾池周辺散策 ● 朝食
08:30	● 伊佐米を使った石窯ピザづくり体験
12:00	● 昼食（伊佐米を使った石窯ピザ）
14:00	片付けの後、マイクロバスにて夢さくら館に移動
14:30	夢さくら館に到着・解散

2日目は、起床後十曾池周辺の散策を楽しんでいただこうと考えた。十曾池周辺は野鳥も多く、鳥のさえずりを聞きながら伊佐のさわやかな朝を満喫していただきたい。

朝食の後は、いよいよキャンプのメイン企画である、伊佐米を使った石窯ピザづくり体験である。初心者の方でも手軽に取り組めるように、炊いた伊佐米をつぶしたものを生地として用いる。その生地に、前日夢さくら館で購入した伊佐産の野菜やチーズなどをトッピングして石窯で焼く。ピザマイスターのご指導の下、参加者みなさんが楽しくピザづくりをし、伊佐産の食材づくりの伊佐米石窯ピザを食べる…。参加者のみなさんにとって、きっと良い思い出になるに違いない。



十曾池周辺の様子

4. 「伊佐米♡石窯ピザ♡キャンプ」の効果と課題

(1) 考えられる効果

伊佐市の観光のピークは3月、11月で、その間、特に6月、9月は観光客の来訪が少ない。私たちの提案する伊佐米♡石窯ピザ♡キャンプは、観光客の少ない時期に実施することが可能な観光ツアーであり、この期間、コンスタントに一定数の観光客を呼び込むことが期待できる。

この企画はピザづくり、キャンプといった体験型観光の要素を多く含んでおり、特に都市部に暮らす家族連れの方に関心を持っていただけるのではないかと考える。ツアー形式で実施するため、伊佐市に来るのが初めてという方も、ピザづくりやキャンプの経験がないという方も安心して参加していただけるのではないだろうか。

また、米を使ったピザは、従来の小麦粉のピザに対して以下のようなメリットがある。まず、カロリーが低くヘルシーである。小麦粉（強力粉）100gあたり365kcalに対して、米は100gあたり168kcalである《新技術・家庭資料集（新学社）p.52 食品成分表 より》。そして、米はグルテンフリーであり、かつアレルギーの方にも安心して食べていただける。このようなことから、多くの人にピザを楽しんでいただけると考える。

ピザには伊佐米をはじめ、豚みそや金山ネギなど伊佐産の食材を豊富に使うことで、伊佐の農畜産物の消費拡大や魅力の発信につながることも期待できる。

(2) 実施にあたっての課題

この企画を提案するにあたり、私たちは伊佐米を使った石窯ピザづくりの実証を行った。新型コロナウイルス感染症の流行のさなかにあって、出来上がったピザの試食は、私たちや学校の先生・保護者といった、私たちの「身内」の方に限られた。本来であれば、一般市民の若い人から高齢者の方までより多くの方にモニターを募り、ご意見を伺いたいところであった。今後、機会があれば再度伊佐米を使った石窯ピザづくりに再度チャレンジし、その際には一般市民の方にもモニターとしてご意見を伺い、そのご意見を基にピザをさらにおいしく進化させ、観光客の方に自信をもって勧められるようにしたい。

今回のピザづくりにあたっては伊佐市ピザマスター協会の田野田さん、別府さんの全面的なご協力があって実現した。伊佐米♡石窯ピザ♡キャンプの企画を実際にを行う場合には、このほかにも伊佐市役所観光PR課をはじめ、地域づくりのNPOやボランティアの方など多くの方のご協力・ご支援、そして連携が必要になる。実施に際しては、実行委員会の立ち上げも必要となるだろう。

5. おわりに

今回、この企画作りを通して私たちは伊佐市の魅力に改めて気づき、伊佐市のがこれまで以上に好きになった。「伊佐市を多くの人に知ってほしい。」「伊佐市に多くの人に来てほしい。」これが今の私たちの思いである。この企画を企画しただけで終わらせず、関係各所への働きかけなども行い、ぜひ実現し、伊佐市の観光を盛り上げていきたい。



福知山公立大学 2020 地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」募集要項

●趣旨：本学の位置する北近畿エリアをはじめ、日本全国の地方都市・農山漁村は何処も少子高齢化や地域経済の活力低下という問題に直面しているが、これら諸課題に対する解決策の一つとして「田舎の持つ内発的発展力」が注目されている。そこで「田舎力甲子園」と題して全国の高校生から地域活性化策のアイデアを募集し、優秀策を表彰することによって、広く啓発・普及を行う。

●主催：福知山公立大学「田舎力甲子園」実行委員会 ●後援：内閣府地方創生推進事務局・京都府・福知山市

●対象：全国の高校生（個人・グループいずれも可）等 ※ただし同一高校からの複数応募は5策まで

●様式：論文・企画書・動画・アニメ等いずれも可、字数・枚数・分量も自由 ●言語：日本語もしくは英語

●表彰：最優秀賞 1組に賞状と副賞（旅行券または図書カード6万円分）

優秀賞 1組に賞状と副賞（旅行券または図書カード3万円分）

佳作 若干組に賞状と副賞（旅行券または図書カード1万円分）

奨励賞 若干組に賞状

●応募締切：2020年10月30日（金） ●結果発表：2020年11月16日（月） ●表彰式：2020年12月12日（土）

●審査基準：1.適合性 若い感性を活かした「ニッポンの田舎を元気にする」内容であること。

2.新規性 単なる事例紹介や既に発表された内容ではなく、一つ以上オリジナリティが認められること。

3.論理性 問題意識・論理展開・結論に無理や事実に誤認がないこと。

4.現実性 夢物語を描くだけでなく、経済面等での説得力も持ち得るリアリティの高い内容であること。

5.表現力 各言語・画像・映像・音声等それぞれ適正な使い方で効果的に表現されていること。

●実行委員：◎は委員長 ☆は副委員長 括弧内は（職名：専門分野）

井口和起◎（福知山公立大学 学長：歴史学） 塩見直紀☆（半農半X研究所代表・本学准教授：ローカルデザイン）

中尾誠二☆（教授：農村振興） 杉岡秀紀☆（准教授：公共政策） 矢口芳生（副学長：農業経済学）

岡本悦司（地域経営学部長：地域医学） 西田豊明（情報学部長：人工知能） 倉田良樹（地域経営学科長：労働社会学）

井上直樹（教授：パブリックガバナンス） 神谷達夫（教授：メディア情報工学） 亀井省吾（教授：イノベーション経営）

川島典子（教授：社会福祉） 倉本到（教授：エンタテインメント情報学） 黄宏軒（教授：コミュニケーション科学）

斎藤赳弘（教授：ファイナンス） 渋谷節子（教授：文化人類学） 鄭年皓（教授：経営科学） 田中克己（教授：データベース）

谷口知弘（教授：コミュニケーションデザイン） 藤島光雄（教授：自治体政策法務） 松山江里（教授：知覚情報学）

山田篤（教授：情報処理） 山本吉伸（教授：サービス工学） 大谷杏（准教授：生涯学習） 加藤義雄（准教授：マーケティング）

衣川昌宏（准教授：情報セキュリティ） 佐藤恵（准教授：医療情報） 崔童殷（准教授：感性工学）

橋田光代（准教授：音楽情報科学） 畠中利治（准教授：データサイエンス） 畠中理英（准教授：信号処理）

星雅丈（准教授：地域医療福祉政策） 三好ゆう（准教授：地方財政） 渡邊扇之介（准教授：応用数学）

河合宏紀（講師：ヒューマンインターラクション） 藤井叙人（講師：ゲーム情報学） 前田一貴（講師：応用数学）

眞鍋雄貴（講師：ソフトウェア工学） 江上直樹（助教：教育行政） 佐藤充（助教：地域産業） 張明軍（助教：インバウンド観光）

●応募方法：タイトル・学校名・学科名・学年・氏名（複数人の場合は代表者を筆頭に全員分）・フリガナ・電話番号を明記し、担当教員が電子メール添付ファイル等で提出。止むを得ない場合のみ郵送（返却希望の際は明記）。動画の応募はYouTube等のサイトへアップロード（限定公開で可）し、そのURL情報をのみ送信ください。

●注意事項：他コンテスト等での過去受賞策は無効となります。応募内容は結果発表後に本学ホームページ等で公開する場合があること予めご了解ください。表彰式は本学で開催しますが、詳細は受賞者へ追って連絡します。

《ご応募・お問い合わせ先》 〒620-0886 京都府福知山市堀3370 福知山公立大学「田舎力甲子園」実行委員会

Tel: 0773-24-7100 Fax: 0773-24-7170 Mail: inakaryoku@fukuchiyama.ac.jp